

TAE
EST.1973

まちつむぎ

ひとを想い、くらしを描く
まちつむぎ

50th
Anniversary

株式会社東急設計コンサルタント

東急設計コンサルタント
創立50周年

TOKYU ARCHITECTS & ENGINEERS INC.

ひとを想い、くらしを描く まちつむぎ



これまで50年かけて、私たちが築いてきたまちづくりのDNA。
これからもこの先のときを見据えて、しっかりとバトンをつないでいきます。

ひととひとの距離が近い関係をつくり、
対話を大切にしながら、目指すものを丁寧につくる。
これからも関係するすべての皆さまへ、
感謝の気持ちを忘れず進んでいきます。

街をつむぎ 人をつむぎ 時をつむぐ

次の100周年に向けて
あなたのまちの物語をつむいでいく存在を目指します。

50th Anniversary

ひとを想い、暮らしを描く
まちつむぎ

株式会社東急設計コンサルタント 創立50周年記念誌

発刊のご挨拶

私たち東急設計コンサルタントは、今年創立50周年を迎えました。
これまで当社を信頼してくださったクライアントをはじめ、協力会社やプロジェクトに関わって頂いた関係者の皆様、諸先輩方や社員とその家族の皆様に改めて深く御礼申し上げます。当社は前身となる東急不動産設計監理部時代を経て、1973年4月10日に東急不動産・東急電鉄に在籍する建築・土木の技術者を中心とし、「町の設計事務所」ではなく、「顧客サイドに立った技術者集団であって欲しい」との想いが込められた「東急設計コンサルタント」という社名で設立されました。

当初は東急グループ企業が手掛ける集合住宅、ホテル、商業施設等の設計や基盤整備を主に担当し、その後いわゆる「バブル景気」の時代にかけて、東急グループ内外の多くの大型集合住宅・リゾート開発プロジェクトへの参画や、鉄道関連の土木設計部門を立ち上げる等、徐々に活動の範囲を広げて参りました。

その後も、阪神・淡路大震災の復興再開発事業や大型商業施設、鉄道線路の高架化・地下化（連続立体交差事業）や複々線化等の大型プロジェクトの経験を多く経て、近年では渋谷・二子玉川・たまプラーザ・南町田に代表される東急グループが手掛ける、鉄道駅を中心とした都市開発プロジェクトをはじめ、東急以外の鉄道会社様やデベロッパー様等が手掛ける、様々なタイプの大型プロジェクトに参画させて頂く機会も更に増えて参りました。

以上の経緯により蓄積されたノウハウを生かし、まちづくりに関する技術的なサービスをワンパッケージで提供できる総合設計コンサルタントとして大きく成長できた事は、皆様の暖かいご支援のおかげと心より感謝しております。

今後は、これまでの成長の原動力である、建築・土木の総合力や、クライアントの良きビジネスパートナーであり続けるという設立理念を次の50年に繋ぐべきDNAとして再認識し、これからも多くの街や人を紡いでいく事で、より一層社会に貢献して参りたいと考えております。

今後とも、変わらないご支援とご協力を賜ります様、お願い申し上げます。

株式会社東急設計コンサルタント
取締役社長 大野 浩司



Contents

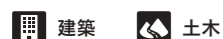
- 003 発刊のご挨拶
- 004 We are TAE.
“まちつむぎ”へ挑む251人。
- 006 創立50周年記念座談会
今日まで、そして明日から
- 014 ワークショップ
まちつむぎ/ TAE、次の50年
- 018 TAE 50th VISUAL TIMELINE

事例紹介

- 022 TAEのまちづくり
- 040 ホテルリゾート
- 050 集合住宅
- 062 シニア住宅
- 068 大型商業施設
- 074 駅・駅一体商業施設
- 082 生産・物流・倉庫
- 084 オフィス
- 090 公益施設・研修施設
- 094 学校・教育
- 100 建築・構造
- 102 建築・環境設備
- 106 構造(都市・土木)
- 112 開発(都市・土木)
- 118 まちづくり(基盤整備)
- 122 リノベーション
- 123 最新・進行中プロジェクト
- 126 主要プロジェクト一覧
- 148 編集後記

凡例

- 1.本書が記述対象とする期間は、当社設立以前の1963年から2022年までとする。
- 2.年号は原則として西暦で統一した。
- 3.用字用語は常用漢字、現代仮名遣いを原則としたが、固有名詞や特殊用語などは例外としたほか、当社の慣例に従ったものがある。
- 4.人名は敬称を省略し、役職名は記述対象時のものを示した。
- 5.会社や組織の名称は原則として当時のものを記載した。
- 6.P24～P127の事例紹介で採用したアイコンの内容は以下の通りである。



表紙 渋谷ストリーム/Photo by Shinkenchiku-sha



“まちつむぎ”へ挑む251人。



We are TAE.
Tokyu Architects & Engineers INC.



これまでの50年、
着実に積み重ねてきたTAEのまちづくり。
しかし、これから日本が変わっていくのと同じように、
まちづくりだって大きく変わっていくはず。
まちの物語をつむいでいく私たちの挑戦が、
ここからまたスタートします。



th

今日まで、 そして明日から

東急設計コンサルタント創立50周年。当社はこれまで何をなし、これから何をなすべきなのか、記念すべき節目において振り返る。特に近年を代表する4つのビッグ・プロジェクト——渋谷駅周辺再開発、二子玉川再開発、たまプラーザ駅周辺開発、南町田グランベリーパーク開発を牽引した9名のキーパーソンに集ってもらい、会社や業務のこと、仕事の価値観やプロジェクトのエピソードなどについて語ってもらった。



伏野 隆
顧問(元取締役 専務執行役員)



吉田 博
顧問(元執行役員)



遠藤 郁郎
建築設計本部 技師長



高橋 ユカリ
建築設計本部 大規模開発設計室 室長



佐藤 彰浩
建築設計本部 第4設計室 室長代理



池上 謙太郎
都市・土木本部 開発設計室 室長



澤田 誠
都市・土木本部 開発設計室 部長



柚木 裕朗
都市・土木本部 まちづくり室 チーフマネージャー



酒井 誠(司会進行)
顧問(元取締役 常務執行役員)



時代に応える三位一体まちづくり

酒井 時代とともに求められる要望は変化し、それに当社は常に応えてきました。まちづくりの特色や守備範囲、ご自身が携わったプロジェクトや仕事の価値観などを教えていただけますか。

遠藤 再開発で求められるものとして、インフラを整備すること、人の流れを生み出すこと、エネルギーを連携させて環境性能を高めること、地域のコミュニティを醸成させること、防災拠点となること、などがあります。それだけでないことをプラスして街の特色を出したり、他の街にないものを作ろうという思いでプロジェクトを組み立ててきました。

池上 既存の道路を作り変える、敷地を整備する。再開発は現状の公共施設に何らかの問題があるために行うものです。だから再開発によって使いやすくなって地域に貢献する、かかわる人々や企業が共存共栄しながらハッピーになる。そのよう

なことを意識しています。私はよく東急さんのお手伝いをしますが、その際にリスクをしっかりと取られることによって大きな舞台を作ってらっしゃると非常に感じています。自分が想像していた以上のものができあがってくる、そこに携われることに一種の喜びがあります。

高橋 たまプラーザ駅周辺開発は東急さんが地権者様とともに協議会を発足されてから25年かけてまちづくりがなされたのですが、当時はまだ「まちづくりをしている」という民間事業者はあまりいなかったと記憶しています。今は多くの企業が掲げていますが、行政の仕事という認識がありました。しかし、東急さんは当時から「まちづくり」と言っていて非常に驚きました。我々も覚悟を持って業務に携わりました。これは、その後の南町田グランベリーパークに繋がる、やりがいのある素晴らしいプロジェクトだったと心から思っています。

酒井 設計事務所としては、まちづくりにかなり早くコミットしていましたが、やはり当社が東急グループの一員として

鉄道沿線、鉄道施設に密接に結び付いていたことも関係しているのでしょうか。

伏野 たまプラーザ駅周辺開発のように最初から大きなプロジェクトもありましたが、東急さんは小さいところでもまちづくりを考えられていましたね。駅の前に敷地があれば何か有効活用したいというのがまず一番。例えば祐天寺駅は駅前にある敷地を街とどう繋げていくか、どんな施設を作るかなど、いろいろな相談が出てきましたね。

酒井 いろいろな相談、課題を出されると一つのジャンルでの解決では済まないところがありますね。

柚木 私は当初鉄道設計がメインで、その関連もあって、渋谷の改良に携わらせていただきました。駅だった場所を広く建築の敷地に変えていく。いろんな手法を駆使して最終的に今の形になっている。そこに至るまで、遠藤さんをはじめ社内の建築担当、都市計画系や開発系の方々の知見を混ぜ合わせながら、どうしたら東急さんが目指している街が作れるのか、

そこを追求していく作業でした。社内に各分野のエキスパートが揃う、このやりやすさは他社に比べてアドバンテージが高いと思います。

酒井 柚木さんのおっしゃる通り当社には組織的な多様性があり、それが現在の仕事の多様性や複合性に繋がっていると思います。商業と他の施設の複合ビルに関してご意見をお聞かせください。

吉田 最近のプロジェクトは再開発などの複合化したプロジェクトが増え、都市計画手法を使った用途変更や容積を増やすなど、単純な施設計画ではなくなりました。私の個人的な大規模開発の出発点になったたまプラーザのプロジェクトは、建築と鉄道施設、都市計画、土木設計が社内に揃っていたので求めるものができた。それがきっかけとなり新静岡セノバやグランエミオ所沢といった商業と鉄道の複合施設の開発計画へと繋がり、当社の強みとなったと感じています。それぞれの得意分野を活かしながら複合化ができる、当社の組織力が功を奏していると思います。

佐藤 商業施設に関していうと、当社では大型スーパーやシネマコンプレックスといった複合施設に必要な不可欠なテナントの内装設計も手掛けています。そういった守備範囲の広さも強みだと思っています。一般的に商業施設計画では後からテナントさんが入ってきます。テナントさんが内装設計を行う際に「こういうことをする必要はある」「こういう風にした」と考えることを理解した商業施設計画であればテナントさんにとってはよい施設となります。これまで蓄積されたノウハウの中から、そういうことを踏まえて設計をする。幅広くアンテナを張っているからヒントがすぐに入ってくるようになっていきます。いろいろな用途の設計を行っていることが相乗効果で、掛け算になっている。それは当社の良さをより大きくするエネ

ギーとなっています。

吉田 たまプラーザ駅のバスターミナルは南北にあって、南側は屋外に設けられ、北側は商業施設の地下部分にあります。この規模のバスターミナルの設計など一般的には経験できないと思います。

酒井 ジャンルを超えるという特性が財産になったということですね。まちづくりや駅周辺開発には行政と長く良好に付き合わなければならず、難題も多いと思います。それを解決してきた澤田さん、建築と開発の関係はどうでしょうか。

澤田 土木の業務は行政の許認可が主体であるため、行政協議がメインになります。一番の課題は行政の縦割りの専門部署で、それぞれの窓口は「規格の範疇での許可交付」が基本です。ただ、まちづくりはその地域の状況、特性でそれぞれ異なります。行政との付き合いは、“志を同じ”にするとところからはじまります。法的な基準の中から、法的基準から逸脱しない解釈を一つ一つ積み上げて丁寧の説明しながら理解していただく。それは街として一体的に整備することで得られる、土木的要素だけに収まらない多角的なメリットの提案です。それができるのも同じ屋根の下に建築メンバーがいることが当社の大きな強みだと思っています。

酒井 当社のまちづくりは、街の特徴を付与するプロジェクトが多いですね。単に事業者だけではなく、行政と地元の方々の要望を汲みながら時間をかけて完成していきます。早急にやらないのがまちづくりであり、建築づくりですね。

伏野 長いですからね。渋谷のスクランブルスクエア、東棟はできましたけれどまだ仮使用状況ですから。

酒井 時間という概念が図面の上にも入っているような仕事の仕方をしていますよね。



渋谷ストリームは複合化プロジェクトの代表例。旧東急東横線のホーム・線路跡地を活用し、渋谷の新たなランドマークとして2018年に竣工した



渋谷駅南街区における渋谷川再生は新たな人の流れを創出した

渋谷のまちの記憶の継承

酒井 大きく複雑なプロジェクト、心象に残ったことやエピソードをお聞かせください。また、どんな課題がありましたか。渋谷ストリームはどうでしょうか、遠藤さん。

遠藤 現在渋谷ストリームが建っている南エリアは、1964年の東京オリンピックで作られた国道246号線と首都高速で分断されてしまい、渋谷の中でも目的のある人しか行かない場所でした。事業主からは分断解消のひとつとして東急東横線が地下に潜ることになり既存の鉄道架道橋をコンバージョンして雨に濡れずに渋谷駅にアクセスできる連絡通路にして欲しいというオーダーがありました。単に屋根を掛けて繋げればいいのですが、簡単にはいきませんでした。鉄道架道橋は1961年の基準で作られた土木構造物、2015年の建築基準ではその上に建築物の屋根を掛けることができませんでした。そこで土木チームと2年以上行政協議を重ねました。土木工作物+建築物の2段重ねの法整理をしてカマゴコ屋根と目玉型の壁面パネルデザインを継承し、街の記憶を活かしたサステナブルな都市基盤としました。

酒井 渋谷川の上にも広場ができたし、地下からアーバン・コアのエスカレーターで上がってこられるようになり人の流れが多くなりました。渋谷の副都心としての優位性がさらに鮮明になっている気がします。

遠藤 2018年に竣工して、実際に通行量が増えているか歩行者の流動量の調査をしました。開業前に比べ人的には明らかに倍以上、代官山・恵比寿方面に人の流れができていました。

酒井 渋谷区がかなり柔軟な対応をしてくださいましたね。
柚木 一般的に橋というと道路橋と呼ばれるもので、道路として必要な幅員しか河川管理者(東京都)は認めてくれない

ですね。今回は渋谷区の行政財産として、イベントをやる目的の広場として訴求し、認められました。遠藤さんがお話したように南エリアは人が溜まれる場所がなかったんですね。そこにあるのは川という空間だけ。じゃあ、その上を有効活用してイベントを開催できる空間、人を呼べる空間を作ろうと。渋谷区にもそういった思いがあったと思います。

遠藤 実際の広場面積よりも大きく感じられていると思います。例えば手すりのデザインを建築部分と土木部分で統一したり、広場と歩道敷地の境界線を同じ仕上げとして一体に見せるなど、ボーダレスな空間を作って実際の領域以上に見える工夫をしています。

伏野 このノウハウに繋がったなと思えるのが渋谷ヒカリエですね。地下駅とヒカリエを接続して自然換気等ができるようにした。また、接続の仕方も工夫しています。当社ではないと理解できないほど、ヒカリエ・スクランブルスクエア・ストリームなど、駅への接続が何箇所にもなっているんです。

都市と自然の共栄を目指した二子玉川

酒井 二子玉川は都心の玄関であり、同時に郊外のはじまりという唯一無二のエリア。この再開発は都市機能の追求と自然環境の保守の2つの課題があり、ハードルの高い長い難しい案件だったと思います。

佐藤 そうですね、1982年の再開発を考える会の設立から2015年の竣工まで、実に33年もかかっていた完成ですから。

澤田 私の携わる土木は足元の仕事ですから、いいものができて埋まってしまって皆さんにお見せできないのがとても残念です(笑)が、とにかく土木分野の人間として感慨深いプロジェクトでした。この二子玉川エリアというのは、世田谷区のコア地区なんです。人がただ集まる場所ではなく、道路をはじめ、下水やガス等の重要なインフラも毛細血管のように複雑に入り組んでいました。そこを大きく5区画にわけて道路をいくつかの付替フェーズを経て付け替え、既存のインフラ基盤機能を止めることなく新しいものに作り替えていく。建築の街区を早く構築しなければならず、それに合わせたインフラの整備に苦労しました。



33年におよぶ開発計画が実を結んだ二子玉川ライズ



マンション、オフィス、商業施設が一体化した二子玉川ライズは、郊外型まちづくりの先進的なモデルとなった

酒井 目に見えない都市基盤部分が脆弱という難題があったんですね。

澤田 はい。一番難儀したのが補助金の関係やインフラ企業との工程調整もあり設計段階でかなりの骨格を決めないといけなかったことです。けれど6年間という工期の中で予定通りインフラ基盤を付け替え、道路整備を完了することができた。大きな事故やインフラ切断を起こすことなく無事に終わらせることができ「やりきった」と心から嬉しく思いました。それからもう一点、インフラ関連の企業さんと本当にいいお付き合いができたことです。惜しげもなく専門の技術や知識、経験を活かし課題解決に尽くしていただいたことは非常に貴重な経験でした。大規模再開発のツボを抑えることができ、我々の今後に大きなメリットになりました。このプロジェクトは行政と当社を含めた関連企業の一丸となって実現した、後世に誇れる素晴らしいものだと思います。

佐藤 「これはすごいぞ!」というのが、このプロジェクトをはじめて見た率直な感想です。私が本件に携わったのは後半の第2期、建築物の工事も佳境に差し掛かってきた時期でした。その時は正直な話、「二子玉川でこのボリュームのオフィスがどのように埋まるのだろう」と思ったのですが、東急さんは最後のギリギリまでがんばられて、企業一社を丸ごとビルに入れてしまうという大技をやられました。

酒井 二子玉川は、いま当社がやっている郊外型まちづくりの端緒を開くものでしたね。郊外にも働く場所が必要だというクライアントの勇気が感じられるお話です。

佐藤 2015年の完成後、二子玉川がどう変わったかというと昼間の就労人口です。二子玉川に欠けていた最後のピース

が完全にはまり、駅と公園を繋ぐ素晴らしいまちが完成したと思えました。

酒井 クライアントの勇気に一生懸命に応えていく、その象徴的なプロジェクトの一つだったと思います。

たまプラーザは郊外開発の常識を超えた

酒井 私はたまプラーザが郊外にありながら大変“都会的な街”になったと思っています。この都市性の高いまちづくりはどのようにやってこられたのでしょうか。

高橋 たまプラーザ駅周辺の開発案は検討期間が長くいろいろなプランがあったと聞いています。でも南口と北口の両方に駅ビルを建てるなど、建物の中に人を閉じ込めるような一般的な構造で街に開いている感じではなかったようです。最終的に、駅を中心とした3.8ヘクタールの広い土地を利用して、駅名のプラーザ(広場)という言葉に込められた広場中心のまちづくりにふさわしい、人が集い街を繋ぐ計画を目指しました。たまプラーザ駅を中心に人工地盤を設けて高低差のある土地をフラットに繋ぎ、低層な商業施設とともに様々な都市機能も併設されています。あらゆる方向に街に繋がる動線を確保しています。

吉田 この当時、郊外の駅に人工地盤を設けて大規模な商業施設を作るなんて事例は全くなかった。模索しながら設計していったというのが実情です。酒井さんから都会的という言葉がありました。郊外駅にはない大屋根のダイナミックな空間が街の玄関口として都会的に見える印象に繋がっているんじゃないでしょうか。そしてたまプラーザテラスが完成したことで、

街の活性化と合わせ沿線の付加価値向上にも繋がったと思っています。

伏野 基本計画の段階で、鉄道敷地は永遠に担保していかないといけない。また、南北の敷地は長い将来を見据えて今後の開発にも耐えられるよう、工夫した人工地盤としています。

酒井 鉄道というのは建築よりも時計の回し方が長いですよ。高橋さんが言っていた全体がわかれているのに街全体が1つの建築として作っているように見える、大変よくできました(笑)。

吉田 ここからが駅、ここからが商業ということではなく、境をあえて曖昧にしているんです。1つ屋根の下になんとか収まっている、それがたまプラーザテラスの良さ。

酒井 計画の中に時間の概念が入っている。これが「まちをつむぐ」ということになるんでしょうね。ずっと時間をかけてどんどん変化して、変化していくことに建築も土木も皆対応ができるような仕掛けをしておく。その仕組みがうまく動いている。

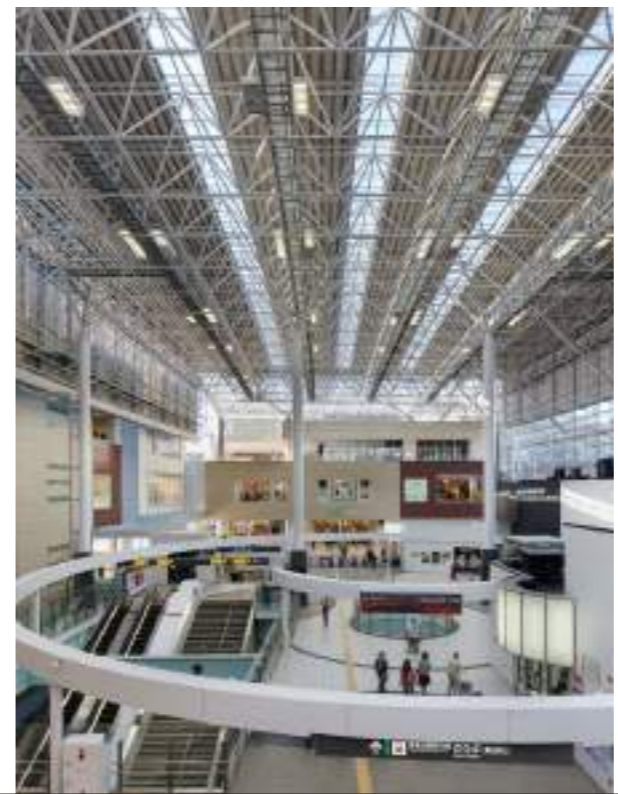
伏野 いい話ばかりではないんです。あれだけの大屋根にはそれ相応の開放性が必要で、雨が吹き込んできても不思議ではないわけですよ。竣工直後の大雨の日、駅に着くと中は霧状で真っ白、改札内で人が傘をさしているんですよ。これには焦りましたね。

高橋 すぐに関係者全員で対策チームを作り、一斉に動きました。

吉田 それが当社のノウハウになったね。設計している時には気がつかなかったことが、竣工してはじめてわかった。西武鉄道さんのグランエミオ所沢にも大屋根があるんですけど、たまプラーザの事例を設計に活かせました。

酒井 境界領域をうまく仕上げていくことが大事で、突飛な絵を描かなくても結果的に見たことがないものができあがりますね。

たまプラーザ駅の大屋根は、商業部分と駅空間の一体感を演出する



都市計画の新モデル 南町田グランベリーパーク

酒井 南町田グランベリーパークは完全にリング状で、しかもアウトドア。この空間はどういった経緯でできたのでしょうか。
高橋 敷地が約7ヘクタール、公園まで含めると約14ヘクタールを延々と歩けます。商業施設の歩行空間をリング状に回すというアイディアは、施設デザインを担当されたパブロ・ラグアルダさんによるものです。来訪者の方々が約600m以上の長さを歩いてくれるか、は最初から懸念事項であったため、海外の類似事例を紹介してもらい視察をしたものの、設計の段階から「一番遠い南側まで人を呼び込めるようにするには」「公園と反対側の東のルートや2階を歩いてくれるようにするには」は重要なポイントでした。特に東側や2階への自然な人の流れに配慮しました。人を呼び込める核となる施設を南側に設け、賑わい施設をずっと繋げて、広場など飽きさせない仕掛けが配置されています。公園と緑で繋がりがつつ商業の賑わいが途切れない工夫がなされています。それが功を奏して、スルスルと歩き回れる、ゆっくり滞在できる施設になったと思います。

吉田 南町田グランベリーパークは廻りを住宅地に囲まれている商業施設なんですね。それで住んでいる方=お客様であることから、駐車場が住宅地には面しないという計画になりました。だから駐車場は敷地の中央に配置され、必然的にモールは大きなサーキット状になった。周囲からは駐車場はほぼ見えないようになっています。

酒井 都市計画的な観点からもモデルケースになるんじゃないでしょうか。

高橋 そうですね。人口減少する中で魅力的なまちを作りたい町田市と沿線価値を高めて選ばれるまちを作るとおっしゃっている東急さんの熱い思いに寄り添い、当社も力を尽くしました。説明会では大勢の方々が来場されました。様々なご意見を伺いましたが、ほぼ毎回、最後は住民の方々の拍手で終わっていたのが印象的でした。公園と東急さんの敷地が道路で離れていたのを大街区化・歩行者用園路とし、車道は線路と公園の間に付け替えられました。それにより良好な住宅地に流れていた車を減らし、都市計画道路を通って国道16号線に出られるもうひとつのルートができました。

澤田 すでに確立されている道路を付け替えて新しいネットワークを作る、警察との協議にはかなり苦労しました。すでに出来上がって機能している道路のネットワークを新しいまちづくりに向けて作り替えることに対する警察の理解を得るために土木的な要素ではなく、都市計画的な要素、地元の理解、町田市の意向など、時間をかけて説得しました。出来上がって「よかったじゃない」と言っていた時には感慨深いものがありました。

酒井 近くに境川がありますが、河川の水処理はどうでしたか。
澤田 河川整備は、上流から下流(海)までがその河川が補う地域の防災機能として整備されていかななくてはなりません。これは、一部の地域のための整備では達成することができず



官民が共同して“すべてが公園のようなまち”を見事に具体化した南町田グランベリーパーク

関係する行政が一丸となつての整備が必要となります。南町田の該当地域はごく稀に冠水が起きる可能性がある地域でした。区画整理事業として当該地域の防災機能を高めるために巨大コンクリートの調整池を地中に埋め込んでいます。上部を運動公園として利用するため見えなくなって残念ですけど、とても頑丈で河川への負担軽減、冠水対策としても優れたものを築造できました。

酒井 伏野さん、南町田グランベリーパーク駅の大階段も見したことないサイズ感ですね。

伏野 駅を降りてその周辺を感じられる駅にして欲しいとのオーダーでした。鉄道の流動としては階段幅3mぐらいで十分なのですが、商業施設側へ大きく広げた階段としています。また、たまプラーザ駅のような大屋根が欲しいとのご要望もあり、ノウハウを有効に活用できました。駅に降りた時から公園を感じる、まるで公園に降り立ったというイメージになるようにと、大階段と滝が設けられています。

まちづくりからまちつむぎへ

酒井 創立50年の節目だから考えたいのですが、東急設計コンサルタントのこれからの使命とはなんでしょうか。我々がやるべきこと、そして若い方へのメッセージをお願いします。

遠藤 “余白”と言いますが、再開発の中に広場や界限といったものを組み入れることで魅力的なまちづくりになっていくと思います。デザイン、かっこよさ、突飛な驚きとかそういうことだけではありません。“余白”を単純に組み入れるだけでなく、まちが築いてきた歴史や設計手法に、新しい発想や発見を

織り込んでいくことが大切と考えます。最近のアジアや中東にできた単なる新しさや驚きだけの街に対抗するには、人間の五感に働きかける気配のある空間とすることも必要になると思います。今までの“余白”の積み重ねの上に、新しい感性を加えまちをつむいでいくことが我々の使命だと思います。

柚木 当社は三位一体の珍しい会社です。私は土木の人間ですが、建築と都市計画と一緒に取り組むことで、街に開いていく土木ができると感じています。それはまちづくりという目標に向かい、区分なくシームレスに繋げていくことができるということ。当社にしかできない強みです。今後はさらにこの強みを深めていく。ニッチな世界を極めることで当社の存在意義はより確立されていくんじゃないでしょうか。渋谷の開発はまだ続きますが、50年間で培ったノウハウをパッケージにして「こんなことができるんです!」と各地方自治体やデベロッパーに提案できると思っています。

佐藤 渋谷、二子玉川、たまプラーザ、南町田グランベリーパーク。東急田園都市線の性格が全く異なる駅を中心とした開発すべてに当社が携わったことはすごいことだと思います。当社は、クライアントの勇気に真摯に向き合いながらやってきた。もちろん山あり谷ありの50年だったはず。私は入社して32年経ちますが、自分が思っていた32年後よりも膨大なノウハウが蓄積された会社になっている。これからの世代の人には、この50年で積み上げられたものを当たり前とせず、これをベースにもっと上乗せして欲しいですね。次の50年はものすごい会社になっていると思います。

澤田 昔と比べて、施主さんや行政さんに土木を専門で携わってこれた方が少なくなってきました。つまり土木的な

課題に対して理解いただくのに時間や労力を要するという事です。当社の強みは、課題に対して建築と都市計画で問題意識を共通できること。異なる視点から導き出された解決法を活かすことができる。最近、各地方都市の役所での仕事をさせていただくことも多く、東急グループの一員として様々なプロジェクトで培ったいろいろなノウハウを持っていると期待されています。失敗談とその対策も貴重な財産です。私たちはこの財産を次の世代に繋げ、次の世代の新しい発想の中で次の50年をさらに大きくして欲しいと思います。

吉田 私は入社して10年ぐらいは分譲マンションの設計に携わっていました。ヒューマンスケールの細部まで詰める住宅設計は当社の原点、ぜひ若い方には経験して欲しい。その経験は商業施設設計などの大規模プロジェクトにも必ず活かれます。商業施設は人の流れを作って街を活性化させる要となるもの。当社は事業主さんのパートナーとして街の発展を見据えた設計が求められています。ただ建築設計をするのではなく、私自身も広く大きな視点で施設設計やまちづくりに携わる気概を持っていきたいですね。

池上 私が入社した当時は、土木と建築がそれぞれ単独でやっていた時代でした。現在はというと、少子高齢化や都市機能の老朽化などの問題を解決するために土木と建築が一緒になって解決しなければならないクロスオーバーの時代になっています。さらにこの先はAI化で人間の仕事はさらに変わっていく。ではその時に求められるものは何か。それは事業主の目線に立って、事業主とクロスオーバーできることだと思います。つまり、土木と建築が一緒になった問題解決シンクタンク。我々が持っている技術に新たな研究を溶かし込んで、事業主の問題に最適解で応えていくことではないでしょうか。

酒井 設計のスタイルが変わっていく。これは私も実感しています。南町田グランベリーパークではプロジェクトに若い人たちの創意工夫が活かされていますよね。

高橋 うちの会社の若い人たちは、自然に周囲を取り込んだ大きい範囲でプロジェクトを見ることが出来ます。敷地の中



グランベリーパーク(2019年)

だけをずっと考えている他社の建築設計の人とは少し違うと感じています。とても優秀ですよ。それは身近に都市計画、土木設計、開発設計があり、多くの経験と多様な角度からアイデアを出せる人が社内にいることが影響していると思います。若い人たちを見ているとこれこそが東急設計コンサルタントなんだな、と思います。

伏野 私の感じている50年…実は50年もいませんけど(笑)。鉄道施設や商業施設など多様なノウハウが蓄積されて、そのノウハウが地に足が着いてきたといえるでしょう。最近では東急グループ以外の民鉄企業からも開発計画のアドバイザーを依頼されることも増えてきました。それは我々の経験に基づいて、例え理想的なプランであっても切替計画等で、無理なことは無理とはっきりとアドバイスできることにあると思います。当社の経験とノウハウを信頼してくださっているということです。当社が50年で築いてきたものを大事にしながら、多くの信頼に応えていっていただきたいですね。

酒井 この50年、目の前に立ち上がってきた難しい課題に社内一体で懸命にぶつかっていたら、たくさんプロジェクトが成果として残った。皆さんのお話を聞いて、そのように思いました。そして年齢や所属を超えてフラットに協働していく、垣根のない仕事をしていくことが、これからの東急設計コンサルタントにますます必要だと感じました。今日はどうもありがとうございました。



グランベリーモール(1999年)

ワーク
ショップ

まちつむぎ / TAE、次の50年



「若手が考える、これからのTAEのまちづくり」をテーマにワークショップを開催。参加メンバーは所属を超えた10名。AチームとBチームに分かれ、目指すべきまちづくりについて意見を交わし、見識を深めた。4月に50周年を迎えたTAE。若い社員たちは、次の50年をどう描いたのか。

agenda
01

どんな街に暮らしたいだろう？

頭と場のウォームアップとして、まず街についての課題をユーザー視点で顕在化させるワークからスタート。



1チームは、テーブルファシリテーターを含む6名で構成。

『何かのきっかけを持つ街』

まだ緊張感のある中ではじまったワークショップ。「おいしいお店が多い街」とか「私は便利な街じゃないとダメかな」など身近なことから、徐々に打ち解けながら進んでいく。話が少しずつ深まっていく中、「コンセプトのある街」という意見が共感を集める。目指す方向が明確であることで街の独自性が生まれ、集まる人が多様になるといふ。そこから刺激を受け、視野や世界が広がっていく。皆、様々な世界へのきっかけを求めているようだ。「家族と会いやすい街」と書いたのは、地方出張が多いリゾート案件の担当者。コロナ禍で家族や友人とのかかわりを改めて考えたという。その意見に、多くのメンバーも人の繋がりがコミュニティを構築していくことの重要性を思う。



探検するのが
楽しい街は
飽きないね

『交通のよさが、にぎわいを呼ぶ街』

「交通の便がいい街」という意見も同意を集めた。これは、単に自分にとっての便利・不便の話ではなく、良好な交通利便により「人々のフットワークが軽くなる=街がにぎわう」という好循環が生まれるとの指摘。まちづくりを仕事にする者としての視点だ。また「自然が豊かなところ」という意見も出る。自然が多い地域に住みたいと引っ越してみたら夜が暗すぎ歩けなくなったという参加者は、自然の豊かさもある程度管理された自然(ランドスケープ)が望ましいのではと話した。



賑わう街には
刺激がある！



閃いたアイデアは付せんを書いて
模造紙に貼っていく。

agenda
02

仕事を通じて、街にもたらした影響や変化は？

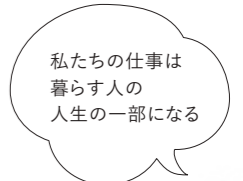
自分たちがかかわった仕事を振り返りながら、目指すべきまちづくりのヒントを探してみる。



議論が白熱すると、無意識に立ち上がる姿も。

『街に集う人に、 あたらしい喜びを提供できた』

グランベリーパークを担当したメンバーは、オープン時、「ここはディズニーランド？」と錯覚するほどのにぎわいだったと振り返る。施設全体がウォークアブルな公園のような設計で、街に集まる人にとって、新しい動線が新鮮なおもしろさに繋がったのではと話す。ある建築担当者は団地リノベーションコンペに入選した経験から、ある程度使い手にゆだねる計画とし、よりフィットする住まいを提供できたという。遊びのない計画は、どうしても使い手が窮屈な状況になる。その中で「ゆるく規制する」という手法を選んだのだ。



私たちの仕事は
暮らす人の
人生の一部になる

『私たちの仕事は、街の起爆剤』

渋谷ストリームを担当したメンバーは、地元の高齢者の方が懐かしそうに「ここは昔、きれいな川だった」と、渋谷川の再生と新たなにぎわいを喜ぶ姿が印象的だったと語る。長らく渋谷の裏と呼ばれていた南側エリアを開発したとき話だ。他のメンバーからも、かかわった開発で街に新しい動線が増えた結果、その動線に紐づくように次々とユニークな店ができ、開発の影響が街全体に波及していく様子を目の当たりにしたという話があった。設計という仕事は、街を活性化させる原動力になれる、と感じられるエピソードだ。



愛着のあるまちを
作るためには、
住民の声を聞くこと



模造紙を壁に貼り、多数で意見を俯瞰的に捉える。

Pick up photos >>



#お菓子 #脳が疲れたらどうぞ



#カラフル #閃いたアイデアはこれで



#夢中になるとみんな前のめり



#楽しく、だけど真剣に



#語りに語る #予想外の気づきも



#意見の数だけポストイット



#発表 #プレゼン力の見せどころ



#部署を越えて #新たな絆が

自己紹介では、設計という仕事を選んだきっかけとして「子供の頃に訪れた住宅展示場」という声が複数聞かれた。誰かが「住宅展示場こそ、未来の建築家を生み出す場所かも」というと、笑いが起き、空気が和む。「他部署の人がどんなことを考えているか勉強になった」「一緒に考えると思いもよらなかったアイデアにたどり着く」など、それぞれ今後の仕事に繋がる手応えを感じていた。



これから街をよりよくしていくために必要なものは？

書き出されたアイデアをマップ上で分類・整理。TAEが目指すべきまちづくりに迫っていく。



これまでに
出た
アイデアを「提案」
としてまとめました

Aチームでは、まちづくりに必要な「きっかけ」を考察した。

A TEAM IDEA / その土地の個性を活かす“きっかけ”を見出す

これからのまちづくりに必要となってくるのは、それぞれの街が持つ特徴や役割に着目し、持続的な発展が可能となる様々な「きっかけ」を見出したり、つくり出すことではないか。きっかけとは例えば、地域の歴史や文化にヒントがあるかもしれないし、このワークショップのような会議体かもしれない。きっかけを起点に、所与のものに改良を重ね、優れた機能を付加して、環境への負担をできるだけかけずに街の発展に貢献する。地域にふさわしい「きっかけ」のタネを撒くことで、植物が枝葉を広げていくような持続的な発展を見込めるようになる。それがさらに周辺エリアの発展の「きっかけ」になる可能性もあるはずだ。



Aチームの発表の様子。



自然と笑顔にも熱がこもる。



提案の際はスケッチブックを活用した。

B TEAM IDEA / 「余白」と「事業性」を両立させる計画・設計

agenda2で「ゆるく規制する」という建築の手法を聞いた土木・まちづくり室メンバーから、街を計画・設計する場合でも使い手がカスタムする「余白」をつくり出すことでより愛着の持てる街ができるのではという意見が出る。この考えを軸にBチームの案はまとまっていく。

街という舞台の主役は生活者たちだ。彼らに愛着を持ってもらうため、設計者は余白(公園や新たな空間など)を入れ込み、訪れてみたい・住んでみたい街をつくり出そうと考える。それには、単に空間を設計するだけでなく、開発する事業者の立場に立ち事業性との両立を考えることが不可欠だ。私たちにもそんなチャレンジが必要ではないか。それは異業種とのコラボレーションまで視野に入れた、TAEの新しい扉を開く活動になるだろう。



制限時間内で意見をまとめるのは大変。



Bチームの発表の様子。



Bチームでは、「余白」の重要性に着眼して提案をまとめた。

愛着に繋がる
余白づくりを常に
考えていきたい



これからの業務に繋がる手ごたえを実感。



若手が考える、これからのTAEのまちづくり

3時間近くに及んだ及んだワークショップの成果をプレゼンテーション。



(左から)
山本 雄太 都市・土木本部開発設計室(テーブルファシリテーター)
居波 宏和 建築設計本部 第5設計室
塩原 緑 建築設計本部 環境・設備設計室
広沢 望 都市・土木本部 構造設計室
伊藤 駿 建築設計本部 構造設計室
辰己 祐輔 建築設計本部 マルチプロジェクト設計室

A TEAM PROPOSAL / 豊かなまちづくりの連鎖を生む「TAnE(タネ)づくり」

Aチームは、考えを「TAnE(タネ)づくり」というワードに集約しました(TAnEとは、当社の英名の頭文字「TAE」と「種」をかけ合わせた造語)。これからのTAEには、従来のまちづくりだけではなく、「きっかけ」のTAnE(タネ)をつくっていくことが重要だと考えています。にぎわいのきっかけ、コミュニティのきっかけ、SDGsへのきっかけ…。街に様々な「きっかけ」のタネを蒔き、それぞれの街の特性を活かし、個性を磨きながら育て、発展させていく。私たちがまちづくりで蒔いたタネは、街で成熟し花を咲かせ、またタネを別の場所に飛ばします。隣町へ、さらに遠く地方の街にも運ばれるでしょう。「TAnEづくり」の狙いは、豊かなまちづくりの連鎖です。TAnEから、私たちはどんな花を咲かせることができるのか。考えるだけでワクワクしてきます。

《感想》

違う部門や部署の人と議論することは新鮮な体験でした。一緒に考えることによって、とてもひとりではたどり着けない場所にたどり着いた感じがあります。このような取り組みを日常業務でもできれば、新しい変化をつくり出せるように思いました。



(左から)
今井 久美子 建築設計本部 マルチプロジェクト設計室(テーブルファシリテーター)
早瀬 明日香 建築設計本部 第1設計室
平井 良拓 建築設計本部 第4設計室
清水 征考 都市・土木本部 まちづくり室
笹沢 果葉 都市・土木本部 まちづくり室
扇芝 孝誠 建築設計本部 西日本支店

B TEAM PROPOSAL / 都市・建築の“余白”を実現させる「ソフト研究室」

時代は変化する。その変化を柔軟に受け止められる「余白」を設計することが、都市・建築に重要と考えます。ただ、余白をつくり出した場合、やはり事業性が壁(お金を生まないということ)になります。そこで新たに余白の活用方法をプランニングする「ソフト研究室」を組織化するのはどうか。TAEの強みの「都市・建築・土木のワンパッケージ」に加え、あらかじめ事業性を考慮した余白とソフト企画を提案することで、実現性を高められるのではないかと考えました。生活者に“まち愛”を持ってもらうためには、ハード面を超えたソフト面での提案力が不可欠です。完成後の街への提案力・創造力を持つことで、TAEのまちづくりパッケージは無限に拡大できる。この新しいパッケージの展開で、TAEの次の50年はさらにおもしろい時代にできると思います。

《感想》

組織外の人の仕事に目を向けることの大切さを再確認させられるワークショップでした。ちょっと違う視点を取り込めるようになれば、目の前の仕事にさらに興味とやりがいをもって取り組めると感じました。

総括 ワークショップを振り返って

ワークショップ企画者/統括ファシリテーター 今井久美子

若手社員たちが、いま何を考えながら仕事に取り組んでいるかを伝えたい。そんな思いからワークショップの企画がスタートしました。しかしプログラムの設計が難航、不安な中でのスタートでしたが、そんな不安が吹き飛んでしまうほどの活発な意見交換が行われました。印象的だったのは、コロナの影響もあり、部門間の交流がかなり少なくなってしまっていたこと。このワークショップは、互いの考え方の違いへの気づき、新たなコミュニケーションが生まれる貴重な機会になりました。業務以外の一面を知ることができたのもとてもよい刺激となったように感じました。忙しい業務の合間を縫って集まっていた参加者への感謝とともに、社員間の関係性を密に保つことの重要性、仕事以外のコミュニケーションの場を持つことの大切さを感じた一日でした。



ワークショップ企画・運営メンバー

TAE 50th VISUAL TIMELINE ~History of Machi Tsumugi

1963~ (昭和38) 1973 (昭和48) 1974 (昭和49) 1975 (昭和50) 1976 (昭和51) 1977 (昭和52) 1978 (昭和53) 1979 (昭和54) 1980 (昭和55) 1981 (昭和56) 1982 (昭和57) 1983 (昭和58) 1984 (昭和59) 1985 (昭和60) 1986 (昭和61) 1987 (昭和62) 1988 (昭和63) 1989 (昭和64) (平成元) 1990 (平成2) 1991 (平成3) 1992 (平成4) 1993 (平成5) 1994 (平成6) 1995 (平成7) 1996 (平成8) 1997 (平成9)

実績

東急設計
コンサルタント
設立



町田東急ハンズ



中央林間東急



渋谷文化村



世田谷ビジネススクエア



日吉東急アベニュー



青葉台フォーラム



藤沢東急プラザ
(東急ハンズ藤沢店)



鷺沼東急



東急ケーブルテレビジョン
(現iTSCOM)



東急ドエルアルス多摩川



青葉台東急スクエア
North



青葉台東急スクエア
South



湘南とうきゅう



東急ハンズ渋谷店



たまプラーザ東急
ショッピングセンター



東急ドエル宮崎台・
ガーデンテラス



芦花公園プレステージ



あすみが丘ガーデンコート



聖路加ガーデンレジデンス棟
(内装)



イトーヨーカドー津田沼店



東急ドエル藤沢ビレジ



パークハイツ鶴見



シティ能見台ふれあいの街



慶応藤沢キャンパス



プレステージ浜田山



東急ドエル我孫子ビレジ



磯子台パークハイツ



宮古島東急リゾート



東急ハーヴェストクラブ蓼科



グランデコホテル&リゾート



東急ドエルプレステージ
浜田山ガーデンズ



勝浦東急リゾート



蓼科東急リゾート



京急ニュータウン金沢見台



土気南地区(あすみが丘)



奥沢~田園調布地下化設計



目蒲線千束~目黒連続立体交差

年表

当社の関わった
主な「まちつむぎ」

1974
江ノ電百貨店、
東急百貨店吉祥寺店

1978
東急ハンズ渋谷店

1979
蓼科東急リゾート

1987
109-②

1986
あすみが丘開発

1993
世田谷ビジネススクエア、
あすみが丘ガーデンコート、
季美の森ゴルフ&住宅

当社の動き

1963
当社の前身である
東急不動産
設計管理部が発足

1973.4
東急設計コンサルタント設立
竹内有一社長就任
資本金5000万円、従業員105名

1974
大阪事務所を支店とする

1976
中目黒に本社ビル購入、移転

1977
北海道事務所開設

1982
たまプラーザ東急ショッピングセンター・
高雄アンバサダーホテル等(海外ホテル)

1982
千葉事務所開設・
シンガポール事務所設置

1983
従業員150名到達

1985
宮古島東急リゾート、
金沢東急ホテル

1985.12
洞理之社長就任

1988
ハーヴェストクラブ蓼科

1987
北海道事務所閉鎖

1989
従業員200名到達

1991
中目黒に新本社購入、
社屋分社

1992
資本金1億円に増資、
従業員250名到達

1992
デグランデコホテル&リゾート

1995
新長田駅地区震災復興市街地再開発

1995.12
松本健社長就任

TAE 50th VISUAL TIMELINE ~History of Machi Tsumugi

1998 (平成10)	1999 (平成11)	2000 (平成12)	2001 (平成13)	2002 (平成14)	2003 (平成15)	2004 (平成16)	2005 (平成17)	2006 (平成18)	2007 (平成19)	2008 (平成20)	2009 (平成21)	2010 (平成22)	2011 (平成23)	2012 (平成24)	2013 (平成25)	2014 (平成26)	2015 (平成27)	2016 (平成28)	2017 (平成29)	2018 (平成30)	2019 (平成31) (令和元)	2020 (令和2)	2021 (令和3)	2022 (令和4)	2023 (令和5)
----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	-------------------------	---------------	---------------	---------------	---------------



渋谷マークシティ



セルリアンタワー



フェスタ立花



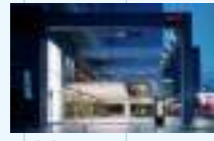
ホテルヴィアイン東京大井町



東急キャピトルタワー



グランベリーモール



JR東急目黒ビル



あざみ野三規庭



アスタプラザイースト



ニ子玉川ライズタワー&レジデンス



東京都市大学横浜キャンパス



109シネマズ富谷



みなとみらい線・東横線横浜駅



高幡不動駅ビル



東急ドライビングスクール



イトーヨーカ堂白井店



イトーヨーカ堂やまとオークシティ



つくばエクスプレス守谷駅



東横線元住吉駅



副都心線・東横線渋谷駅



プレステージ赤坂氷川町



大磯プレイス



モデラビークス戸塚



ドレッセ美しの森フロラージュ



東急ウェリナ大岡山



ガーデンシティ八千代



上北沢コートテラス



グランクレールあざみ野



東急ハーヴェストクラブ那須



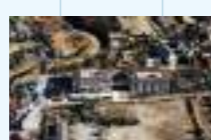
グランクレールセンター南



ビックウィーク箱根強羅



ニ子玉川駅改良



東急ハーヴェストクラブ箱根甲子園



東横線元住吉駅付近複々線化南



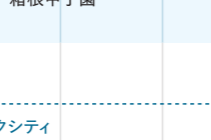
東急ハーヴェストクラブ箱根翡翠



京急蒲田駅付近連続立体交差



ホテルオリオンモトリゾート&スパ



ハイアットリージェンシー瀬良垣



富士本栖湖リゾート



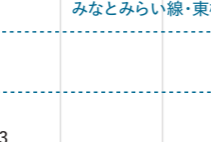
千曲川橋梁災害復旧



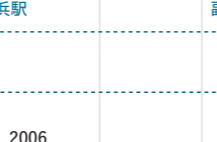
東急歌舞伎町タワー



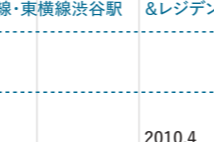
池上線池上駅エトモ池上



ドレッセタワー・南町田グランベリーパーク



ブランズシティあざみ野



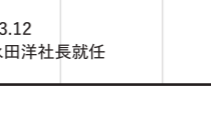
ブランズシティ横濱上大岡



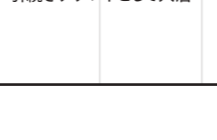
ROKU KYUTO, LXR Hotel & Resorts



南町田グランベリーパーク



ドレッセタワー



池上線池上駅エトモ池上



池上線池上駅エトモ池上

提供：渋谷スクランブルスクエア

TAEの まちづくり



渋谷スクランブルスクエア
2019年竣工

渋谷363清水ビル
2015年竣工

渋谷ヒカリエ
2012年竣工

渋谷ストリーム
2018年竣工

渋谷川環境整備
2018年竣工

渋谷ブリッジ
2018年竣工

ログロード代官山
2015年竣工

セルリアンタワー
2001年竣工

渋谷二丁目17地区
2024年竣工予定

アーバン・コア
2018年竣工

渋谷駅新南口ビル
2000年竣工

渋谷マークシティ
2000年竣工

渋谷ソラスタ
2019年竣工

道玄坂通dogenzaka-dori
ホテルインディゴ東京渋谷
(道玄坂二丁目開発プロジェクト)
2023年竣工予定

代々木公園Park-PFI
2024年竣工予定

渋谷駅および周辺施設

東横線・副都心線渋谷駅	2008年改修
渋谷ちかみちラウンジ	2014年改修
田園都市線渋谷駅	2015年改修
銀座線渋谷駅	2020年改修
渋谷地下街「しぶちか」	2021年改修

東急グループの一翼として50年にわたり、駅周辺を核としたまちづくりに応えてきたTAE (Tokyu Architects & Engineers INC.)。かつて時代の要請であった交通結節点としての駅は、現在ではあらゆるモノとコトが交わる「交流結節点」の役割を担う多機能複合型施設へと進化している。「都市開発×建築設計×土木設計」の複合技術集団として守備領域を超えて挑んだ駅周辺ビッグ・プロジェクトから、TAEの軌跡を振り返る。

渋谷駅周辺再開発

実現不可能ともいわれた
「100年に一度」の壮大な事業

グローバル都市である渋谷は、100年以上にわたり東急グループの最重要拠点であり、まちづくりの象徴でもある。その窓口となる渋谷駅は4社9線の鉄道路線が直結する世界有数の巨大ターミナル。しかし、かつての駅施設は明治時代から繰り返された増改築により「ダンジョン(地下迷宮)」と称される複雑かつ重層的な配置、さらにその中を暗渠化された渋谷川が流れるという立体パズルのような構造になっていた。渋谷駅施設と周辺建物の多くが1981年以前の耐震基準改正以前に建築されていることから、安全性や防災性の向上、バリアフリー化が求められ、また渋谷川が形成する地形から浸水・冠水被害を受けやすいという課題、安全で快適な歩行者空間の確保、自動車交通の混雑緩和などいくつもの課題を抱えていた。

渋谷再開発のきっかけとなったのは、東京メトロ副都心線と東急東横線の相互直通運転化である。2002年、渋谷駅から代官山駅にかけて地下化が決まり、渋谷駅南側に広大なスペースが生まれることから大規模開発が加速する。2005年には渋谷駅周辺が国や東京都の「都市再生緊急整備地域」に指定され、特例措置を活かした自由度の高い再開発事業が可能になった。続く2010年には「渋谷駅中心地区まちづくり指針2010」が策定。これにより街の強みを活かして課題を克服する、渋谷の価値を相乗的に高める100年に一度の未曾有の再開発が可能となった。

そしていま、TAEのまちづくりは、渋谷駅を中心に代官山や代々木公園へと広がりを見せつつある。

提供：渋谷スクランブルスクエア



提供：渋谷スクランブルスクエア

渋谷スクランブルスクエア



「エンターテインメントシティSHIBUYA」のシンボルとして世界から集客し、駅から街へ人を送り出す施設として計画。地上約230mの屋上に展望施設、高層にオフィス、共創施設、低層に商業施設を設けた複合施設。I期工事で東棟が完成、全体完成は2027年度の予定。

建築主：東急株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社
竣工：2019年
延床面積：276,617.80㎡
構造：S造、一部SRC造、一部RC造
階数：B7F～47F
J V等：日建設計、隈研吾建築都市設計事務所、SANAA事務所(デザインアーキテクト)、日建設計、JR東日本建築設計、メトロ開発(設計JV)

MIPI Asia Awards 銅賞・KUKAN OF THE YEAR・鉄道建築協会賞



渋谷ストリーム



地下化に伴う東急東横線跡地を国道や鉄道による分断を解消し隣接する渋谷川を再生することで、南への流れを創出。東横線旧渋谷駅の鉄道部材などにより鉄道の記憶を継承し、縦横様々なヴォイドにより視覚、匂い、音、風や気配等のまちの記憶を再構成した。

建築主：東急株式会社他
竣工：2018年
延床面積：118,379.00㎡
構造：S造、一部SRC造
階数：B4F～36F
J V等：シーラカンアンドアソシエイツ(デザインアーキテクト)

日本建築学会作品選奨・JIA優秀建築賞・GDA100選2019・BCS賞第62回・鉄道建築協会賞



渋谷ヒカリエ



地下鉄銀座線線路上部にスカイデッキを設置し、駅直結の地下3階から4階までをアーバン・コアと呼ぶ縦方向の結節空間とした。様々な階層で谷状地形の周辺地域と接続し、多層な歩行者ネットワークによる賑わいを創出する。

建築主：東急株式会社他
竣工：2012年
延床面積：144,545.00㎡
構造：S造、一部SRC造
階数：B4F～34F
J V等：日建設計(設計JV)

GDA2012・鉄道建築協会賞



渋谷ソラスト



働く人々の生産性を高めるIoT技術を導入し、快適かつ多様なワークスタイルを支援する2019年竣工のオフィスビル。四季を感じられる各階テラスやスカイテラス・ラウンジなど、人々のコミュニケーションを喚起し、多彩なワーカースタイルが活躍できる場を創出した。

建築主：一般社団法人道玄坂121(東急不動産株式会社)
竣工：2019年
延床面積：46,954.00㎡
構造：S造、一部SRC造
階数：B1F～21F
J V等：日建設計(設計監修) 清水建設(設計JV)



渋谷マークシティ



交通施設と商業施設をダイナミックに連結し、渋谷の新たな人の流れを作り出す都市軸の一部を形成。2000年に開業。

延床面積：138,620.49㎡
構造：S造、一部SRC造
階数：B2F～25F
J V等：日本設計(設計JV)

GDA2000・第33回SDA賞・鉄道建築協会賞



渋谷駅新南口ビル



敷地に合わせたセットバックで外部と繋がりを持ったコア形態により移動・休息時に五感を刺激するアメニティオフィスビルとなった。

延床面積：9,013.00㎡
構造：S造
階数：B1F～9F



渋谷363清水ビル



時間帯で調色・調光制御したエントランス、屋上テラス、免震構造の採用などコンパクトながら付加機能の高いオフィスビル。

延床面積：4,535.09㎡
構造：S造、一部SRC造、一部RC造
階数：11F



渋谷二丁目17地区



渋谷ヒカリエ隣接の複合施設。ヒカリエや後背地と繋がる歩道橋にデッキ接続し、駅周辺の回遊性向上を図る。「ZEB Oriented」認証取得。

延床面積：44,511.77㎡
構造：S造、一部SRC造
階数：B4F～23F
J V等：三菱地所設計、パシフィックコンサルタンツ(設計JV)



©Ewix Inc.

田園都市線 渋谷駅

「渋谷ちかみち」の愛称がつけられた、東急田園都市線渋谷駅地下コンコースのリニューアル。わかりやすい空間としつつ、表情が豊かな場が連続する、歩くのが楽しくなる駅コンコースとなっている。

建築主：東急電鉄株式会社
竣工：2015年(改修)
延床面積：16,271.00㎡
構造：RC造
階数：B5F～1F



銀座線 渋谷駅

1938年の開業以来の大規模改修で2020年に竣工。安全・サービス面の課題を改善し、新駅舎は視認性の高い改札や開放的なホーム空間、特徴的なM型架構など、近未来を感じさせる「渋谷の顔」となっている。

建築主：東京地下鉄株式会社
竣工：2020年
延床面積：5,212.52㎡
構造：RC造、S造
階数：B2F～3F
J V 等：内藤廣建築設計事務所(デザイン監修)、メトロ開発(設計)
鉄道建築協会賞



東横線・副都心線 渋谷駅

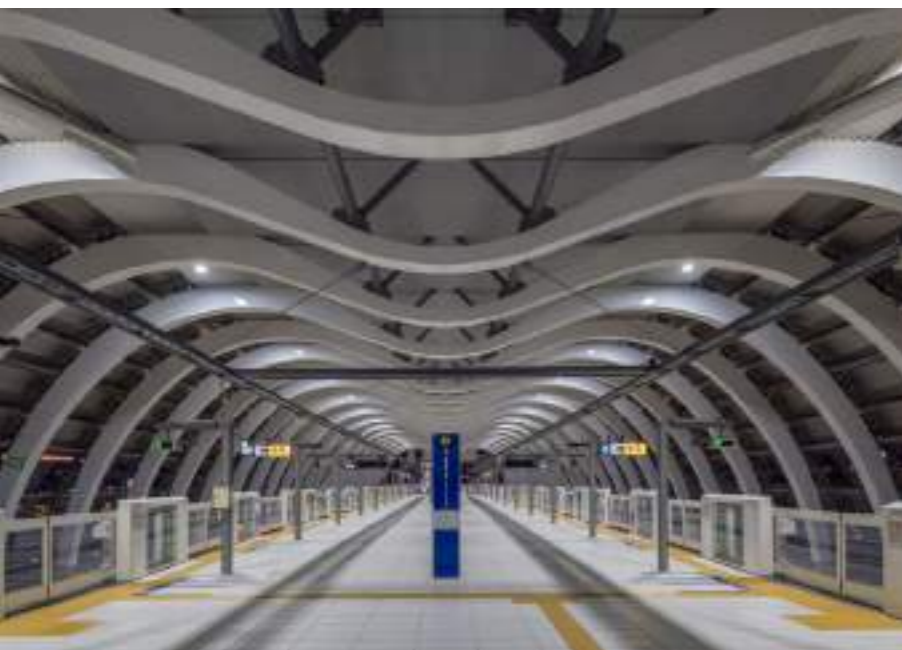
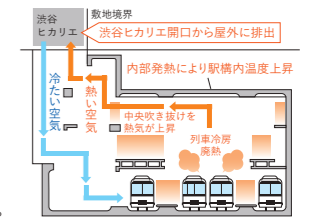
渋谷の心象に残る新しい名所となる、力強さとスピード感のある近未来的なデザイン性の高い駅舎。安心・安全を追求した地球に優しい新時代の駅空間となっている。2008年竣工、2009年に鉄道建築協会賞特別賞を受賞。

建築主：東急電鉄株式会社、東京地下鉄株式会社
竣工：2008年
延床面積：27,725.00㎡
構造：RC造、S造
階数：B5F～1F
J V 等：安藤忠雄建築研究所、日建設計(設計JV)

自然換気・放射冷房システム

地下鉄で世界初となる放射冷房空間

駅構内の空気を外部への開口部を通して自然換気を行うとともに、駅ホームの天井表面や床表面の温度を室内温度よりも低く保つことで放射による冷房環境を実現。利用者への快適性と省エネルギーの両立を果たした。



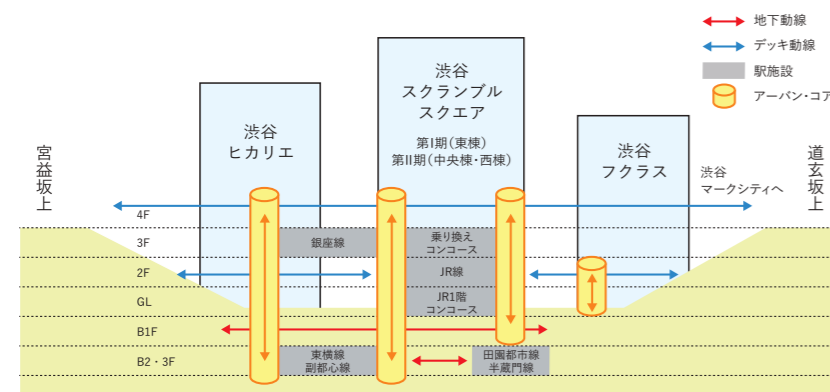
アーバン・コア

「多層な都市基盤やまちを上下に繋ぎ、地下およびデッキから地上へ人を誘導。また、横方向への動線を結ぶ空間」と定義され、特徴的な形状でまちに対して開かれた駅前のランドマークとなっている。



■渋谷地下街「しぶちか」

築62年を経たスクランブル交差点・ハチ公広場直下の渋谷地下街の改修。自立した基盤設備設置と建築基準法や消防法の既存不適格の解消とともに通路・商業施設を「アナザースクランブル」のコンセプトのもとにリニューアルした。



縦横の回遊性の向上を示すイメージ図

基盤整備

渋谷駅は、各鉄道会社がすり鉢状の谷底で開発を重ねたことにより利用者の利便性を無視した複雑な構造となっていた。そこで鉄道施設や幹線道路などで分断された街を繋ぐ歩行者デッキと地下空間を繋ぐ地下通路を設置、縦動線としてのアーバン・コアと合わせて街の回遊性を向上。さらに東京メトロ銀座線のホーム移設やJR埼京線ホームの移設など、鉄道乗り換えの改善を実現した。また渋谷駅中心地区はその地形特質から地震や集中豪雨への対策が重要課題であり、インフラの脆弱性を克服する必要があったため、浸水対策として渋谷駅東口広場の地下に約4,000トンの雨水貯留施設を整備した。

■渋谷ちかみちラウンジ

渋谷駅地下コンコースに設けられた利便性と快適性を兼ね備えたレストスペース。2014年、日本初の施設としてコンシェルジュが常駐するラウンジ、女性パウダールーム、男性ドレッシングルーム、授乳室、ベビールームなどを集約。



渋谷川環境整備

水源がなく川底が見え水たまりが散見された川に下水処理場で高度処理された清流復活水を導水し、稲荷橋～金王橋の60m区間にわたる護岸から水景施設としての「壁泉」から放流した。この壁泉により水流を復活させ河川の景観を向上させるのみならず、元来からの課題であった臭いや虫発生を低減させ環境改善をした。既存橋に隣接し広幅橋を架橋し、「まちのゲートとなる広場」と「まちのシンボルとなる広場」の2つの広場を整備。川と一体の水を感じられる広場空間となり、地元の祭りやイベントに活用され、まちの顔・シンボルとして機能している。さらに普遍的なおわん型の護岸形状であった河川の一部に緩傾斜護岸として環境空間を整備することで川との一体感を創出した。渋谷川は鉄道との関係が深い。東急東横線が地下化されるまでは、河川脇に鉄道高架橋があり、渋谷川の景色を構成していた。戦前までは並木橋脇に並木橋駅も存在していた。鉄道との関係を後世に残すべく、河川脇の空間の端々に鉄道の歴史を意識できる高架橋柱やレール、電柱などの施設を配置。並木橋駅跡にはプラットホーム形状も再現した。連続する河川環境の改善により、再生都市河川により川をまちの表舞台とし、代官山方向に繋がるまちのネットワーク構築を行った。





上/「森に浮かぶ宝石」を想起させる透明感のあるタワー群 下2点/水・緑・光をテーマにした都市と自然が調和した風景

二子玉川再開発 “水と緑と光”の豊かな環境が調和したまちづくり



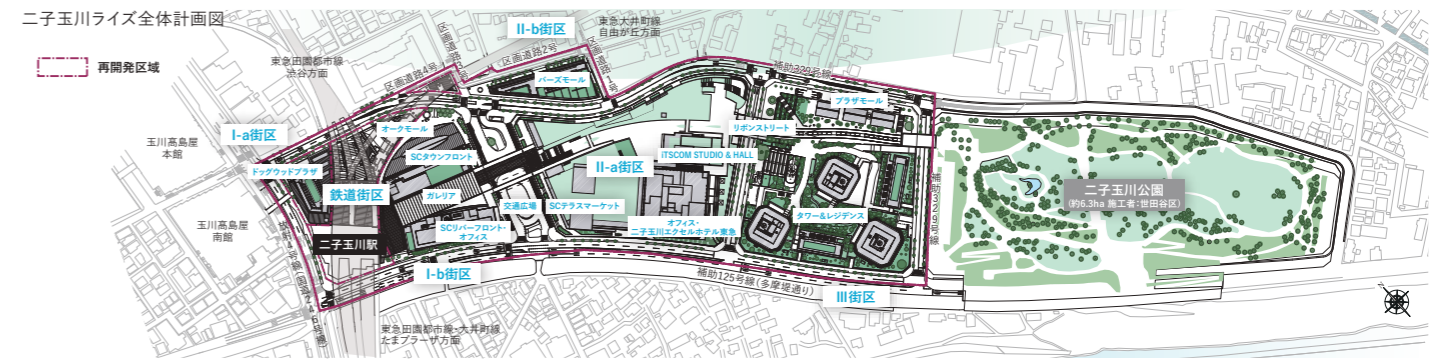
構想から33年を経て実現した再開発事業

二子玉川は東京都世田谷区が多摩川沿いに位置し、東急田園都市線、大井町線、国道246号線といった交通の要衝ともなっている。古くから多摩川の自然と国分寺産線の緑に恵まれた環境の下、二子玉川駅東側に1954年の二子玉川園(遊園地)の開園、1969年の玉川高島屋S・Cが西側にオープンするなど行楽地・商業地として発展した。しかし、1985年の二子玉川園の閉園を契機に駅東側の賑わいは薄れていく。老朽化した木造建築物の集積に加え、道路整備等も不十分で、都市基盤の脆弱さや安全性、防災面における問題を抱えるようになった。

前後して、大規模な空閑地の有効活用を求める声が高まり、1982年に二子玉川東地区では「再開発を考える会」が発足。1986年、東京都都市開発方針の「再開発促進地区」に指定され、「二子玉川東地区基本計画」を世田谷区が1987年に発表した。これまでにない洗練された都市機能と、あるがままの豊かな自然が共存する未曾有の再開発事業が一步を踏み出したのである。

都市と自然が共存する都内最大級の民間再開発

総開発面積は約11.2ha、民間再開発としては都内最大級のスケールを誇る。東京の西の玄関口としての二子玉川の持つ立地的優位性を活かし、「都市から自然へ」「水と緑と光の豊かな自然環境が調和したまちづくり」の2つを都市デザインコンセプトとして掲げた。二子玉川駅を拠点にして商業施設・オフィスが立ち並び、駅から遠ざかるにつれて緑豊かな高層住宅や都市公園、そして多摩川の自然に至る。区域内の歩行者専用通路は自然の変化を徐々に感じられるよう工夫され、すべての人々が安全・安心・快適に生活できる複合的かつ地域の交通の核となるまちづくりを目指した。再開発事業は2つの事業区域に分かれ段階的に実施された。第1期事業は2011年、第2期事業が2015年に竣工し、回遊性と賑わいのある広域生活・文化拠点となる「二子玉川ライズ」という新たな街が完成した。約1kmにおよぶ長い形状の二子玉川ライズは、二子玉川駅と二子玉川公園を1本の遊歩道リボンストリートで繋ぎ、商業・オフィス・ホテル・住宅など多様な生活利便施設を集約させることでコンパクトなウォークアブルシティを実現。建物やインフラストラクチャーは環境に配慮した最新の設計手法を採用し、エリア全体のさらなる価値創出に貢献している。



(仮称)二子玉川公園の図は、世田谷区が策定した(仮称)二子玉川公園基本計画図を世田谷区の承諾を得て掲載したものです。

基盤設備

地区全体で東西を結ぶ歩行者ネットワークを形成。国道246号線地下の連絡通路や上空歩行者連絡デッキ、人工地盤上の歩行者通路を整備し、二子玉川駅から多摩川に至るまで自動車交通等に阻害されない歩車分離した立体的で回遊性の高い快適な歩行者空間を実現した。また、無電柱化(電線共同溝)を世田谷区管理で整備することにより、防災、景観、快適性の向上を図るとともに、交通広場で発生するバス、タクシー、一般車等車両の動線の最適化、歩行者との動線分離を行っている。さらに防災の観点から、各街区内に雨水流出抑制施設(地下貯留ピット)を設置し、再開発区域内で再構築した下水施設に接続することで、冠水対策の向上を図っている。

二子玉川ライズショッピングセンター&オフィス

建築主：二子玉川東地区市街地再開発組合
竣工：2011年
延床面積：106,700.00㎡
構造：S造、RC造、SRC造
階数：B2F~16F
J V 等：アール・アイ・イー、日本設計(設計JV)、
コンラン&パートナーズ(デザイン監修)

二子玉川ライズタワー&レジデンス

建築主：二子玉川東地区市街地再開発組合
竣工：2011年
延床面積：133,353.00㎡
構造：RC造、S造
階数：B1F~42F
J V 等：アール・アイ・イー、日本設計(設計JV)、
コンラン&パートナーズ(デザイン監修)

二子玉川ライズ・タワーオフィス

建築主：二子玉川東地区市街地再開発組合
竣工：2015年
延床面積：157,000.00㎡
構造：S造、RC造、SRC造
階数：B2F~30F
J V 等：日建設計、アール・アイ・イー(設計JV)、
コンラン&パートナーズ(デザイン監修)

GDA2011(二子玉川ライズタワー&レジデンス)・LEED NC(新築ビル部門)ゴールド認証取得(二子玉川ライズ・タワーオフィス)・LEED ND(まちづくり部門)ゴールド認証取得・
鉄道建築協会賞・生物多様性JHEP認証AAA(最高ランク)取得(2014年)・第25回地球環境大賞グランプリ・第2回先進的まちづくりシティコンペ国土交通大臣賞受賞



二子玉川ライズ タワー&レジデンス リボンストリートがオークモール(駅前)から二子玉川公園までを歩行者専用で結ぶ

デッキや遊歩道などで一体化され、利便性を高められた多様な商業、業務施設

自然と住む、季節と景色が彩る住環境 二子玉川ライズ タワー&レジデンス

二子玉川再開発の一翼を担う住宅街区は、二子玉川再開発において最も「自然」に近いゾーンとなっている。敷地北側の住宅地への影響を配慮するとともに、周辺の自然環境と調和する建物景観を目指したタワーデザインはアルミとガラスを採用して軽やかな景観になるよう設計。また建物をタワー状にまとめ分散配置したことで多摩川への眺望を確保、「都市から自然へ」移り変わる景色を楽しめるようになっている。さらに街の一体化、周辺の街との接続性、コミュニティ参加への仕掛け等、閉鎖空間とならない先進的な工夫を随所に取り入れることで、安全・安心で快適に住み続けられるためのサステナブルなデザインとなっている。



室内空間の一例

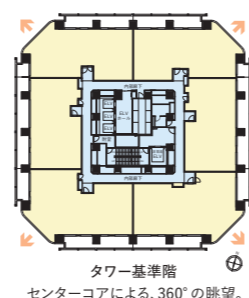
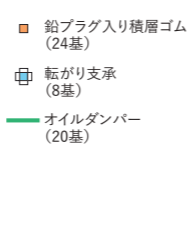
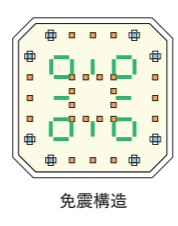
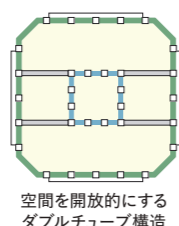
繋がる都市、多様なベネフィットを創造 商業施設・オフィス・ホテル

二子玉川駅を起点にリボンストリートで都市から自然へと至る旅路をイメージした「二子玉川ライズ」。その賑わいと活気を支える商業施設・オフィス・ホテルなどが街区に表情豊かに点在する。ショッピングセンターは「自分らしさが広がる場所〜My Style My Place」をコンセプトに、2011年の第1期事業でタウンフロント、リバーフロント、ステーションマーケットの3館が、2015年の第2期事業でテラスマーケットが開業した。さらに個性的な店や生活サポート機能を備えた4つの商業施設が加わり、駅ビルとオープンモールで構成する「都市と自然が調和」した心地よい買物環境となっている。

また、新しい都市創造の概念「クリエイティブ・シティ」に注目し、業種や世代を超えた多様なワーカーが集まって価値あるビジネスや豊かなコミュニティを創造できる次世代オフィスを設計。アクセスの良さや自然の豊かさに加え、オフィスワーカーの快適性、環境への配慮、防災時の備えなどに、きめ細やかな対策が施されている。II-a街区のオフィスの上層には世田谷区初のシティホテルである二子玉川エクセルホテル東急がオープン。放送スタジオと多目的ホールの機能を併せ持つTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズとともに新しい利用価値を求め人々が集う施設となっている。

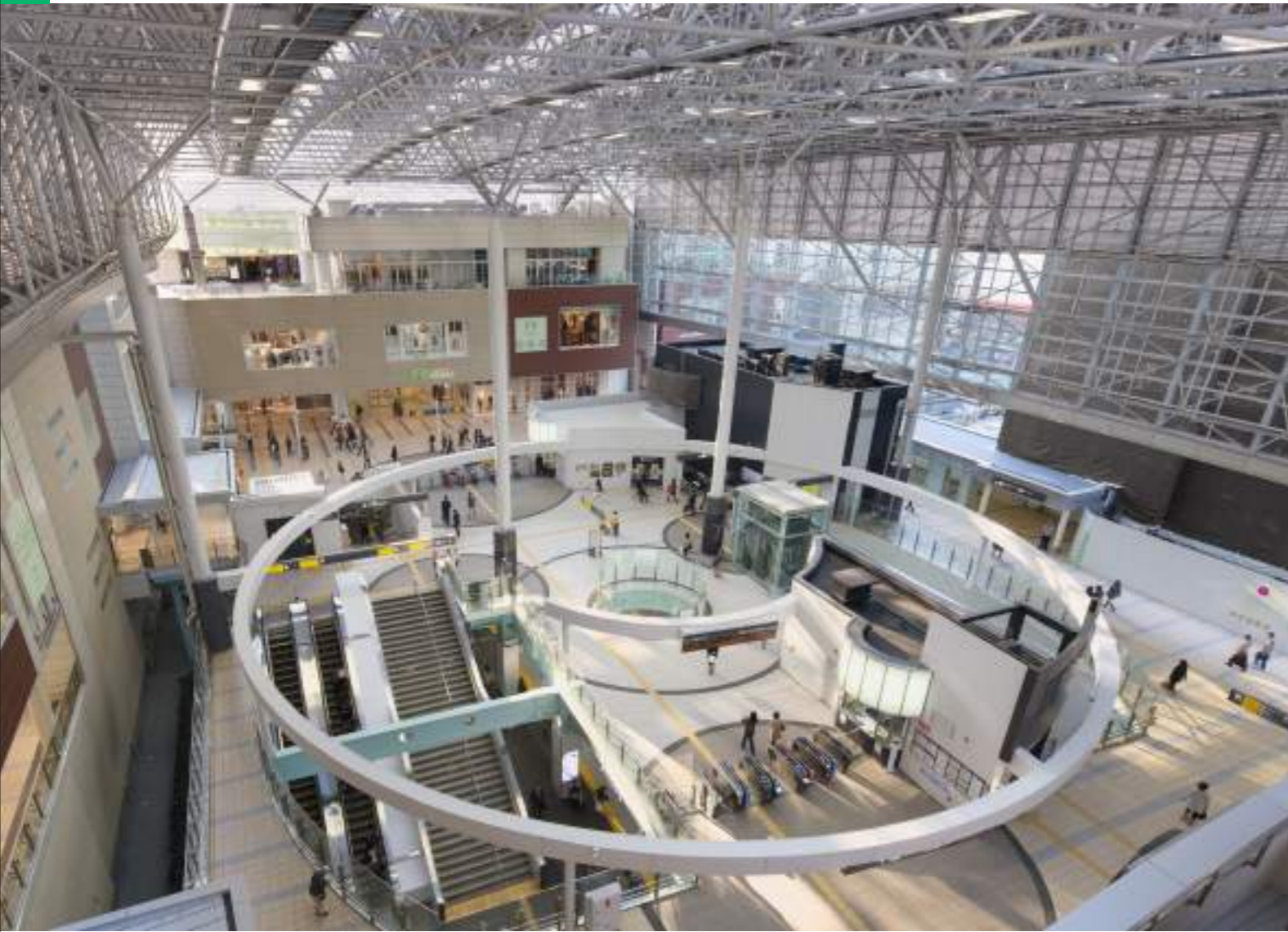
■住戸デザイン

スタイリッシュでありながらユーザービリティに優れた住戸デザイン。ダブルチューブ構造、免震構造の採用、センターコア、SIシステムの計画によりプランのフレキシビリティと設備更新性を確保しつつ360°の眺望を確保した。これにより住戸プランは子育て層からシニア・ミドルまで幅広いライフスタイルに対応した上質居住空間の提供を可能にした。



二子玉川駅改良工事

東急大井町線改良工事および田園都市線複々線化に伴う改良工事は、田園都市線と大井町線のホームを入れ替え、同一方向同一ホーム化を図った。大井町線と田園都市線の乗り線に両線間の渡り線(連絡線)を配置。あわせてホーム幅員、コンコース、改札口などの駅施設を拡張整備、1999年に竣工した。



上/たまプラーザ駅改札および同改札前広場から望む大屋根
下左/南口交通広場側から北側を見通す 下右/まちを南北につなぐ自由通路と北口「ステーションコート」

たまプラーザ駅周辺地区 駅をまちにひらく。緑豊かな田園都市のモデルケース

「プラーザ」にふさわしい地域拠点の創出 — たまプラーザテラス

本エリアは、東急電鉄(※1)が半世紀以上にわたって手がけてきた多摩田園都市まちづくりの中核に位置付けられる。その名に込められた「プラーザ(広場)」中心のまちづくりが行われてきた。自然に恵まれた豊かな環境(田園)と都市機能をあわせ持つ、郊外住宅地らしいゆとりのある良質なまちづくりが一貫して継承され、開放的な街並みや並木道、住む人々のライフスタイルそのものが街を形成していたといえる。「たまプラーザテラス」は、約3.8haの敷地を、ゆとりのある上質なまちづくりのDNAを継承し、「プラーザ」にふさわしい地域拠点とすることが求められた。かつての駅周辺は、南側は住居系用途地域のままであったため、北側に比べて開発が大きく進まず、逆に開発が進んでいる北側は、駐車場不足なども起因し道路が混雑する状況も見受けられた。長い時間をかけ地域住民とともに将来のまちづくりのあり方について協議を重ね、地区計画および用途地域の変更が実現した。線路によって分断され、地形上高低差があった南北間に約3.0haの人工的な地盤を構築し、街をひとつに繋げることを可能にした。人工地盤の下に2つの交通広場と地下駐車場を設け交

通結節機能を内包させ、人工地盤の上には駅を中心とした全方位の歩行者ネットワークを構築。街を繋ぎ人が集う広場、低層で分節化された街にしみ出すにぎわい商業施設(たまプラーザテラス)により都市機能整備が整い、街の成熟に寄与している。

次世代の「郊外らしい」まちづくり

1966年田園地帯に鉄道が開通し土地の造成が始まり、1974年頃には駅北側に団地が建ち並ぶ。同じく駅北側に1982年竣工の「たまプラーザ東急ショッピングセンター」が開業し郊外型商業施設として地域に溶け込んだ。東急田園都市線を代表する駅前であったが、駅南側は住居系用途地域に指定され、低利用や暫定利用の土地利用が続いていた。1986年、地元地権者と東急電鉄による「たまプラーザ地区計画推進連絡協議会」が発足し、将来のまちづくりのあり方についての検討が開始された。その後、横浜市との協議を経て2002年に用途地域の変更と地区計画(街づくり方針)が決定し、駅周辺地区のまちづくりがスタートした。その中核をなす「たまプラーザ テラス」は、「協議会」の発足から足掛け25年後の2010年開業。さらに2013年には、駅南側に「たまプラーザテラス リンクプラザ」「ドレッセ たま



プラーザテラス」が竣工。横浜市と東急電鉄による官民連携の取り組みである「次世代郊外まちづくり」の第1号モデル地区となったたまプラーザ地区で、人口減少社会・高齢社会の課題を迎える郊外住宅地とコミュニティの持続・再生を目指していく。

※1:現在の東急、東急電鉄

基盤整備

線路を挟んで南北の高低差を人工地盤で覆い、駅を取り囲むように低層商業施設を配置し広場やまちへの動線を計画。各街区に繋がる道路上空歩行者デッキ通路によって歩車分離を実現している。人工地盤下部に設けられた北側交通広場及び南側交通広場は、各方面への路線バス・タクシー・送迎の寄り付きなど、交通結節点としての機能を確保しつつ安全な利用を可能とした。都市機能を強化する地下化した駐車場や交通広場によって、周辺環境との調和がとれた地上部の低層建築群が新しい街並みを形成している。

たまプラーザ テラス ゲートプラザ

たまプラーザ駅
建築主：東急株式会社
竣工：2010年
延床面積：87,872.49㎡
構造：S造、一部RC造
階数：B2F～5F
J V 等：東急電鉄(駅設計・監理、土木構造)、大建設(駅構造設計・監理)、ラグアルダ・ロウ・棚町事務所(施設デザイン)、丹青社(商環境デザイン)

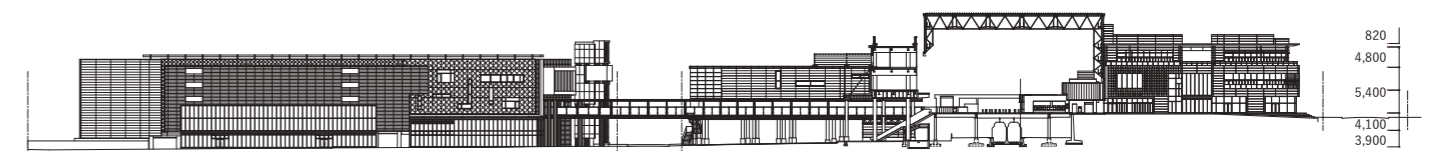
たまプラーザ テラス サウスプラザ

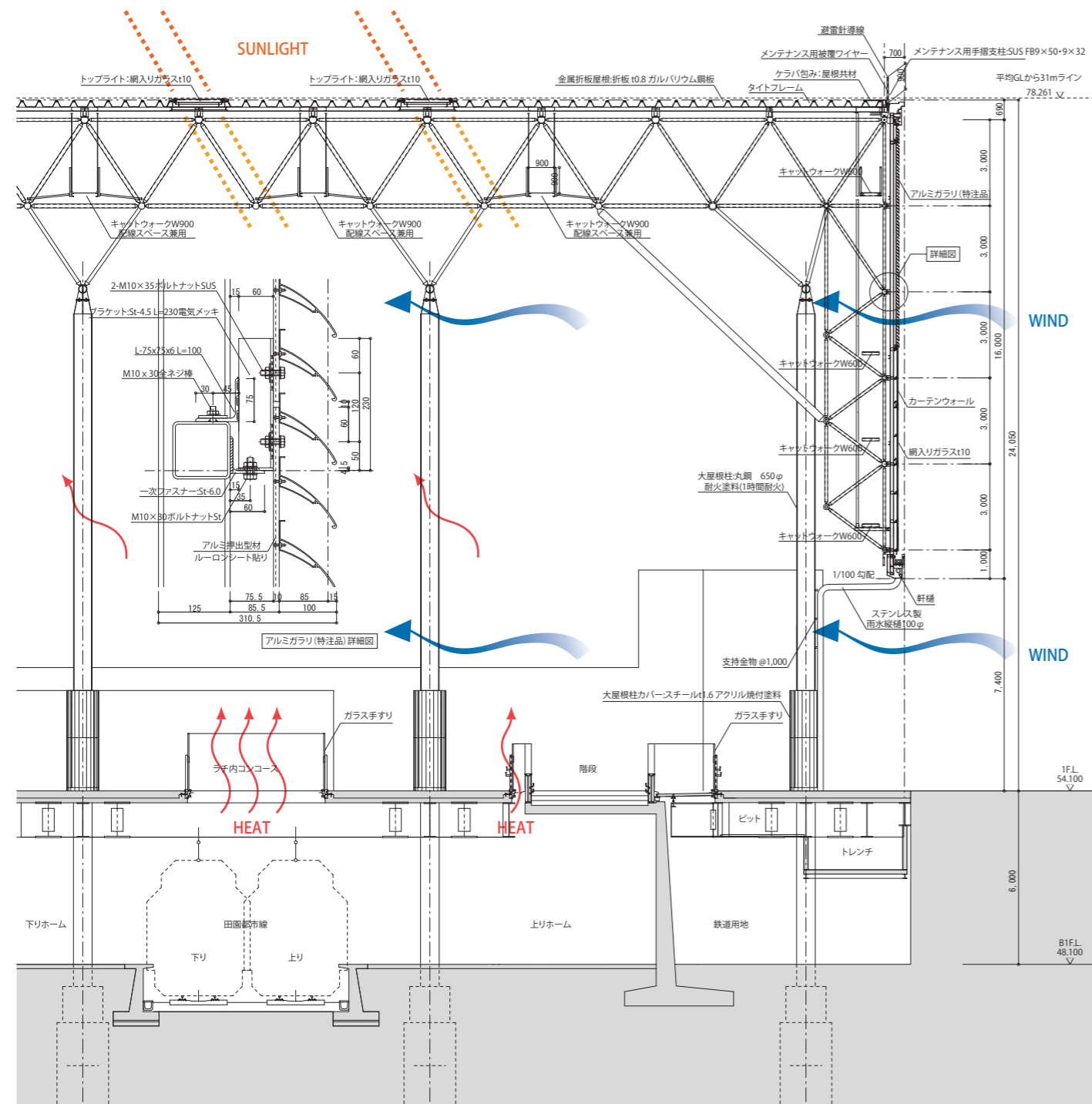
建築主：東急株式会社
竣工：2007年
延床面積：24,656.52㎡
構造：S造、一部RC造
階数：B1F～5F
J V 等：ラグアルダ・ロウ・棚町事務所(施設デザイン)

たまプラーザ テラス リンクプラザ

建築主：東急株式会社
竣工：2013年
延床面積：5,936.86㎡
構造：S造、一部RC造
階数：B1F～4F

第9回横浜 人まち デザイン賞(まちなみ景観部門)・鉄道建築協会賞





ゲートプラザ



ポケットコート



フェスティバルコート



サウスプラザ

駅を取り囲む個性的で魅力あふれる施設計画

駅を中心に高い回遊性を狙って配置された低層建築群は、個性的でありながら緑豊かな街並みに調和するデザイン。吹抜けを設けた開放的なコリドーや広場を中心とした様々な発見のある滞在性の高いライフスタイル・コミュニティ・センターとして計画。賑わい施設とともに、保育所や学童保育など子育て支援施設、地域情報発信のサテライトスタジオやコミュニティホール、地域ケアプラザやデイサービス、クリニックなど地域の人々が持つライフスタイルへのこだわりに応え、生活の質の向上に寄与する地域拠点となっている。



リンクプラザ

利用者に驚きを与える、自然光あふれる大屋根

たまプラーザの新しい顔ともいえる、ホームから約30m上空にかかる大屋根。車窓からも賑わいを感じられるようにコンコースをミニマム化し、大屋根と一体的な吹き抜けの明るく開放的な大空間を形成している。これにより通過する鉄道利用者に驚きをあたえ、ぐるり360°の見通しにより様々なスカイラインの低層商業建築群を一望でき、立ち寄る動機となる空間を目指した。同時にホーム階の閉塞感を緩和、夏季のホーム階の熱溜まりを解消。また大屋根トップライトと側面ルーバー兼ガラリの採用により昼光利用とタイマー・センサー制御した人工照明による照明負荷削減などの環境配慮を図るとともに、火災発生時の蓄煙・排煙機能などの防災機能も併せ持つ。街に存分に開かれた新しい駅となった。



立体トラス構造の大屋根



ドレッセたまプラーザテラス



東急美しが丘2丁目ビル



上／ホームとコンコースを覆う大屋根、その下の大階段は改札から街へと繋がる
下左／商業施設として国内初の炎が出る環境演出装置を導入したシアタープラザ 下右／高い回遊性と街全体をシームレスに繋ぐ歩行者ネットワーク

南町田グランベリーパーク (南町田拠点創出まちづくりプロジェクト)

次世代へと繋げる持続可能なまちづくり

南町田エリアは1970年代以降の鉄道敷設とともに市街地整備された都心通勤圏の郊外住宅地。2000年にアメリカ郊外のオープンモール型を採用した「グランベリーモール」、2006年に「シネマコンプレックス/オアシススクエア」を駅前に開業し、住宅地としてだけでなく、商業地としての高いポテンシャルが実証された。隣接して緑豊かな都市公園があり、暮らしやすく、住む人にも訪れる人にも更に魅力的なまちとして成長していくために、2015年「南町田駅周辺地区拠点整備基本方針」が策定。南町田グランベリーパーク(南町田拠点創出まちづくりプロジェクト)は、人口減少期においても選ばれるまちを目指す行政と、沿線のまちを活性化させ鉄道インフラを維持する鉄道事業者が同じ目的を持ち、それぞれが持つ資源を融合させ、連携・共同して取り組んだプロジェクトである。「賑わいと緑の融合」をテーマに掲げ、駅・大規模な都市公園・商業施設が隣合う立地特性を最大限に活かし、次世代へ繋ぐ持続可能なまちを目指した。

すべてが公園のようなまち



世界的に評価される再魅力化事業

本プロジェクトは、東急田園都市線「南町田グランベリーパーク駅」を含む約22haのエリアにおいて都市基盤・鉄道駅・商業施設・都市公園・都市型住宅機能などを一体的に開発し、多世代にとって魅力的な「新しい暮らしの拠点」として生まれ変わらせた。それは駅に降り立った瞬間から空と緑をふんだんに感じる「すべてが公園のようなまち」。全体がひとつの「パーク」であり、ここにいるだけで人々の心も身体も健康的でアクティブになれるパークライフの実現である。駅から賑わい空間を通り抜けて公園や境川まで、境目を感じることなく歩き回れるウォークアブルな環境を創出するため、過去の土地区画整理事業によって整備された道路・公園・宅地を大区画化・再配置し、機能の更新を図った。14の広場空間がシームレスに繋がりがいい、賑わいと緑が心地よく融合するオープンスペースを創出し、文化的活動拠点を新たに設けている。環境に配慮した豊かな空間は、多世代がいきいきと暮らし次世代へと繋ぐまちとして、2019年11月にまちびらきを迎えた。そのシームレスな構造やグリーンインフラを生かしたランドスケープデザインなどが評価され、国際的な環境認証制度LEED®

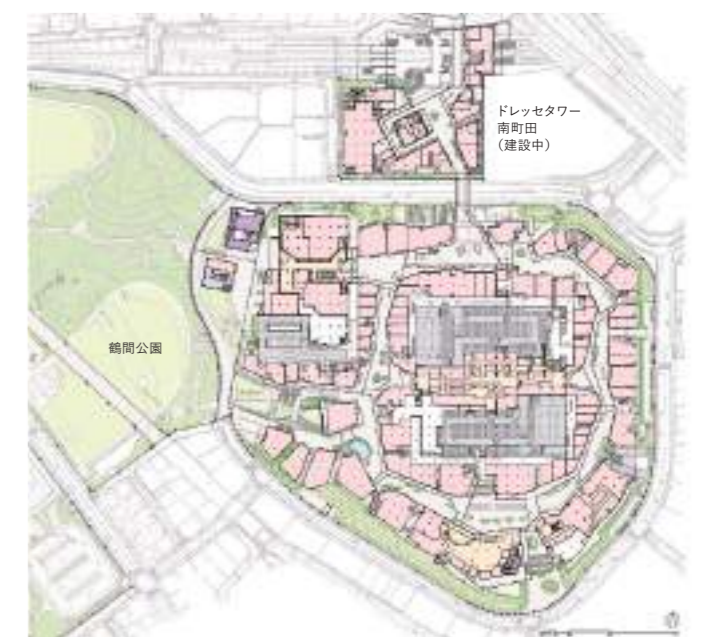
(Leadership in Energy and Environmental Design)「LEED NC (新築部門)」、「LEED ND(まちづくり部門)」のゴールド認証を取得。国内において、令和2年度都市景観大賞「都市空間部門」において大賞にあたる国土交通大臣賞、「第40回緑の都市賞」国土交通大臣賞、「第8回プラチナ大賞」新しい時代のまちづくり賞、第1回グリーンインフラ大賞「都市空間部門」優秀賞、「土木学会デザイン賞2021」優秀賞を受賞している。

グランベリーパーク

建築主：東急株式会社、株式会社東急レクリエーション
竣工：2019年
延床面積：150,747.39㎡
構造：S造、一部RC造
階数：B1F～5F
J V等：東急(総合監修)
LAGUARDA.LOW ARCHITECTS(施設デザイン)
丹青社(パビリオン施設デザイン・監理)
Fd-Landscape、ティーハウス建築設計事務所(ランドスケープデザイン)
いきものランドスケープ(植栽計画)
岡安泉照明設計事務所(照明デザイン)

南町田グランベリーパーク駅

建築主：東急株式会社
竣工：2019年
延床面積：1,483.70㎡
構造：S造
階数：2F
J V等：東急電鉄(設計・監理)
LAGUARDA.LOW ARCHITECTS(施設デザイン)



グランベリーパーク 1F 全体平面図

令和2年度都市景観大賞「都市空間部門」・第40回緑の都市賞・第8回プラチナ大賞「新しい時代のまちづくり賞」・第1回グリーンインフラ大賞「都市空間部門」・土木学会デザイン賞2021・LEED NC(新築部門)ゴールド認証取得・LEED ND(まちづくり部門)ゴールド認証取得



滝と緑エリアを大階段横に立体的に配置し「自然と賑わい」を演出

時間消費とエンターテイメントの要素を兼ね備えた新しい暮らしの拠点
グランベリーパーク

まちの中央に位置する「グランベリーパーク」は、空や緑との調和を図る低層の建物群、表情豊かな7つの広場、デッキ、階段、スロープを組み合わせ、歩き巡るたびに新しい発見や景観を発見する、ヴィレッジ型建築をコンセプトとし、まち並みのようにデザインした。大規模な駐車場は敷地の中央に、周囲の住宅地から一番遠い位置に配置した。道路レベルから地下車路を通して中央の駐車場へ繋げる計画としたことによって、完全な歩車分離を実現している。エンターテイメントの仕掛けが施されたオープンスペースと、多様な楽しみ方ができるパビリオン、芝生広場など、豊かな時間を過ごせる滞在型の施設として、いつ訪れても多くの人で賑わう空間となっている。



上/グランベリープラザ 左下/マーケットプラザ 右下/オアシスプラザ



ステーションコートB棟

新たなまちの玄関口
南町田グランベリーパーク駅

地域住民や来街者の起点となる駅は、「南町田駅」から「南町田グランベリーパーク駅」に改称し、新たなまちの玄関口として生まれ変わった。鉄道と商業施設と都市公園の一体事業という日本でも類を見ない持続可能なまちの象徴にふさわしい駅として、駅舎は安全性や利便性の向上を目的とした機能更新を行うとともに、大きく2つの役割を担っている。1つ目は線路で分断された駅の南北を結ぶこと。北口広場から駅の南側へバリアフリーで通り抜ける歩行者ネットワークを拡充、南北の積極的かつ安全な往来を可能にした。2つ目は駅に降り立った瞬間からまちの高揚感を感じられるようにすること。ダイナミックにまちへと繋がる大階段を配置し、開放的な大屋根から太陽と風を取り込んで、駅に公園のような自然と商業施設のような賑わいのある表情を作っている。



まち全体との調和を大切にされた外観

2024年3月竣工の新たな住拠点
ドレッセタワー南町田

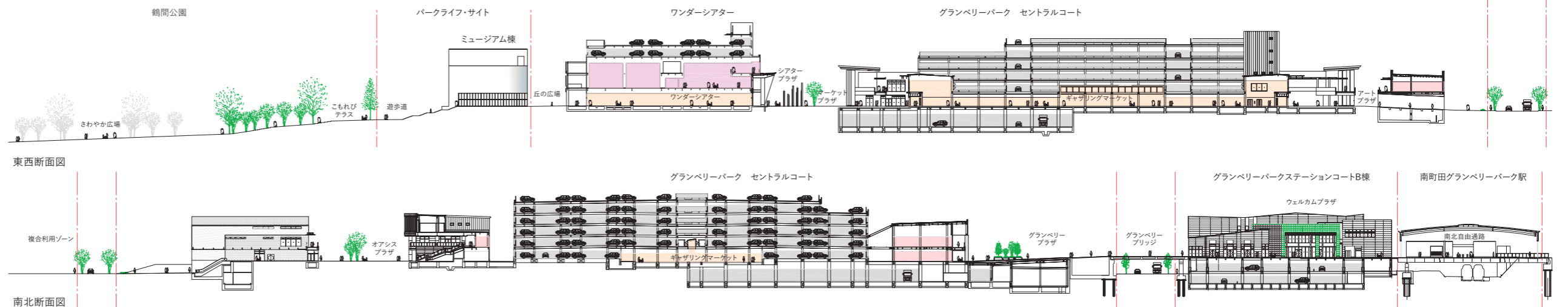
「公園のまちにシンボルツリーを」をコンセプトに、駅直結のレジデンスを計画。緑あふれる外構計画、大庇や中庭等、随所に屋上緑化を施す。建物低層部はまちとの調和を目指しアースカラーを選定。南向きメインの住戸計画と屋外廊下形態により、光と風を取り込む計画である。



モデルルーム

基盤計画

以前、整備された市街地を再魅力化するにあたり、このまちで展開される人々のアクティビティを再度見つめ直した。その結果、オープンスペースを基調としたウォーカブルなまちへと構造を大きく変えることとなった。人々の動線の起点となる駅は北側の交通広場と南側のエリアを繋ぐ自由通路整備に合わせ橋上化を図った。駅の南側では商業街区と公園を分断していた道路を再度の土地区画整理事業により再配置し大街区化を図り、一体となったまち全体に歩行者ネットワークを張り巡らせた。公園南側には調整池の容量を約9,000m³から約20,000m³に拡張し、周辺エリアに対する雨水浸水対策の強化を図っている。調整池は地下式とし、上部は公園のグラウンド等として複合利用している。





ROKU KYOTO, LXR Hotels & Resorts



「LXR ホテルズ&リゾーツ」はヒルトングループの最上級ブランドの中で最も新しく革新的なカテゴリーである。真の贅沢を知る最も感度の高い顧客のために、量産品では絶対に得られない唯一無二の体験を提供する事をブランドポリシーとしている。我々はその答えとして、日本建築の原風景に立ち返り自然環境との心地よい共生環境をこの地に取り戻す事にした。

本計画の敷地は本阿弥光悦が愛した鷹峯の麓である。京都の結界である御土居と山の狭間にひっそりと残された奇跡的な敷地の中央には一級河川紙屋川の清流が流れ、苔むした岩や豊かな植生には生命の循環が生み出す清浄で力強いエネルギーが満ちていた。この素晴らしい自然環境と真摯に向き合うための不規則で大らかな配棟は、各々の場所が変化に富む景色と最適な距離と角度で繋がる事を意図したものである。

中庭には山の延長として豊かな植生が敷地にせり出してきたような「鷹峯の森」、山や空を写しとる巨大な水盤「水鏡」、土地の温泉を利用した通年温浴施設「サマルプール」という3つの仕掛けを南北軸に配置。パブリックスペースの深い軒の外廊下を回遊する事で各所に近・中・遠景のレイヤが多様な景観を作る事を目指した。軒は自然と対立しない日本建築の神髄であり、リゾート建築にとっては五感

で自然を感じる舞台装置にもなる。丁寧に低く深く抑えた軒を軸に分散配置したパブリック棟は、ヒューマンスケールの空間に強く拘っている。多くの商業ホテルが到着時のインパクトを重視するあまり、ゲストをメガストラクチャーの大箱に放置しているのではないかと、という反省からスタートしている。アライバル棟は外部を利用する事で面積を抑え木造建築を採用した。また、壁内に隠蔽した鉄骨とのハイブリッド構造とする事で住宅スケールの柱・梁・垂木を表し1室空間としている。レストラン棟は無垢の鉄骨FB柱とトラス屋根を組み合わせる事で見附50ミリの列柱のみで大屋根を宙に浮かべた。構造を可能な限り細く繊細なものとするれば柱は建具と同列の存在となり、ぎりぎり風景と同化する。和風建築の型やモジュールを模倣するのではなく、技術を用いて自由な発想でエッセンスだけを抽出している。様式を極力排除し、アジア建築の源流のような空間を目指した本計画で、何故か和を感じるというコメントを多くいただいているのは設計者にとっての本懐である。こうした思いを受けとめたインテリアデザイナーの提案は「アーティストレジデンス」であった。一人一人が大切なゲストとして心のこもったおもてなしを受ける事で日本の芸術や文化を愛するアーティストの邸宅を訪れたような体験を目指している。和でも洋でもない

独自の世界観は、世界のリゾートを手がけるBLINK Designの真骨頂が遺憾なく発揮されている。コンセプト通り、光と風、静寂、生命の息吹を感じるアート&クラフトを随所に見ることができる。素材や技法は日本的なものをベースにしているが、若い日本人作家を積極的に起用した。継承と創造をテーマにアートワークを手掛けるSPACEMAGICMON Co.,の手によって作品一つ一つが風景や建築と調和するように丁寧に配置されている。

所在地：京都府京都市
 建築主：東急不動産株式会社
 竣工：2021年
 延床面積：12,378.02㎡
 構造：RC造、S造、木造
 階数：B1F~4F
 JV等：BLINK Design Group (インテリア)

GDA2022





ハイアット リージェンシー 瀬良垣アイランド 沖縄



沖縄本島中部、恩納村西海岸エリアは国内有数のリゾート地としてホテルや観光名所が点在するエリアで、万座毛の東にある瀬良垣島とその対岸の一部が本計画地である。

瀬良垣島は国道58号線から海を渡った先にある、島全体がホテル敷地となる四方を海に囲まれた圧倒的なリゾートを体感できる立地環境となっている。

瀬良垣島側にパリエーション豊かな客室とロビーラウンジ、レストラン・バー、スパ、フィットネス、バンケット、チャペルなどから成る「ザ・アイランド」、本島側にグループや長期滞在者向けの客室から成る「ザ・ビーチハウス」、ゲスト用の「駐車場」の3棟構成となる。

瀬良垣島は4つの海（外洋への開放的な海、サンセットを望む海、ローカリティのある海、ビーチ・山の稜線を一望する海）に囲まれており、オールオーシャンビューという特徴を最大限に活かすため「ザ・アイランド」を中心に置き、3～7階は眺望を満喫出来るよう全方向に客室を配置し、1～2階は外洋を望む配置とした。

緩やかに曲線を描く橋のアプローチを進むと、意識的に点在させた赤瓦屋根がうつろい、姿を変えながら出迎え、ゲストを非日常であるビーチリゾートへ誘う演出としている。

沖縄特有の強い日差しと、豊かな自然を活かすため「木洩れ陽」を

意識し、素材やディテールにより効果的な凹凸を設け立体感を大切に。ファサードのグリッドの幅を変えることによって、軒の深い格子が、陰影を敢えて印象的にする事によって、太陽の日差しを感じられるファサードデザインとした。

景観への配慮から、赤瓦による勾配屋根、外壁は琉球石灰岩と白色系左官材とし、色調やバランス、テクスチャーを厳選し、既存の緑や海との調和を意識した沖縄らしい外観とした。

「ザ・アイランド」の1～2階は、国定公園内の公園事業として宿泊者以外も利用できるパブリックエリアとしている。

特に2階テラスは、“この豊かな自然とサンセットが最大の財産”と考え、2階から海へのシークエンスである水盤、プール、そしてその先の海に太陽が沈むシーンを最も美しく眺められる特等席として設定した。バーを併設したスペシャルティレストランからは、サンセットを眺めながらの極上のひと時を過ごす計画とした。グスクの美しさを象徴する直線と曲線を繰り返すことでより印象的なシーンを演出し、そのシークエンスによってランドスケープと建築が一体となる事で、ホテルが周辺環境に調和した印象を強く与える象徴的な場所とした。

3～7階の客室階は、ビーチリゾートでの快適性をさらに追求したモダンな雰囲気の内装計画とした。

「ザ・ビーチハウス」はロビーラウンジと客室で構成される3階建の低層建物で、「ザ・アイランド」との調和に努めながら沖縄らしい花ブロックのファサードとし、ロビーラウンジは前面ビーチへの眺望を意識した居心地の良い空間、客室はレジデンシャルな雰囲気と長期滞在に適した設備を備えた客室にするともに、全室がサンセットを望める計画とした。

サンセット、海、太陽の輝き、植物など多くの自然を活かし、それぞれの時間、季節によって見え方が違う。自然を徹底的に取り入れる事で、訪れるたびに新たな表情を見せるリゾートとした。

所在地：沖縄県国頭郡恩納村
 建築主：瀬良垣リゾート特定目的会社
 竣工：2018年
 延床面積：31,633.00㎡
 構造：RC造
 階数：7F
 JV等：橋本夕紀夫デザインスタジオ（インテリア）
 竹中工務店（構造、設備）





東急ハーヴェストクラブ軽井沢&VIALA



東急不動産の会員制リゾートホテル『東急ハーヴェストクラブ』の25施設目となる「東急ハーヴェストクラブ軽井沢&VIALA」は、創業30周年の節目、2018年7月20日に開業。有馬、熱海、京都に続き、同一施設内で2つの会員権(クラブ)がある『&VIALA』シリーズ第4弾となる。客室は、ご夫婦から三世代まで様々なご利用に合わせたバリエーション豊かな「ハーヴェスト」(略称「HV」)と、客室での寛ぎにこだわり全室バイブラス付きの「VIALA」がある。

設計趣旨として、東急不動産のリゾート事業の基本理念「自然と人間の共存と調和」を軸に、土地の原風景の記憶を魅力とし、風景と調和した寛ぎを大切にしている。敷地は雄大な浅間山を望む約5haの広大な土地。1968年には塩沢湖畔周辺に70面ものテニスコートを誇る民宿村として賑わった。敷地に隣接する『軽井沢タリアセン』(※)との連携で、アクティビティ豊かな環境を活かした塩沢エリア一帯の環境デザインが求められた。

「空と大地の広がり」をコンセプトに敷地内に大きく趣の異なる2つの中庭を配置した。晴れた日には浅間山の雄大な姿を望む開放的な明るい庭「グリーンフィールド」、もう一方はひっそりとした軽井沢のイメージを踏襲した樹木豊かな庭「ガーデン」を設けた。7月頃になると水際に幻想的な蜃が見えることも。

軽井沢ならではの条例や建築規制がある為、アプローチ、ラウンジ、レストラン、大浴場、プール、様々なタイプの客室をすべて低層棟で構成する必要があった。浅間山と対峙するダイナミックなラウンジ&レストランを核とし、そこからHV客室棟とVIALA客室棟に分かれる配棟とした。HV棟は効率の良い中廊下型で構成する必要があった為、眺望確保が難しい客室もあり、ネガティブ要素をポジティブに変える工夫が必要とされた。“窓辺の寛ぎ”をコンセプトに、キッズ含むファミリー向けの商品として他ハーヴェストにはないユニークなタイプが実現した。竣工前の現場巡回時に立ち寄った際、ちょうど斜陽が差し込む時間帯であった。部屋のサッシュの格子と近景の植栽との調和、部屋に美しく伸びた影は想定外の産物であった。密かに推し部屋へ昇華した時であった。

VIALA棟は片廊下で構成、樹木や光を感じる廊下とし自然感を大事にした。客室は“コンサバトリー(温室)”、“パティオ”、“トップライト”を通じて、四季や自然と緩やかに繋がるような構成としている。設計の中で特に難易度が高かったのが和食レストランの屋根とインテリアデザインとの連携であった。内部空間の居心地を決める勾配天井が屋根形状を決める為であった。厳しい高さ規制の中で、浅間山の稜線に調和するような屋根形状にする為、模型を使ったディス

カッションが重ねられ、四季を通じて浅間山とマッチする屋根色が吟味された。全体を通して、浅間山へのオマージュとして火山岩や荒く経年変化したような木色を用い、四季を通じて風景と見事に調和した心地良いデザインとなった。

※『軽井沢タリアセン』:豊かな緑に包まれた塩沢湖を中心に「自然・芸術・文学」と「遊ぶ」が融合したレジャー施設。宿泊者はホテルで交付する専用入園チケットで『軽井沢タリアセン』に入園できる。

所在地:長野県北佐久郡軽井沢町
 建築主:東急不動産株式会社
 竣工:2018年
 延床面積:22,817.76㎡
 構造:RC造、S造
 階数:B2F~2F
 J V等:ADA(インテリア)

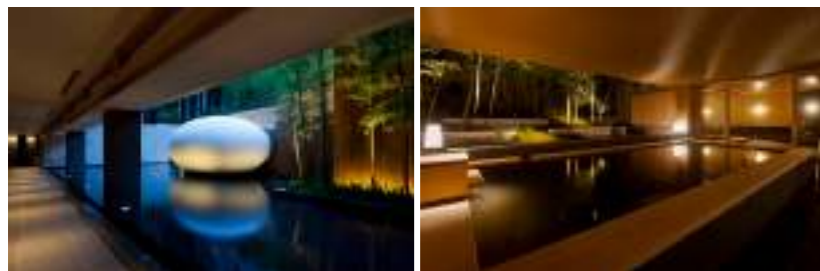




東急ハーヴェストクラブ 京都鷹峯&VIALA

敷地は平安京の境界である土塁、その北西の角に位置し現在の京都中心地の喧騒から一線を画す自然豊かな景観に恵まれ、花札の坊主山と言われる鷹峯を正面に臨む好立地である。2棟の建物は20mの高低差がありスロープカーで結ばれ客室へ向かう特別感の演出に一役買っている。京都では珍しく敷地内に源泉井戸があり、橋本夕紀夫デザインによる水盤に浮かぶ月をイメージした、巨大な卵がある大浴場も充実した構成になっている。歴史ある既存のしょうざんリゾートに新たな当該開発が加わり、総合リゾートとして共存共栄を目指す。

延床面積：18,352.83㎡
構造：RC造
階数：B1F~4F
J V等：ADA、橋本夕紀夫デザインスタジオ(インテリア)



東急ハーヴェストクラブ 熱海伊豆山&VIALA

東急不動産が展開する会員制ホテル「東急ハーヴェストクラブ」事業の25周年を記念する施設。「会員制」としての定宿の安心感と「リゾート」としての非日常の演出に重点をおき、良質で魅力ある空間の創出を図った。緑豊かな伊豆山や相模湾と伊豆半島を臨む高低差約45mの急峻な傾斜地、元の老舗旅館が生み出した既存樹木群がもたらす歴史を含めたコンテクストをもとに全体計画を行った。主に4棟で構成、全客室オーシャンビューでありながら、各棟ごとに異なるシーンを提供し、シークエンスを楽しめるリピートを促す施設構成となっている。現在も最大の稼働率を維持する基幹ホテル。

延床面積：32,990.67㎡
構造：RC造
階数：9F
J V等：ADA(インテリア)
ランドスケープデザイン、イリス・アソシエーツ(照明)

第21回タカショー庭空間施工例コンテスト銀賞



ホテルヴィアイン梅田

繁華街に対し適度な距離感を意識したファサード。最上階レストランから大阪の街並が一望可能。

延床面積：4,898.37㎡/構造：S造/階数：12F/
JV等：三井デザインテック



大磯プリンスホテル(温浴施設)

プリンスホテル再生計画の旗艦店。相模湾に溶け込むインフィニティプールや複数のサウナが人気。

延床面積：3,951.40㎡/構造：RC造/階数：4F/
JV等：GENERAL DESIGN CO.,LTD.
「クリスタルアワード2021」TOP10SPA・AICA施工例コンテスト2017



東急ステイ飛騨高山 結の湯

「旅人と飛騨高山がつながるホテル」観光型の新・東急ステイ。高山駅前に華やぎを添えた。

延床面積：9,394.00㎡/構造：S造/階数：9F/
JV等：大和ハウス工業
高山市令和2年度景観デザイン賞・日本空間デザイン賞2020BEST100



ホテルグレイスリ大阪なんば

雑多な印象の街並みの中で、大屋根「BIG CANOPY」を用い象徴的な外観を目指した。

延床面積：5,298.03㎡/構造：S造/階数：12F/
JV等：エイジ



ホテルヴィスキオ京都 by GRANVIA

京都駅八条口前の宿泊特化型ホテル。隣接ヴィアインと同時開発を行い、計900室以上を提供。

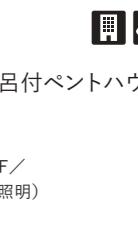
延床面積：17,347.79㎡/構造：S造/階数：9F/
JV等：イリア



綾AYA NISEKO

綾織を纏った現代日本のデザイン。天然温泉露天風呂付pentハウスなど豊富な商品構成を開発。

延床面積：12,037.10㎡/構造：RC造、一部S造/階数：B1F~6F/
JV等：アーキテツ石黒浩一郎(設計JV)、トモデザイン・メグロ(照明)
日本照明学会照明普及賞





©Nacasa_Partners Inc.



The Hotel Seiryu Kyoto Kiyomizu

「記憶を刻み、未来へつなぐ」をコンセプトに、昭和8年(1933年)に番組小学校として建築された元清水小学校の歴史的な建物をラグジュアリーホテルにコンバージョンした計画。既存校舎の意匠や構造を活かし、付属施設を追加の上、ホテルとして内装や設備を整備し、この立地ならではの眺望を活かした客室・共用施設を計画した。現行法規ではホテルとして利用できない既存校舎を、「国宝・重要文化財等」に相当する京都市歴史的建築物として登録し、建築物の安全性等の維持向上を図ることにより、建築基準法の適用を除外した。当該手法の木造以外の大規模な建築物で初めての適用事例となった。

延床面積：6,823.96㎡
 構造：既存棟RC造、新築棟S造
 階数：4F
 J V等：乃村工務社A.N.D.、大林組(実施設計・監理)

2021-2022日本建築学会作品選集・
 第31回BELCA賞(ベストリフォーム部門)・
 GDA2021・第30回ディスプレイ産業賞



ホテル オリオン モトブリゾート&スパ

沖縄美ら海水族館、エメラルドビーチを擁する海洋博公園に面する立地に、沖縄地場企業のオリオンビールが開発した初のリゾートホテル。建築・インテリア・ランドスケープ・ライティング・土木に渡る7社での設計協業のもと、沖縄北部地域の新たな観光拠点となるリゾートを創出した。沖縄の防風林である「ハッピーツリー」と呼ばれる福木(フクギ)をホテルのメインコンセプトとし、ロゴマーク・インテリア・外構・照明計画へと展開し全体を統一している。イノーと呼ばれる浅瀬のサンゴ礁と波が折り重なる風景の元、スローライフを満喫できる、全室オーシャンフロントのタイムレスな施設。

延床面積：34,439.40㎡
 構造：S造、RC造、SRC造
 階数：13F
 J V等：国建、日建設計、AMS設計(設計JV)
 日建スペースデザイン(インテリア)
 内原智史デザイン事務所(照明)
 ランドスケープデザイン

北米照明学会賞・国土交通省環境賞



京急EXイン京急蒲田駅前

京急蒲田駅から徒歩圏内、幹線道路と鉄道高架に面し、京急線2段式の高架が敷地を並走する立地の宿泊特化型ビジネスホテル。上層部には将来ホテル対応可能な賃貸共同住宅を併設した構成。蒲田エリアのホテルには少ない大浴場を付帯し、客室水廻りを工夫することによってできる限り広く客室空間を確保した。電車を眺める楽しみを付加価値とし、「ものづくりのまち」蒲田をコンセプトとしたディテールにもこだわったデザインを目指した。建物の低層部には、蒲田のまちが育んできたものづくりの細やかな技術をイメージし、ヒューマンスケールなデザインとすることにより街を歩く人々に温かみを提供する。

延床面積：5,508.21㎡
 構造：S造、一部RC造
 階数：B1F~14F
 J V等：アルグレイン(インテリア基本仕様の確認監修)



レフ松山市駅(伊予鉄西ビル)

鉄道会社の観光戦略における駅前の活性化と賑わい創出を目的としたホテル事業で、ターミナル駅ビルを増築してホテルを誘致するプロジェクト。松山城のお堀から延びる駅前通りには路面電車が行き交い、通りの突き当りに位置する松山市駅は松山市の交通の要所であるターミナル駅である。地域のランドスケープとなる外観は白を基調とした清潔感のあるタイルにレールをモチーフとした2本のマリオンを設けて鉄道会社としてのアイデンティティをデザインした。客室には事業主とホテル運営者が共同で企画した鉄道のコンセプトルームもあり、宿泊して楽しめるホテルになっている。

延床面積：7,902.27㎡
 構造：S造
 階数：13F
 J V等：MIKI設計(設計JV)、UDS(ホテル内装)





みなとみらいミッドスクウェア ザ・タワーレジデンス



横浜みなとみらい21地区に建設された650戸の分譲集合住宅と店舗及び事務所からなる複合施設である。正三角形の平面形状の構成により、住宅における日照を最大限確保しながら海への眺望、周辺建築物との正対関係を回避しプライバシーの確保を両立した。タワー部を、外廊下型盤上形式を3辺組み合わせた筒形構成としたことにより、ポイド内部に良好な光と空気環境を確保している。建物外形をR形状とすることにより視覚的圧迫感の低減、周辺の風環境に配慮した計画とした。



所在地：神奈川県横浜市西区
 建築主：オリックス不動産株式会社
 株式会社ランド
 三井物産株式会社
 東急不動産株式会社
 竣工：2007年
 延床面積：82,092.00㎡
 構造：RC造
 階数：B1F～31F
 J V 等：三井建設(設計JV)

MM21～41街区プロジェクトの一つ・免震構造



撮影：三輪晃久写真研究所

二子玉川ライズ タワー&レジデンス



二子玉川は、多摩川や国分寺崖線などの豊かな自然環境に恵まれ、また古くは遊園地があったことなどから、東京のリゾート地として発展してきた。その後、玉川高島屋SCの開店などによる商業的な発展を遂げ、上質な街のイメージが定着している。開発区域は、東京の西の玄関口として東急田園都市線と大井町線が接続する二子玉川駅を含む駅東側を中心とした約8.1haである。開発にあたっては、この土地が元来有する自然資産、都心との距離感を活かしながら、既にこの土地が育んできた良好な住環境、また商業集積をさらに発展させ、すべての人が安全で安心して生活できるまちづくりを目指した。市街地再開発事業において最初に施工された建築群がこの「ライズタワー&レジデンス」である。総戸数1,033戸の集合住宅は「安全で安心して住み続けられる街」をコンセプトとし計画された。駅から繋がる「リボンストリート」を軸に、住宅棟と店舗棟を緑豊かな人工地盤上に分散配置している。駐車場は人工地盤下に設け、歩行者安全、景観に配慮した。多摩川を望む都心にはない都市と自然が調和した風景の中でタワーデザインにはモダンなアルミとガラスを採用。軽やかな景観となるよう計画した。構造安全性確保に向け耐震等級2(タワー棟は免震構造)および耐風等級2を取得。住戸スケルトンインフィル分離による様々な住戸プラン

への対応、設備の維持管理更新にも配慮。外構計画では積極的な既存樹の移植、緑被率30%の達成、散水の雨水再利用を採用。また省エネ対策としてエコジョーズ、全熱交換型換気扇、太陽光エネルギー利用の照明等を取り入れるなどサステナブルな設計とした。デザインについては、「身体・人間」の視点より「安心、安全、快適に住み続けられる街」をテーマとし、タワー免震構造の採用、歩車分離により駅から繋がる歩行者動線「リボンストリート」の設置、スロープとエレベーターによるバリアフリーアプローチ。多くの既存樹移植をはじめとした緑地保全による大規模な公開空地、水と緑による良好な外部環境を整備。また都心のタワーでは感じられない抜け感のある都市と自然の双方の壮大な眺望を実現した。「生活」の視点より子育て層からシニア、ミドルまで、幅広い層に上質な居住空間とコミュニケーションの場を提供。リボンストリートの整備により快適な都市施設の利用と同時に多摩川、国分寺崖線などの豊かな自然の享受を可能にした。再開発地域内の商業施設と住宅棟をつなぐ情報システムとして、MIL-Cシステムを整備している。街中サイネージの情報・コンテンツを居住者にも共有し、街と一体化した、生活、情報環境を提供した。タワーの外装デザインとして、従来手摺や樋、隔て板などの雑多な要素が多いマンションのバルコニー部分を、シャープでモ

ダンなアルミとガラスのトレサリーによる外装システムを構成し、繊細で上品かつ軽快な表情となるデザインとした。建設サイクル工程での高品質化とデザインの統合を図った。二子玉川ライズタワー&レジデンスは、都心では得ることのできない豊かな自然環境と都市的利便性の双方を楽しむことができる。大人から子供まで、安心、安全、快適に住み続けられることをテーマに、持続的に発展していこの住宅街区が、ここに住まう人々だけでなく、地域周辺の人々、そしてこの街を訪れるすべてに人々に愛され続ける街であり建築を目指している。

所在地：東京都世田谷区
 建築主：二子玉川東地区市街地再開発組合
 竣工：2011年
 延床面積：133,353.00㎡
 構造：RC造、一部S造
 階数：B1F~42F
 JV等：アール・アイ・エー、日本設計(設計JV)
 コンラン&パートナーズ(デザイン監修)

GDA2011・免震構造





ドレッセWISEたまプレーザ



横浜市と東京急行電鉄(現東急(株))を中心に、産・学・公・民が連携し、郊外住宅地の持続発展にむけて取り組む「次世代郊外まちづくり」を具現化する第1号プロジェクト。

「次世代郊外まちづくり」は、東急田園都市線沿線の住宅地が抱えている様々な課題(高齢化、若い世代の減少、住宅やインフラの老朽化、コミュニティの希薄化等)に対して、地域住民・行政・大学・民間事業者の連携、協働によって解決していく従来にない住民参加型、課題解決型プロジェクトである。

横浜市と東急(株)により、2012年「次世代郊外まちづくり」の協定締結から、モデル地区の選定、民間の意見を引き出す様々な取り組みを行い、2013年「次世代郊外まちづくり基本構想2013」の策定から、成熟した街における地域との共生、人々の新しいアクティビティの創出「コミュニティ・リビング」の具現化が行われた。

本計画は、地区計画の制定から基本計画、基本設計、実施設計、監理業務まで行い、一団地認定、開発行為等、当社の開発・建築・土木が一体となり作り上げた計画となる。

新たに制定された、「たまプレーザ駅北地区地区計画」は、公共施設と地域利便施設、エリアマネジメントの組み合わせにより容積と高さの緩和を受けた。結果、高層部に総戸数278戸の先進仕様を備えた

住宅と、低層階に多世代交流・子育て支援・地域の働く場の3つをテーマとした約2000㎡の「地域利便施設」を配置した一体開発となった。

当社は、この街を『空の街』と位置づけ、家族がそして家族同士が緩やかに繋がり、生活を彩る様々なシーンの中で、空を感じ、どこまでも続く空のようにここに暮らす人々とともに未来へ繋がる街を目指した。

共同住宅はセキュリティの観点から、街に閉ざされてしまう傾向がある。そこで閉ざすセキュリティではなく、逆に開く発想が叶える豊かさの視点により、街の新たな賑わいと集いの場を担う「コミュニティ・リビング」を実現する。結果、人の目がセキュリティとなる新しい複合共同住宅を実現した。

街から広場、地域利便施設や共同住宅共用部までを有機的に繋げ、連携効果を発揮する配置とし、賑わい創出を目指している。

3棟に分節した建物は各棟に高低差を設けることでスカイラインに緩やかな変化を設けた。ファサードはアースカラーを基調とし、下階は凹凸あるコンクリート手摺が陰影を付けるとともに外部との見合いに考慮している。上層階に向かってガラス手摺を多く採用することで空が映り込み、時間が外観を変化させ、空との繋がりを意識できる。

敷地、東側ユリノキ通りの緑の並木に対し緩やかに存在を織り込むことで、潤い豊かな景観の連なりを重ねた。西側歩行者専用道路は、リズムカルに配棟された棟間に緑地空間を設け、街に緑ある佇まいを創出する。

敷地内はもちろん、共同住宅内も、エントランスから建物内へ歩みを進めると、上質に彩られた空間が迎える。時にライブラリーラウンジで読書に耽り、ガーデンラウンジでは絵画のように仕立てられた中庭を背景にゆったりとした時間を過ごす。懐かしい友人の来訪をもてなすゲストルームやキッチン・キッズスペースを併設したパーティールーム、屋上テラスや菜園など、多彩な空間を選び、暮らせる住宅となっている。

所在地：神奈川県横浜市青葉区
 建築主：東急株式会社
 三菱商事株式会社
 三菱地所レジデンス株式会社
 大林新星和不動産株式会社

竣工：2018年
 延床面積：28,860.68㎡
 構造：RC造、一部S造
 階数：B1F~10F
 JV等：三菱地所設計(設計JV)

地区計画・一団地認定・開発行為





東急ドエルイディオスあざみ野



あざみ野駅より徒歩10分の丘陵地に広がる低層集合住宅群。外周道路と擁壁に囲われた高台に建つ独特の立地から、周辺のデザインコードに捉われない新しい建築環境を造ると共に、石材、レンガタイル、金属及び木質系素材を用いて経年による味わいを増す「時を紡ぐ」施設づくりを目指した。唯一、敷地にすり合う東面に、二つのアーチと列柱の立つ噴水池を正面に置き、歓迎の広場を設けて街区の顔を演出。敷地内に点在するオープンスペースのネットワーク形成のため、中央広場を中心に環状の団地内通路や散策路、放射状に延びる露地を配置。また外周サブエントランスから塔状の専用エレベーターを介し、団地内通路の上空を渡るペDESTリアンデッキや、地下の吹き抜けを跨ぐブリッジなど、合理的な動線の確保と緑豊かな変化のある景観を創出した。渦を巻くように配置された住棟は雁行し、屋上に設置した塔屋やパーゴラがスカイラインを特徴付け、棟内に設けた吹抜けが住まいの独立性を高めると共に採光と通風を確保。またゆとりある階高を活かしてスケルトン・インフィル住宅を採用し、高さ40cmの二重床や設備ポイドを設けることにより、長きにわたり快適に住み続け、将来の改変にも対応できる住環境を実現した。

延床面積：35,581.25㎡
 構造：RC造
 階数：B1F～3F
 J V 等：エス・イー・エヌ環境計画室(ランドスケープデザイン)
 一団地認定



ディアナコート成城翠邸



成城学園駅から徒歩5分の、緑豊かで穏やかな傾斜地に建つ55戸の低層集合住宅。敷地中央にある樹齢60年・高さ30mの「ゆりの木」をはじめとした多くの既存樹木を保存・共有し「日常生活の中で四季を体感できる空間作り」をテーマとした。成城の街が守ってきた翠(みどり)の環境を引継ぎ由緒ある街並みの歳月の記憶を未来へと継承した。配置計画は、「ゆりの木」をシンボルとする中庭を住戸で囲いガラスの回廊を敷設し、四季に移りゆく「ゆりの木」を感じられる囲い型配置とした。ユニットプランは、バルコニーを東西南北4面に設け、多面採光やメゾネットなど、多彩な住生活に対応した邸宅を実現した。

延床面積：7,338.96㎡
 構造：RC造
 階数：B1F～3F
 J V 等：K/Oデザインスタジオ、押野見邦英
 GDA2008



ドレッセ世田谷桜レジデンス



水景・ゆとり配棟・緑の連続・微風の要素が重なり合う世田谷桜の自然環境を敷地内部に連続させ、緑豊かな住環境の形成を図り、この場所に暮らすことの価値を高められる全体像を描いた。

延床面積：13,866.13㎡
 構造：RC造
 階数：9F
 GDA2014





ジオ桂シェノン

計画地は京都市南西部桂川近くに位置する。いにしえには洛中の喧騒から逃れ貴族が別荘を設けた、桂離宮は皆の知るところである。

計画地の周辺特性を理解し、美しい山並みを享受できる北向きに住戸を配置する住棟計画とした。前庭・路地、中庭へと空間と建物の関係性を効果的に計画し、また中庭には回廊を巡らせることにより重層な展開を表現した。前面道路からの引きの空間を確保することで、京町屋の奥行きのある構えが、重みと落ち着きある玄関の設えを演出。ファサードは素材の本質を活かした簡潔な組み合わせとし、素材自身が本来持ち合わせる資質を引き出す手法とした。

延床面積：1,665.74㎡
 構造：RC造
 階数：3F
 J V 等：フジタ(実施設計・監理)



ジオ京都御所北

高さや景観規制がある中、逆梁により広がり眺望を確保。外観は寺院の積層する庇を取り入れ街並みと調和させた。

延床面積：1,934.41㎡
 構造：RC造
 階数：5F
 J V 等：日建ハウジング(監修)、かねわ工務店(構造)

GDA2022



プラウド芦屋平田町

芦屋川沿いの松の並木、現地に残る玉石積みや樹木を残し、木々の間から建物が垣間見える威風たる邸宅として計画。

延床面積：3,265.38㎡
 構造：RC造
 階数：3F
 J V 等：野村建設工業(構造・設備)



プランズ桜ノ宮

総合設計にて容積割増しを行った。公開空地は波紋を意識したデザインで都心でも憩える空間を確保した。

延床面積：5,714.36㎡/構造：RC造/階数：15F



プラウド六甲篠原北町

六甲山麓の傾斜地に「阪神間モダニズム」の文化を継承、まちなみに調和した上質感あるレジデンスを計画。

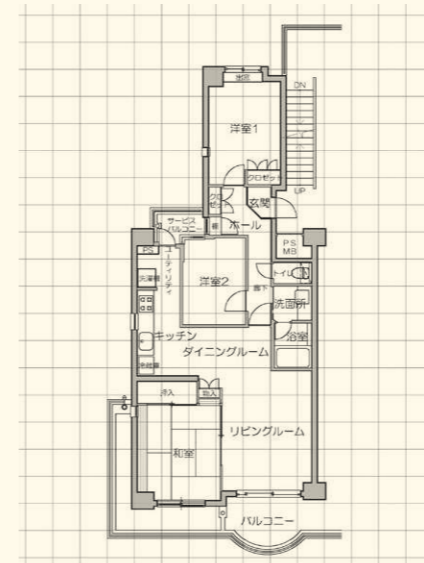
延床面積：4,448.85㎡/構造：RC造/階数：3F/JV等：野村建設工業(構造・設備)



温故知新 ～時代を画すプランに“まねぶ”こと、そして新しい時代に～

住宅の住みやすさの指標として“外壁周長が長い方が採光換気に優れ、総じて住み心地が良い”とする考え方があり、そのことを前提に住戸プランそのものが共用部の豊かさ以上に“商品としての訴求力”を持つ生活のデザイン提案に溢れていた時代がありました。いつの間にか法律や経済原理に押し流されて、往時のようなプランはめったに実現できなくなりました。今まさにバリアフリーはもちろんのこと、ZEH(環境共生)・SI(長寿命)・

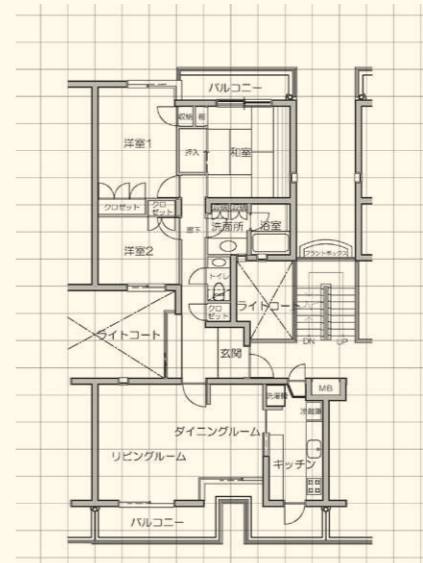
免震制振・高性能な設備機器などの高規格住宅の基準が出そろった、往時とは住宅性能が格段にアップしているこの時期にこそ、暮らし易さとは何か、立地や価額だけではなく“選ばれるプラン”とはどんな間取りか、改めて追及していくことが我々の務めと任じ、“まねぶ”ことの中にこそオリジナリティが生まれるもの信じ、決意を新たに日々の業務に取り組んでおります。



パークハイツ鶴見(1983年)
3LDK・78.20㎡

ZET型リビング+独立居室

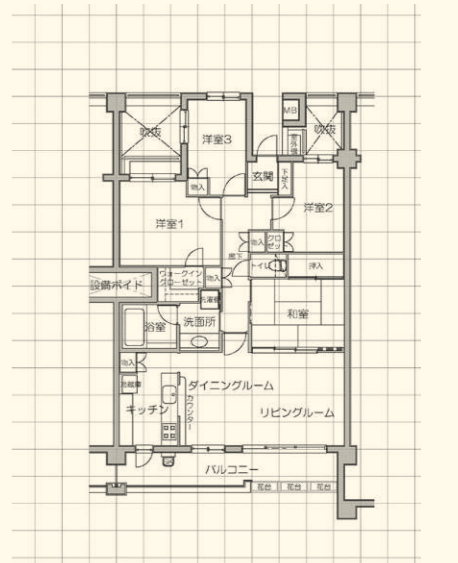
- リビング・ダイニングをZ型に配置、連続性を損なわず領域を明確にし、対角の視線の長さを与えることで部屋の大さを演出
- 全居室独立・通風・採光
- 玄関ホールに通風採光
- キッチンバルコニー
- スキップフロア+3層ごとにELV.停止させることで両面バルコニー創出⇒バリアフリーにより絶滅



パークコート上野毛(1984年)
3LDK・93.55㎡

Wライトコート+PP分離

- 全居室単独通風採光
- 全水周りに通風採光
- 玄関ホールに通風採光
- 全居室独立
- 間取り可変性保持
- P.P.分離
パブリック(ハレ)とプライベート(ケ)の分離
- 勝手口プラン
- 窓際ダイニング
- コーナー窓
- 南面キッチンバルコニー



東急ドエル イディオスあざみ野(2001年)
4LDK・93.18㎡

SI住宅+間取り可変

- 設備ボイドにより排水系統の維持更新の容易性確保
- 住戸内にPSがないことで、水周りを含む間取り可変性保持
- 居住者の構成に応じたフルリフォームが容易
- 中間住戸でありながら4LDK
- 吹き抜けを介して通風採光に加え、ブライバシーを確保
- 一体広々LDK
- 南面キッチンバルコニー
- 廊下短く居室効率大



**ドレス美しの森
セントヴェール**



建物は2棟に分けた囲み型配棟。ポイント部に景観のアクセントとなるペントハウスを計画。

延床面積：38,922.07㎡／構造：RC造／階数：B1F～5F
一団地認定



ブランズ田園調布



風致地区の高低差9m崖地に建つ52戸の邸宅。雁行形態で、自然環境・街並みになじませ、穏やかに佇む。

延床面積：6,359.00㎡／構造：RC造／階数：B2F～5F



田園ステーションテラス



田園都市線梶が谷駅脇に建つ308戸の集住体。多様な住戸・共用計画が人・街を有機的に繋ぐ。

延床面積：29,972.00㎡／構造：RC造／階数：B1F～6F



ブランズ横浜



住居タワーと低層商業棟の接続部に段々状の屋上緑化を展開し、自然豊かな暮らしを実現している。

延床面積：32,423.11㎡／構造：RC造、一部HRC造、S造／階数：B1F～17F／JV等：NAP建築設計事務所(デザイン監修)、石勝エクステリア(緑化)、西松建設(構造) 横浜市市街地環境設計制度・第19回屋上壁面緑化技術コンクール「屋上緑化部門：環境大臣賞」



ブランズシティ横濱上大岡



上大岡駅フラットアプローチ、177戸の集合住宅。隣接商業施設と一体的な土地利用を計画。

延床面積：15,549.00㎡／構造：RC造、一部S造／階数：7F／JV等：アーキサイトメビウス(外観、共用部デザイン監修)



ザ・パークハウス千代田麹町



四ツ谷駅徒歩3分、地の利を活かし、低層部は小割対応オフィス、高層部は分譲住宅である。

延床面積：10,734.00㎡／構造：RC造／階数：B1F～14F



**シティータワー
神戸三宮**



地上176.5mの超高層免震構造。再開業事業として雨水利用や非常発電設備など防災対策も計画。

延床面積：92,963.20㎡ 構造：RC造、一部S造 階数：B1F～54F JV等：環境再開発研究所、織本構造設計(設計JV)

免震構造



**サウスフロント
タワー町田**



タワーのフォルムをV字型としてすべての住戸を南向きとした商業・公益施設との複合用途再開発。

延床面積：42,584.00㎡ 構造：RC造、一部SRC造 階数：B3F～30F JV等：アール・アイ・エー(設計JV)



**豊洲キャナルワフ
タワーズ**



都心居住型総合設計を採用して敷地の高度利用を図った豊洲運河沿いのタワーマンション。

延床面積：72,791.00㎡ 構造：RC造、一部S造 階数：B1F～36F JV等：戸田建設(実施設計・監理)

都心居住型総合設計採用



**ブランズタワー
文京小日向**



1階にはポルシェのショールーム、地下には自動車整備工場を構えたタワーマンション。

延床面積：12,015.04㎡ 構造：RC造 階数：B3F～22F JV等：ADA



**トア山手
ザ・神戸タワー&フラッツ**



雁行とスリットによりヒューマンスケールとしたコアボックス+外周柱構造の複合用途タワー。

延床面積：44,404.00㎡ 構造：RC造、一部S造 階数：B1F～35F JV等：環境再開発研究所、平田建築構造研究所(設計JV)

免震構造



**ブランズタワー
南堀江**



総合設計にて容積割増しを行った。なんばに近い都心部、水景を用いた公開空地、免震構造が特徴。

延床面積：17,413.00㎡ 構造：RC造、一部S造 階数：B1F～25F

免震構造



**ドレス美目黒
インプレスタワー**



円形プランにより風害や圧迫感を和らげると共に、ランドマーク性を確保したタワーマンション。

延床面積：13,122.00㎡ 構造：RC造 階数：B1F～23F 免震構造



**BRANZ SIMATUPANG
(JAKARTA, INDONESIA)**

インドネシアで初めて開発、設計、施工すべてを日系企業で実施したオールジャパンプロジェクト。

延床面積：85,102.79㎡ 構造：RC造 階数：B3F～28F JV等：GENSLER JAPAN(共用部インテリア) CLIMAT(色彩計画) 石勝エクステリア(外構) AIRMAS ASRI(ローカルアーキテクト)



グランクレール世田谷中町



NTT玉川中町社宅跡地利用として2013年の事業者プロポーザルで選定され、定期借地権付/70年の事業としてスタートした。高齢者向け住宅を中心に多世代交流施設が複合した本計画は、隣接地に建つ分譲住宅との一体開発であり、「分譲マンションとシニア住宅の複合開発による世代循環型の街づくり」を目指したプロジェクトである。また、2014年から創設された新たな補助事業となる、東京都の「一般住宅を併設したサービス付き高齢者向け住宅整備事業」より、第一号プロジェクトとして選定された。

計画地は、低層住宅に囲まれた閑静な住宅街である。世田谷区では、原則10m以下とする高さ制限がある中で、第一種低層住居専用地域内における建物高さ制限の緩和認定(建築基準法第55条2項)を取得し、高さ12mを超えない地上4階建ての計画を実現した。配棟計画については、2つの中庭を囲む建物配置により、入居者が中庭を散策しながら四季折々の植物に触れ、常に緑を感じられる住環境を創出した。建物外観については、中庭を囲む施設構成により建物に裏がなく、周辺環境に応じて様々な建物の表情を創り出している。また、分譲マンション敷地と妻壁の素材を合わせ、街区全体で統一感を持たせた外観デザインとし、既存樹木(桜並木)と共存する、周辺環境と調和した落ち着いた佇まいとなるよう計画した。

住戸計画については、「シニアレジデンス:自立型住宅」と「ケアレジデンス:介護型住宅」が同一敷地内に複合した計画である。シニアレジデンスでは、車椅子対応住戸を大幅(全体の5%)に減少することで、車椅子回転スペース部分の圧縮により玄関やトイレの扉を開き戸にすることが可能な計画としている。ケアレジデンスでは、英国スターリング大学認知症サービス開発センター(DSDC)が提唱する「認知症にやさしいデザイン」のコンセプトに沿った内装計画としている。例えば、トイレ扉の色は黄色、浴室手摺の色は赤色といったように、特定箇所の色彩を統一することで場所の認識力を向上させる等、入居者の不安や混乱状態を減らし、より快適に安心して暮らせるよう工夫を凝らした計画としている。

共用空間については、人々を迎える開放感あふれるロビーラウンジや、大きなガラス面による視線の抜けを演出した中庭の中にあるようなダイニングをはじめ、広々とした大浴場、設備の整ったシアタールーム、多摩川の花火大会も楽しめる屋上庭園(テラス)等、必要な住戸数を確保しながらも多彩なアクティビティが生まれるよう、ゆとりある共用空間を実現した。

北西面には、誰もが通り抜けられるセンタープロムナード(散策路)があり、その角に面して建つのが多世代交流施設「コミュニティプラザ」

である。1階のコミュニティサロンでは、気軽に立ち寄りたくなるようなオープンな設えとし、様々なプログラムに応じたフレキシブルな空間とした。その他、認可保育所や介護事業所等の様々な用途が混在し、多世代交流を促す空間構成となっている。コミュニティプラザを中心に、隣地マンションや地域に開かれた環境を目指して計画した。

所在地：東京都世田谷区
 建築主：東急不動産株式会社
 竣工：2017年
 延床面積：17,725.77㎡
 構造：RC造
 階数：4F
 JV等：ADA(内装一部デザイン)
 庄島設計室(外構・植栽デザイン)





クレールレジデンス横浜十日市場

横浜市と民間で共同推進する「持続可能な住宅地推進プロジェクト」の一翼を担い、少子高齢化など課題を抱えた郊外住宅地において、住み慣れた身近な地域で誰もが安心して暮らし続けられる「活力あるまち」を目指した計画。街区全体で地域交流を促進するエリアマネジメントの採用や、地域を含めた高齢者を対象とした生活サービスを提供する拠点の創出、またシニア住宅の介護フロアでは英国スターリング大学認知症サービス開発センターの知見を取り入れた「認知症にやさしいデザイン」とするなど、新たな試みを行った。

交流・賑わいのシンボルとなる広場とそれに面した生活サービス施設は、親しみやすく利用しやすい環境を目指したほか、各空間相互に関係し合う環境をつくることで、多彩なアクティビティが育まれ、自然発生的な交流が生まれることを意図した。高齢者の住まいとして、安全・安心で豊かな住環境を提供するよう随所所案したが、その多くは運営サービスと建築が不可分で、各部をスムーズに機能させるゾーニング・動線計画や、コミュニケーションの円滑化を大切に考えて計画した。心地よい住まいの実現には、サービスの提供者にとっても心地よい建築が欠かせない。



延床面積：11,454.03㎡
構造：RC造
階数：9F

GDA2020(横浜グリーンパトンプロジェクト)

東急ウェリナ大岡山

東急病院の大岡山駅上部への移転による跡地利用計画。東急電鉄のシニア住宅1号でフラッグシップとなる。生活の不安や不便から開放され、充実した生活を望む方に安全で快適なサービスや住まいを提案し、いつまでも、自分らしく笑顔あふれる暮らしを提供することを目指した計画であり、多様で豊かな住空間を提案した。そのひとつに「内と外をつなぐ」という思想を建物、外構共通のコンセプトとし、四季折々の自然を五感で感じる場を多く設けた。また「住まい」であることを基本に置き、ヒューマンスケールな空間構成と落ち着きあるあたたかなデザインを目指した。

室内で過ごすことが多くなりがちな介護エリアでは、サーカディアンリズムの考えを取り入れた照明や、人間工学に基づいた姿勢保持機能など自立支援の考えを組み込んだ計画により住まわれる方のQOL向上を目指した。ランドスケープでは、水景に微生物の力を活かした生態系に負担を与えない炭濾過システムを採用するなど、エコロジカルな取組みも行った。

延床面積：19,780.06㎡
構造：RC造
階数：B1F～8F
J V 等：松鹿設計製作所(監修)
メック・デザイン・インターナショナル(インテリアデザイン)

照明学会照明普及賞





光が丘パークヴィラ(増築) 開

シニア住宅の草分け的存在の施設における、改修と増築の計画。自立期と介護期をつなぐ中間期エリアの新設と多様な生活ニーズの受け皿となる居室の増築、スタッフの業務環境改善を行い、住まう人・働く人にとってのバリューアップを図った。既存建物の「我が家のように安心して楽しく暮らせる住まい」という開設時からの思想、街の風景となった既存建物のアイデンティティを継承。緑に恵まれた周辺環境を存分に活かした自然と繋がりを感じる空間。時を重ねつくられた心地よい空気を大切に素材感ある仕上がりをシンプルに構成した「ヴィンテージ&モダン」のデザインで新たな息吹を吹き込んだ。

延床面積：2,369.28㎡
 構造：RC造
 階数：B1F～3F
 GDA2021



聖路加ガーデンレジデンス棟(内装・設備) 開

1994年に竣工したケア付き高齢者向け賃貸住宅。「究極のバリアフリー化」などの理想を実現するために数多くの手法が盛り込まれた。居住空間ではバリアフリーな空間に仕上げるために、必要な機能をいかに目立たない形で盛り込むか、すなわち視覚的なバリアも取り除くことで高齢者の自立をさりげなく促す空間を実現。また高齢者の身体状況に合わせて室内の使い勝手を改修できるよう準備工事を施し、キッチン・トイレ・洗面カウンターなど各設備においても将来の改造も視野に設計された。「高齢者の事故を未然に防ぎ」「ものを人の変化に合わせて」という考えに基づき、自立した幸せな生活を送ってほしいという願いが込められた。



延床面積：42,000.00㎡
 構造：SRC造
 階数：B4F～38F
 J V 等：日建設計(設計JV)
 BCS賞第37回



こまえ正吉苑二番館 開

社会福祉法人の事業主と行政のプロポーザルで得た新たな地域拠点としての特別養護老人ホーム。

延床面積：5,948.01㎡/構造：RC造/階数：3F



グランクレールあざみ野 開

内包された中庭では、草花や樹々の葉が季節の表情で、建物内を歩く入居者に時を伝えてくれる。

延床面積：8,386.76㎡/構造：RC造/階数：B1F～3F



グッドタイムリビングセンター南 開

QOL向上を目指し、住まう方と介護者の双方の視点から挑戦的に取組んだ新時代のシニア住宅。

延床面積：12,947.15㎡/構造：RC造/階数：10F



プラテシアセンター南新館 開

より良い住環境を追求したV字配置耐震壁+超扁平梁など、他にない付加価値を実現した住まい。

延床面積：6,934.80㎡/構造：RC造/階数：9F



グランクレール青葉台二丁目ケアレジデンス 開

健康者向けシニアレジデンスと渡り廊下で結ばれる形で丘の上に増築。将来の安心とも結ばれた。

延床面積：1,554.29㎡/構造：RC造/階数：B1F～3F



グランクレール美しが丘 開

安心と寛ぎの為、入居者の身体状況の変化・季節や時の移ろい・共用空間の可変へ特に配慮した。

延床面積：4,169.52㎡/構造：RC造/階数：B1F～3F





あべのキューズモール



全体の建築計画は容積率を抑え、その空間的な余裕を活かし建物をセットバックさせ、ひな壇状に商業空間の奥行きを形成するアウトモールを創出した。また、アウトモールから人の流れを受け入れるインモールは、吹抜けなどの変化豊かな空間で構成し、人の流れを円滑に施設奥へ引き込む。

アウトモールとインモールの両方を備えたハイブリッドモールは、各要所に“コミュニティとコミュニケーションの場”を備え、来訪者へくつろぎと楽しみ溢れる時間を提供し、多方面から人の流れを創出し、地域に開かれたライフスタイル型ショッピングセンターを具現化させた。

ファサード計画は複雑なプラン構成を整理し、阿倍野筋に面する長さ約300mの壁面を分節化し、地上部街路、屋上の立体的なテラス、パティオなど、緑に溢れた開放的な空間を形成した。それは単に物を売るだけの施設ではなく、時間消費型であり、先に述べた“コミュニティとコミュニケーションの場”の創造や情報発信源となる施設をイメージし、外観の大きなガラスの円形屋根、テント屋根の天蓋は人々が集まる場の形成を外部に発信させた。

また、本施設のデザインは、設計JV及びデザイン・ータルディレクションの空間工房が調整を行い、北山創造研究所、オーブ建築造形

計画、船場、神谷デザイン、E-DESIGNをはじめ複数のデザイナーの方々とデザインコラボレーションを実施した。それにより施設全体としての一貫性を確保しつつも、多様なデザインテイストの採用により、多様ながら洗練された、くつろぎと安心感のある施設づくりを実現することができた。

建築設計においては、関東における駅近接商業施設及び大型商業施設の実績がある東急設計コンサルタントと関西における大型商業施設の実績がある安井建築設計事務所が相互のノウハウを共有し、総合力として本施設をまとめた。東急設計コンサルタントは、東急線沿線で展開するたまプラーザやグランベリーパーク、二子玉川駅に見られるような大型駅舎+複合商業施設が街と連続し、人の回遊を生み出す施設づくりを得意とし、あわせて、駅舎設計などのノウハウを天王寺側地下通路、阿倍野駅接続などに活かした。また、安井建築設計事務所は、阿倍野再開発での実績(あべのグラントウール)の他、関西での多数の再開発経験とノウハウを活かした。

郊外における大型量販店を展開するリージョナル型SCの成功パターンから時代は変わりつつある。近年において、駅直結の大型SCが成功を収めている。本プロジェクトにおいて、当時5駅7路線約78万人/日の駅乗降客がある阿倍野・天王寺駅は変貌し続ける大阪

サウスゲートとして好立地にあり、施設づくりはライフスタイル型SCとして地域の活性化を促し、街自体の発展に寄与するものとして計画を進めてきた。本件の経験を通じて学んだ多くのノウハウは、その後のららぽーと設計・アウトレット設計、所沢や池上駅商業設計に活かされている。

所在地：大阪府大阪市阿倍野区
 建築主：東急不動産株式会社(特定建築者)
 竣工：2011年
 延床面積：183,730.40㎡
 構造：S造、一部SRC造
 階数：B2F～6F
 JV等：空間工房(デザイン・ータルディレクション)
 北山創造研究所(商業コンセプト)
 船場(商環境デザイン)
 神谷デザイン事務所(フードコート・パティオデザイン)
 E-DESIGN(ランドスケープデザイン)
 オーブ建築造形計画(外装デザイン)

大阪サステナブル建築賞特別賞・大阪市景観建築賞奨励賞



東側着色立面図



グランツリー武蔵小杉



武蔵小杉駅から徒歩4分に位置する旧東京機械製作所玉川製造所跡地を計画地とし、当社は2007年の東京機械製作所玉川製造所の移転計画の段階より全体事業コンサルタントとしての業務を担うと共に、大型複合商業施設の実現に向け多方面からプロジェクトをバックアップする立場にあった。またイトーヨーカ堂が展開してきたSC業態である『アリオ』シリーズの設計業務に数多く携ってきた当社としては今まで培ってきた経験を活かしながらも、イトーヨーカ堂の求める『新たな店づくり』への取り組み・挑戦に応えることが設計上の大命題として商業施設設計を進めた。

『お客様1人ひとりの暮らし・人生を、もっと豊かに、もっと幸せにする場所でありたい』という思いを込めて『グランツリー武蔵小杉』は今までにない全く新しいオンリーワンの商業施設として誕生した。計画地は都市型タワーマンションに囲まれた極めて特徴的な立地である。そのため全方位からの俯瞰の景観にも十分な配慮を心掛けた。駐車場の地下化により生まれた屋上を積極的に活用し日本最大級規模の屋上庭園として計画された。庭園内は訪れる誰もが最高に気持ちの良い時間を過ごせる『都会の中のオアシス』として、約300本の樹木と約8,000株の植物や、数多くの子供向け遊具を設置している。4階に位置する屋外テラス席を持つフードコートや大型

インタラクティブビジョンを設置した多目的スペースは、屋上庭園からの自然光が降り注ぎ、『立体的な繋がり』が感じられ、屋上庭園とモールの融合を実現させ一体的な利用を促している。

メインエントランスに位置する4層吹抜けの大空間を中心に、各階フロアコンセプトに対応した専門店モールが展開する。モール通路は敢えてクランクさせたり、リースラインに凹凸を付けるなど、単調になりがちなモール通路に変化を持たせている。吹抜けに設置された高さ14m上から美しく流れるアーティスティックな水のオブジェは、音と光の演出により様々な表情を魅せ、憩いの空間を創出している。各所に配置されたレストスペースや5カ所に設置されたベビールームなど共用施設の充実、フードコートに併設のレンタルパーティースペースや認可保育園など、お客様目線に立った付帯施設・新機能もグランツリーの特徴である。

外装デザインにおいては、都市型商業施設でありながら周囲の緑豊かな住環境との調和を意識し、商業施設としての華やかさ・上質さも最大限に表現した。ナチュラルな風合い、かつ深みのある色調で構成されたベース壁面は、陽のあたる角度により違った表情を見せてくれる。さらに縦面積約500㎡もの壁面緑化と木調ルーバーが自然感を強調した優しいファサードを表現している。また各エントランス

には白く際立つ門型ゲートにより、お客様へのウェルカム感を演出した。

所在地：神奈川県川崎市中原区
 建築主：株式会社イトーヨーカ堂
 竣工：2014年
 延床面積：108,498.78㎡
 構造：S造、RC造
 階数：B2F~4F
 JV等：柴田陽子事務所(店舗総合プロデュース)
 エイムクリエイツ(商環境)
 SOLSO(屋上庭園デザイン監修)





新静岡セノバ



本計画では、「静岡市都心部の新たな魅力創出・まちづくりに貢献するターミナル一体型再開発」をコンセプトとして、中心市街地活性化、歩行者回遊性向上、快適な鉄道とバスターミナルの整備、安全で快適な歩行空間の創出を行っている。

静岡市中心部の賑わいの核として、災害時の安心安全に考慮しつつ過ごして楽しい施設づくりを行い、地域を結ぶ自由通路は、中心市街地の活性化に繋がった。また、上下移動の無い乗り換えが可能な交通ターミナルの提供、安全で快適な外周部歩行者空間の確保を行い、さらに「新静岡セノバ・バリアフリー推進協議会」と協議を行いながらバリアフリー化に取り組んだ。

延床面積：85,674.71㎡
構造：S造
階数：B1F～11F
JV等：丹青社(商環境デザインJV)



KAMEIDO CLOCK(カメイドクロック)



大規模SCとしての基本要件(店舗動線計画、ゾーニング計画、駐車場計画、外装計画)を満足させると共に、四方の異なる様々な周辺環境との調和・共生を大切に、地域住民・施設利用者にとっていつでも愛され続ける施設計画を目指した。外装計画に関しては基本設計の初期段階より亀戸の新たなランドマークとして、組子障子の格子デザイン、江戸切子の図柄など、下町で育まれてきた伝統技法、文化を現代的にアレンジすることで亀戸の地域特性をファサードに表現した。夕暮れ時にはブラザに面するガラスカーテンウォールから行灯のような優しい灯で街を照らし、訪れる人々を施設へ迎え入れてくれる。

延床面積：58,080.32㎡
構造：S造、一部RC造、SRC造
階数：B1F～6F
JV等：日建ハウジングシステム(ランドスケープデザイン監修)



セブンパークアリオ柏



約13万㎡の計画地に約2万坪の売場をダブルサーキットモールとセンターコートで構成した。

延床面積：137,149.36㎡/構造：S造/階数：3F/
JV等：グラフィクスアンドデザイン(商環境デザイン監修)、船場(商環境デザイン)



アリオ倉敷



チボリ公園跡地に出来た、倉敷市の公園、アウトレットと融合した回遊性の高いアリオ倉敷。

延床面積：58,030.95㎡/構造：S造、一部SRC造/
階数：店舗2F、駐車場5F/JV等：船場(商環境デザイン)
倉敷市建築文化賞奨励賞・SDA賞



相鉄ライフ弥生台

(相模鉄道弥生台駅前リニューアル)



商業施設と駅前広場を一体と考え、駅・施設・街を繋ぎ、弥生台のシンボルとなるデザインを実現。

延床面積：4,688.65㎡/構造：S造、一部RC造/階数：2F



キュープラザニ子玉川



積層商業ビルに小さな庭と路地を組み込み、事業性と界隈性を両立させた小さな風景を作った。

延床面積：2,521.15㎡/構造：S造、一部SRC造/階数：B1F～3F/
JV等：成瀬・猪熊建築設計事務所(商環境デザイン)、奥村組(実施設計)



ららぽーと和泉



当社でのららぽーと最初の実績。その後全国のららぽーと設計に携わり、現在5施設目を設計中。

延床面積：168,552.13㎡/構造：S造/階数：5F/
JV等：スタジオタクシズ(商環境デザイン)、
鳳コンサルタント環境デザイン研究所(ランドスケープデザイン)



三井アウトレットパーク 北陸小矢部



当社における三井不動産の進めるアウトレット最初の実績。現在4つ目アウトレットの設計中。

延床面積：42,526.49㎡/構造：S造/階数：2F/
JV等：フェルナンドバスケス(商環境デザイン)





西武鉄道所沢駅・グランエミオ所沢



計画地は西武グループの重要な拠点のひとつであり、所沢駅は西武鉄道池袋線と新宿線が交差するターミナル駅である。開発計画は所沢の街のさらなる発展をテーマとし、駅周辺地区のまちづくりの将来像である「にぎわいとおいしい街」の実現を目指している。建物概要は、鉄道施設を挟んだ東西をつなぐ一体化した駅舎と商業施設からなる複合施設である。I期は東口を中心とした商業施設として2018年3月に開業、II期では線路上空に人工地盤を設け、商業施設と南改札等を整備し、2020年9月に施設のすべてが開業した。既存改札と南改札を結ぶ新たな南北通路には、上部に膜構造の大屋根を架け、訪れる人を出迎える明るく賑わいのある開放的な空間とした。また西口交通広場側には街の回遊性を高めるベデストリアンデッキを新設した。所沢のイメージを投射する「都会的進取の風土」と「豊かな自然・田園」の交差する場、両方の豊かさを凝縮させることで、沿線のランドマークとなる施設を目指し、自然素材を引き立てる洗練されたデザインで構成している。外装は駅の新たな顔としてゲート性のあるデザインとし、街に開かれたファサードを創出している。所沢のもつ都会的なイメージと、豊かな自然環境を取り込み、街の特徴を表出した。温もりのある素材感や洗練されたガラス素材などを組み合わせた

ファサードにすることで、商業の賑わいを創出し、素材の分節化や凹凸感を強調することにより街並みのようなヒューマンなスケールを形成した。駅施設を中心として街の東西が繋がりを、街の回遊性を高めることでさらなる地域の発展に寄与する施設となることを目指した。線路上空に人工地盤を設置し、駅としてのドラマティックな空間、商業としての賑わい空間を融合し、街の顔となる場所を創出した。吹抜け中央の「セントラルプラザ」は“駅上の陽だまりポケットパーク”として、新旧改札を結ぶ通路、木を囲む吹抜け、屋上庭園である「とこにわ」など、大きな屋根の下に立体的に繋がる吹抜け空間を実現した。樹木を取り囲むベンチを配し、ゆったりくつろぐエリア、大型サイネージやイベント空間としても利用できる情報発信機能、インフォメーションカウンターなどコンシェルジュとしての機能も充実している。2階南側の東西を結ぶ「東西自由通路」は、各店舗が面し、温もりのある色合いと素材感で空間を構成し、商業としての“にぎわいと華やかさ”を演出している。セントラルプラザに面して新たに南改札を設置した。既存改札の都会的なイメージと対比する自然・田園をイメージする「あたたかみのある空間」をコンセプトとしている。改札内には線路を眺望する屋外デッキ、

新たな駅設備のシンボルとなる待合スペース「とことこひろば」、清潔で使いやすいトイレを設置し、新しい駅舎空間を実現した。

所在地：埼玉県所沢市
 建築主：西武鉄道株式会社
 竣工：2020年
 延床面積：116,000.00㎡
 構造：S造
 階数：B2F～5F
 J V 等：船場（商環境設計）
 鉄道建築協会賞





北綾瀬駅・M'av北綾瀬 Lieta

東京メトロ千代田線「北綾瀬駅」における駅舎、駅ビル、高架下店舗、架道橋、駐輪場等の一体的計画である。従前の3両編成から10両編成対応が行われることによるホームの延伸に伴い、大規模な改修や建替えが行われた。ホームの屋根は軽快な膜屋根とし、そのホームや駅舎からは隣接するしょうぶ沼公園の景観を見渡すことができるよう計画している。駅ビルの低層部はガラス面を多用して明るく開放的な設えとし、駅への導入空間としての演出も行っている。高架下商業施設はテラスや貫通路、たまり空間などを多く設けることで、まちに開かれた施設とするとともにまちの回遊性を向上させるよう計画した。

延床面積：駅舎1,477.91㎡、駅ビル1,271.99㎡、高架下店舗1,280.11㎡
 構造：S造、RC造
 階数：駅舎2F、駅ビル4F、高架下店舗1F
 J V 等：メトロ開発(設計)



池上線池上駅・エトモ池上

池上駅は約100年前に池上本門寺への参拝客の輸送を目的に誕生した、五反田駅から蒲田駅を3両編成で結ぶ地元密着型の生活路線であり、旧木造駅舎は長年の間利用者に親しまれてきた。しかし、東急線内で最後の構内踏切が存在しており、橋上駅舎化による安全の確保と線路による街の分断解消と、地域の活性化に必要な生活・交流機能が求められていた。駅舎デザインは地域の特性である「門前町」をモチーフとしながら、新たな駅が歴史をつなぎ、未来に継承していく地域の拠り所となる拠点づくりを目指した。ホームは多摩産の杉材で壁・天井を覆い、旧駅舎の記憶が残るよう温かみのある木質空間とした。2階コンコースには参道を連想させる「池上仲見世」を配し、低く抑えた庇の軒裏によって、より木の温かみを感じられる。3階～5階の商業エリアは1階・2階から木質空間を連続させ、まちを見渡せる共用空間は「まちの居間」として来訪者を迎え、思い思いの時間を過ごすことができる居場所とした。旧駅舎の解体工事で発生した木材「えきもく」は、施設共用部、テナント専有部に再活用を行い、地域に愛された木造駅舎の記憶を継承することで、地域とともにつくり上げた建築が完成した。



延床面積：9,525.01㎡
 構造：S造
 階数：3F
 J V 等：E.A.S.T.建築都市計画事務所
 鉄道建築協会賞・ウッドデザイン賞(ハートフルデザイン部門)・
 ウッドシティTOKYOモデル建築賞(奨励賞)・木材利用優良施設等コンクール(優秀賞)



ログロード代官山

東急東横線地下化に伴い創出された全長220mの敷地に、5つの建物と緑溢れる散策路を設けた商業と公園が融合した施設。

延床面積：1号棟748.26㎡、2号棟128.05㎡、3号棟472.50㎡、4号棟299.58㎡、5号棟226.60㎡
 構造：S造、一部RC造
 階数：1号棟2F、2号棟1F、3号棟B1F～2F、4号棟B1F～2F、5号棟B1F～1F
 J V 等：ジェネラルデザイン一級建築士事務所(建築デザイン)、
 SOLSO, DAISHIZEN(植栽デザイン)、柴田陽子事務所(サインデザイン)

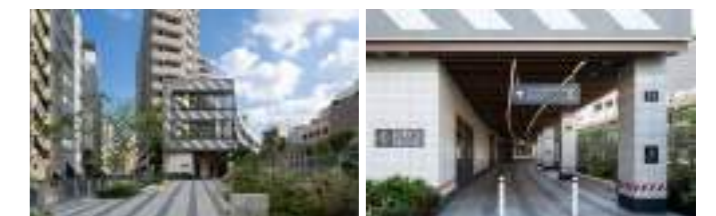
土木学会デザイン賞(2016年度)



渋谷ブリッジ

渋谷ブリッジは渋谷ストリームとログロードを繋ぐ核となる複合施設。弧を描く線路形状を取り入れた構成となっている。

延床面積：A棟1,280.09㎡、B棟4,361.55㎡
 構造：S造
 階数：A棟3F、B棟7F
 J V 等：THINK GREEN PRODUCE(プロデュース)、
 TRIPSTER(建築デザインディレクション)





中目黒高架下



中目黒駅周辺約700mの鉄道高架下空間に生まれた約40区画からなる商業施設である。「SHARE(シェア)」という開発コンセプトを掲げ、鉄道高架橋をひとつの屋根に見立て「ひとつ屋根の下」で「時間・空間・想いの共有(SHARE)」が出来る新しい商店街の形を目指した。中目黒らしい個性的な店舗で構成され、店舗ごとに個性的な外装デザインにすることで、まちに違和感なく溶け込ませている。店舗の滲み出し空間やテラス等を随所に設けて、まちに開かれた空間を創造している。土木高架柱も表出させ活用するデザインとし、中目黒らしい新たなカルチャーの発信地となることを意図している。

延床面積：3,765.00㎡
 構造：S造
 階数：1F
 J V 等：丹青社(商環境デザイン)
 GDA2017



エミナード石神井公園



駅を中心に700mの高架下と駅前の敷地を活用した一体的な商業施設開発。街に新たな魅力を加えて周辺の発展に寄与。

延床面積：5,440.74㎡
 構造：S造
 階数：2F



エキアプルミエ和光



和光市駅コンコースおよび駅南口直結の商業・ホテルの複合駅ビル計画。当社ワンパッケージ体制でソフト・ハード両面対応。

延床面積：12,555.28㎡
 構造：S造
 階数：B1F~7F



京都市営地下鉄 京都駅改札



京都市営地下鉄 京都駅(kotochika京都)

京都市営地下鉄 四条駅改札

京都市営地下鉄
京都駅・四条駅「kotochika」



四条駅は京都市営地下鉄初となる本格的駅ナカ商業施設の創出を行った計画であり、通り過ぎるだけであったコンコース空間や設備室の整理で生まれた中間階などを改修して店舗を配置することで、賑わいのある空間に生まれ変わらせた。その後の計画の京都駅は古都京都の玄関口にふさわしい「おもてなし」と「やすらぎ」の空間創出を目指し、駅ナカ商業施設の南エリア創出と旅客トイレ改修やエレベーター新設などのバリアフリー化を図るなどのリニューアルを行った。コンコースには伝統色を配したり、香道で用いられる源氏香之図を用いたり、御所壁をモチーフにするなど、京都らしいデザインを盛り込んでいる。

延床面積：京都駅1,822.00㎡、四条駅1,127.00㎡
 構造：RC造
 階数：B1F~B2F



京都市営地下鉄 四条駅(kotochika四条)



梅田駅(ekimo梅田)



梅田駅(ekimo梅田)

なんば駅(ekimonanba)

大阪メトロ
梅田駅・なんば駅・天王寺駅「ekimo」



大阪市営地下鉄(現大阪メトロ)初となる本格的駅ナカ商業施設の設置とそれに連動したコンコース等のリニューアルである。梅田・なんば・天王寺駅は関西圏における3大ターミナルであり、大阪メトロとしても乗降客数トップ3の駅である。その3駅の地下鉄駅構内に駅の利便性向上と環境改善を図るべく、駅ナカ商業施設「ekimo」が誕生した。梅田駅は「スタイリッシュ×モダン」、なんば駅は「自然×ひろがり」、天王寺駅は「さくら×こもれび」のデザインコンセプトのもと、新たな駅ナカ商業空間が生まれたことで、地下駅空間のイメージが刷新されると共に鉄道利用者の利便性向上が図られた。

延床面積：梅田駅1,022.00㎡、なんば駅2,817.00㎡、天王寺駅1,274.00㎡

構造：RC造
 階数：B1F
 J V 等：エイムクリエイツ(商環境デザイン)



天王寺駅(ekimotensu)



銀座線 渋谷駅



東京メトロにおける旗艦路線である銀座線の大規模リニューアルの一環として、始発駅かつ唯一の地上駅である渋谷駅の新設(移転)である。

渋谷駅周辺再開発のデザイン会議の議長である内藤廣氏との協働にて設計をすすめ、東京メトロの顔、渋谷の顔として、アイデンティティーを渋谷のまちに打ち出す駅舎を目指した。変化し続ける文化発信拠点である渋谷に相応しく、近未来を感じる空間により、銀座線渋谷駅を利用することで、新たな街へと進化している渋谷への期待感を感じられる空間とした。

まだ一部を残して継続して工事が行われており、今後の駅街区中央棟の接続に合わせて、最終形状となる。

延床面積：5,212.52㎡
 構造：RC造、S造
 階数：B2F~3F
 J V 等：内藤廣建築設計事務所(デザイン監修)、メトロ開発(設計)
 鉄道建築協会賞



こすぎコアパーク



コンセプトは「Pebble Landscape」。大小様々な石ころが散らばる、人々のアクティビティを誘発する場を創出した。

延床面積：276.80㎡
 構造：S造
 階数：2F
 J V 等：Open A(基本計画)



東横線 元住吉駅



路線高架化に伴う橋上駅舎である。膜屋根による自然採光・雨水利用・緑化など、建築デザインと調和した環境施策を行った。

延床面積：631.21㎡
 構造：S造
 階数：3F
 J V 等：大建設計(構造)
 鉄道建築協会賞



Echika fit銀座



東京メトロ銀座駅構内における駅ナカ商業施設である。地下鉄駅舎内という特異性による法的要件や物理的要件の厳しい中で、駅利用者が気軽に立ち寄ることができる施設づくりを目指した。「銀座ちかみち」をコンセプトに「歴史と伝統の銀座」と「先進的で新しい銀座」の特性が共存する銀座の魅力を設定し、素材で表現し、コンコース空間を歩いて楽しい魅力的な境界空間となるよう創り上げた。2020年には銀座駅全体の大規模改修に合わせて当該店舗部分についても店舗区画変更を含む改修を行い、既存のデザインを継承しつつ、駅改修内容に合うよう新たなデザイン要素を付加してリニューアルオープンした。

延床面積：943.26㎡(改修面積214.40㎡)
 構造：RC造
 階数：B1F
 J V 等：エイムクリエイツ(商環境デザイン)



京王高幡不動駅ビル



新設の駅施設を中心に東西と南北方向に回遊を高める自由通路を設置。ショッピングセンターを併設した複合施設である。

延床面積：28,546.07㎡
 構造：S造
 階数：B1F~6F
 鉄道建築協会賞



つくばエクスプレス 守谷駅



4線が立体交差する橋上駅舎である。軽快なトラスの連続が無柱ホーム空間を実現し、リズムカルで特徴的な景観を創出した。

延床面積：678.00㎡
 構造：S造
 階数：3F
 鉄道建築協会賞グランプリ





LOGI LAND羽生III

埼玉県羽生市にある、とても自然豊かな場所に建つテナント用物流倉庫の計画である。構造はコストを考慮した柱RC+梁Sの複合造としている。コーポレートカラーである青色、灰色、茶色を踏襲した外観は周辺の建物が低いこともあり、青空との相性も良く爽やかな表情をつくる。外部、内部の配色はオーナー企業のカラーリングをアピールできる方法を追求した。エントランスは片側の壁面全面に素材感のある青いタイル張りとし、来客者は、大きな青い壁によって導かれる。各所サインもアクセントとして青を配置し、様々な場所でコーポレートカラーが認識でき、かつ毎日の勤務が少しでも楽しく感じられるように意識した。

延床面積：35,828.96㎡
 構造：RC造、S複合造、一部S造
 階数：4F
 J V 等：アクア(CM監修)、前田建設(設計JV)



神奈川中央交通 茅ヶ崎営業所

当社の神奈川中央交通(株)バス営業所シリーズの最新作。これまでの営業所は「事務所」と「工場」を別棟として計画されてきたが、この物件からは両者を一体化した計画とし、建物のコンパクト化を図った。外観は住居系の周囲に配慮した色彩とし、用途により上下2層に分けた配色とした。下層は茅ヶ崎の浜の砂からイメージした色を採用した。既存営業所を稼働させながらの工事となるため、バスと通勤車両の駐車エリアを工事ステップ毎に確保しながらの検討を行っている。茅ヶ崎市条例に則り、緑化の面積確保と給油所や洗車場等各所施設の配置を行った。

延床面積：2,080.06㎡
 構造：S造
 階数：4F



岩手工場・北上センター

(株)セブン-イレブン・ジャパン(SEJ)の東北地方の拠点工場として「2食品工場+1配送センター」の製造・配送が複合化されたSEJ初めての食品工場である。運営会社3社の複合施設として、共用エリアでは社員食堂用厨房施設等の共同化を図った。生産エリアでは交差汚染のない、汚染エリア・非汚染エリアのゾーン区分の明確化を行い、HACCPを考慮したワンウェイ動線による効率的かつ合理的な平面計画とした。また、運営会社3社を明確に認識できる分かりやすいサインや色彩計画、防犯・安全計画とし、24時間365日稼働の食品工場として、保守管理の容易な建築・設備計画とした。

延床面積：30,660.27㎡
 構造：S造
 階数：2F
 J V 等：ナカノフード建設(実施設計・監理)



神中興業 本社工場

引き締まったウォームダークグレー色の工場と明確に対比する付加された白いゲートフレームで、新しい工場のイメージを提案した。細かく縦に文節されたスパンドレルの工場外壁に対して、目地の無い大きい面で構成される庇状のゲートフレームが人を迎え入れる。ロビー外装は外部からの視認性を持たせるガラススクリーンとし、内部は高級感のあるお客様スペースを設けた。工場内は作業導線を考慮したレイアウトにより生産性の向上を図り、全体デザインと合わせて「あの工場で働いてみたい」と思われる計画とした。

延床面積：2,466.89㎡
 構造：S造
 階数：2F





東急キャピトルタワー



1963年に東京ヒルトンホテルとして開業した歴史ある「キャピトル東急ホテル」の建替え計画である。隣接する日枝神社・山王パークタワーと共に地区計画が定められ、宿泊・文化・交流機能を担い情報化・国際化に対応した施設整備が求められたB地区にあたり、ホテルにオフィス、住宅を加えた複合施設として計画した。

敷地は古くは明治の星岡茶寮まで遡る風光明媚な場所であったが、現在は国会議事堂の後背かつ首相官邸近傍という国政の中心地区であり、周辺環境への特別な配慮が求められた。建物の配棟や壁面後退、外装の色や素材、官邸側への防犯性を配慮した制約等を慎重に検討し、建築計画を行うにあたり、デザイン監修の隈研吾建築都市設計事務所と協業し、こうした環境条件の中で「伝統の和の文脈」を具現化している。

形態規制による不整形な外形を、低中層部(オフィス)と高層部(客室)の異なる2つの格子パターンにより覆うことで、シンプルで現代的だがどこか日本的な風情も感じられるファサードとなっている。低層エントランスには日本の伝統的意匠をモチーフとした2つの大規模な庇を設けており、時間・日差しにより変化する陰影が「うつろい」として建物に繊細な和の表情を与えることを意図している。

メインエントランスである4層吹抜けの共用ホールは、地下鉄駅から

ダイレクトにアプローチでき、華美でない上質なインテリアが緩やかに連続し各用途に自然に導かれるよう材料や色調の使い分けによるデザイン操作を行っている。

オフィスは10層、貸室面積約2万㎡の規模である。エントランスホールは地下鉄からアプローチしやすい地下1階に配置しており、共用ホール吹抜けからの自然光が柔らかくふりそそぐ。避難安全検証法を採用した事務室は整形な空間とし、Low-Eガラス、昼光利用照明制御、材質検知等により省エネに配慮している。

ホテルのインテリアデザインコンセプトは「日本の和み」とし、「旧キャピトル東急ホテル」のデザイン性の文脈の延長に、新しい和のデザインを再構築することを目指し、ロビー等のパブリックエリアは日本の空間の特徴である内部空間と外部空間の連続的な繋がり合いを重視した施設配置としている。

低中層部のオフィスと高層部のホテルでの最適基準スパンの違いを、3次元的に柱を斜めに架け渡させることで構造的に解決し、ダイナミックな構造の切り替えを特徴としたプール等のホテル関連施設の空間として利用している。

14戸の賃貸住宅は、専用の屋上庭園に面し自然を感じながら都心の眺望を楽しめるとともに、ルームサービスやリネンサービスなど

客室同様のサービスが受けられる。ノンバルコニー方式を採用しているが、外装に外気導入スリットを設け、自然の風も感じられるようにしている。

低層部の大規模な屋上緑化は、立体的に植栽することで隣接する日枝神社の豊かな緑と一群の森を形成することを意図しており、建物の断熱性能を高めるとともにCO₂削減、都市のヒートアイランド現象の緩和にも寄与している。周辺地域に生息する鳥や昆虫等の調査とそれらにも配慮した植栽計画や大規模な池の設置、通り抜けできる散策路等も評価され、SEGES(社会・環境貢献緑地評価システム)都市開発版の第1号となった。



所在地：東京都千代田区
 建築主：東急株式会社
 竣工：2010年
 延床面積：87,428.28㎡
 構造：S造、一部SRC造、一部RC造
 階数：B5F~28F
 J V等：観光企画設計社(設計JV)
 隈研吾建築都市設計事務所(デザイン監修)

GDA2011・JIA優秀建築賞100選・第45回SDA賞・制震構造





セルリアンタワー



渋谷を中心とするエリアが、情報と文化を発信する国際交流の拠点として発展する為に、それまで不足していたコンベンション機能をもった都市型高級ホテルとオフィスを1棟のタワーに集約した複合施設。緑あふれる大規模な公開空地の確保、傾斜地を利用した用途、機能にあったエントランス計画、人と車、ホテルとオフィスの明確な動線整理およびゾーニングを行うことで、渋谷の街に新たなランドマークタワーを出現させた。国道246号線の上に新たに架設した歩道橋と接続し、渋谷中心街と周辺地域とをつなぐ重要な役割を果たしている。オフィスとホテルそれぞれが効率的な基準階を重ねることで合理的で特徴のあるタワー形状として五角形のホテル平面を計画し、ランドマーク性を高めた。デザインコンセプトである「選択・伝統・創造」に基づき、インテリアは合理性を優先して無駄のない美しい空間を目指し、質感のある材料で構成したシンプルな内装とモダンな家具により現代の和を表現した。大宴会場などの大空間は公開空地下の地下に配置し、機能空間を集約した楕円形のコアを中心に、ダイナミックな宴会場エリアを現代の和、静的な能楽堂エリアを伝統の和で表現している。



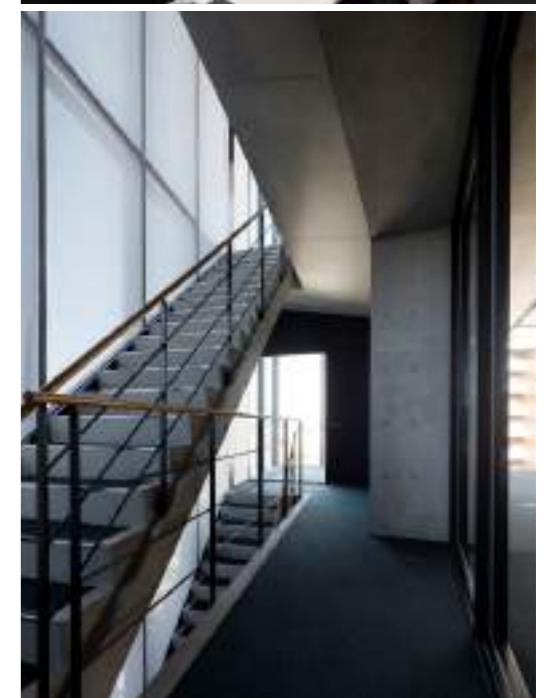
延床面積：105,959.93㎡
 構造：S造、一部SRC造、一部RC造
 階数：B6F～41F
 J V 等：観光企画設計社(設計JV)
 鉄道建築協会賞



長谷川体育施設本社ビル



陸上競技場のグラウンド等を設計・施工する企業の本社ビル。「東京都における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例」の補助金を受け建替えた。約100㎡の小さなプレートが8層積層されているため社内コミュニケーションの円滑化が課題であったが、見通しのきく内部階段を設置することで、立体的なワンルームの様な空間を実現。この階段室を西側に配し、自然換気の機能を持たせ全体をガラス張りとする事で、採光を確保しながら執務空間への西日を制御する実質的なダブルスキンとして機能する。西側は駅からの動線上にあり、『階段の上り下り』という日常生活の『運動』を通りに表出させた外装とすることで、体育施設企業のブランドイメージを街に発信している。敷地面積約220㎡、建物間口6mの厳しい条件の中で、強い要望であった免震構造を実現するため、建物高さを抑える必要があった。床下に設備を全て集約し、天井はコンクリート打ち放しとすることで階高を抑え、建築素材そのものの現しとすることで防災性、耐震性を備えながら、意匠・構造・設備が同調した建築を目指した。体育施設に相応しいアスリートの様な禁欲的な佇まいを表現している。



延床面積：1,067.11㎡
 構造：SRC造
 階数：8F
 J V 等：Tokyo Lighting Design(照明デザイン)
 GDA2016・SDA賞
 中間層免震構造



世田谷ビジネススクエア

用賀駅前に立地するオフィスを中心とした複合施設。タワー棟と中低層棟群による構成とし、足元にオープンスペースを確保することで周辺環境との調和を図った。東名高速からの首都高速入口に近接しており、東京に入る際のランドマークとなっている。地下駅と接続するコンコースは、円形階段、サンクンガーデン、トップライト等により光を取り入れたアプローチ空間であり、水を配した外部空間と一体となったエントランス空間や、中層棟の階段状の屋上緑化など、水と緑を取り込んだ快適な共用空間を形成している。多様な建築の構成や様々なスケールのオフィス空間により、人間主体のオフィス環境創出を目指した。

延床面積：96,602.46㎡
 構造：S造、SRC造、RC造
 階数：B2F～29F
 J V 等：アーキテクトファイブ(デザインアーキテクト)

都市景観大賞(1994年)・鉄道建築協会賞



東急番町ビル

高台の交差点に立つオフィスビル。ガラスの色を変え柔らかさと奥行のあるファサードを実現。

延床面積：16,755.87㎡
 構造：S造
 階数：11F
 J V 等：堀越英嗣ARCHITECT 5
 (デザインアーキテクト)



JR東急目黒ビル

地下化した東急目黒線およびJR山手線の線路上空を一体で利用した複合用途の超高層駅ビル。

延床面積：52,221.00㎡
 構造：S造
 階数：B4F～17F
 J V 等：JR東日本建築設計(設計JV)
 鉄道建築協会賞



東急虎ノ門ビル 増築

増築により倍となったファサード等既存部と一体となるディテールを検討し、ビルの視認性を向上。

延床面積：14,610.00㎡
 構造：S造
 階数：10F
 J V 等：堀越英嗣ARCHITECT 5
 (デザインアーキテクト)
 増築計画



浜松町スクエア

浜松町駅前に位置する複合ビル。天井高さ6.5mのピロティ部分も含め敷地面積の約6割を公開空地とし歩行者の多い駅前の混雑緩和等に大きく貢献している。下層階の事務所と上層階の住宅の異なるプランを調和させる為、各面の中央部を屋上まで連続するドットパターンのあるガラスカーテンウォールとし、統一感のあるファサードデザインとした。Low-Eフィルムに印刷したこのパターンは日射負荷低減と街に対する柔らかな目隠しでもある。1階の列柱やエントランス壁面の縦格子や、四隅の柱等を光の行灯とすることで、道行く人々に「奥」を感じさせる江戸・東京の都市景観デザインを意図している。

延床面積：23,946.50㎡
 構造：S造、一部SRC造
 階数：B1F～20F
 J V 等：アーキテクトファイブ(デザインアーキテクト)、東急建設(設計JV)
 制震構造



TKS武蔵小杉ビル

公開空地の設置、省エネに配慮した縦強調の外装デザイン等、新しい駅前広場の都市景観を創出。

延床面積：17,768.00㎡
 構造：S造
 階数：B1F～11F



スプライン青山東急ビル

帆をイメージしたファサードがランドマークとなり、空へとつながる軽快なイメージを創出した。

延床面積：7,500.95㎡
 構造：S造、一部RC造
 階数：B2F～8F



目黒東急ビル

隣接の国立自然教育園の緑と一体となったワークスペースを透明感の高いファサードで実現。

延床面積：9,713.00㎡
 構造：S造
 階数：7F



FANUC ACADEMY



『ACADEMYがFANUCの象徴となる』-顧客との対話を通じ、顧客獲得を未来永劫つなげていく存在-をキーワードにした山梨県忍野村に本社を構える産業工作機械メーカーであるFANUC株式会社の宿泊施設併設型研修施設である。敷地は標高約1000mの富士山の裾野に位置し、FANUCの製品を購入した顧客が、製品の使用方法等を1週間泊りがけでトレーニングを行う施設で、既存研修施設は、建物・建物設備の老朽化、新機種を導入するためのスペース不足、増加傾向にある講習希望者の宿泊室不足から建物の拡張を含めた建て替えが行われることとなった。

新しい研修施設は、メインとなる研修棟とゲストハウス棟をエントランス棟と食堂棟で繋ぎ、中庭を囲んだ口の字型の構成となっている。また、ゲストハウス棟の上階にはVIP顧客をもてなす場としての迎賓館を併設している。

FANUC ACADEMYは「習う場」「過ごす場」「魅せる場」の3つの場を設け、忍野の自然を享受しながら、顧客の記憶に残る快適な居場所を創ることを目指した。

道路からのアプローチ、各棟を結び自然を結び人を結ぶエントランスは、来客者を迎え入れるゲートのようなデザインを基調としている。公道に面した実習室は、ロボットを使った研修風景を望むことがで

きるショーウィンドウのような役割を果たし、守秘義務の高い施設にあって、外部に開放する試みにより、来客や来街者に対し、また通りを通行する人々に対し、FANUCの“カオ”を生み出す「魅せる場」となっている。

「習う場」である研修棟は、天井クレーンの設置が必須であったため、ストロークの長い空間を確保する必要がある。平面計画は「交流を促すラウンジ」→「座学の教室」→「クレーン・実習機が設置されている実習室」の3つのレイヤーで構成されている。3層を横断的に移動することで、実習室から教室へのシームレスな移動、休憩時には大階段でつなぐラウンジ空間で受講生同志の交流を育む「過ごす場」を生み出している。中庭側のラウンジ空間には、換気スリット窓を設け、機能とファサードが一体となったデザインとしている。また、FANUCの3つの事業のカラーを教室入口に配色し、遊び心を加えたインテリアとした。

ゲストハウス棟は110室の受講者用客室、62室の迎賓館用客室で構成。中庭と連続した凹凸のあるラウンジを有し、アクティビティが表出する佇まいをデザインしている。客室やラウンジからは、緑の中の富士山を望むことができ、また全施設で天然木のフローリングや仕上材を使用しており、木に包まれた深呼吸できるような居心地の

良い「過ごす場」として快適な居場所を提供している。宿泊されるお客様へのBCP対策として、ガスコージェネレーションシステムを採用し、非常電源としての役割を果たすとともに、廃熱の有効利用を行っている。周辺の環境を取り込んだ施設が、受講者・顧客が快適に講習に集中できる居心地の良い「習う場」「魅せる場」「過ごす場」を用意している。FANUC ACADEMYが「ファナックファン」を増やす一翼を担っている。

所在地：山梨県南都留郡忍野村
 建築主：FANUC株式会社
 竣工：2019年
 延床面積：18,825.00㎡
 構造：研修棟S造、宿泊棟RC造
 階数：研修棟4F、宿泊棟7F
 JV等：ADA(宿泊棟迎賓館インテリアデザイン)





フィリアホール (青葉区民文化センター)



東急田園都市線「青葉台」駅前の複合施設上階に設けられたクラシック音楽主体の500席のコンサートホールである。ホール形態は舞台と客席が一体となったシューボックス型とし、ホール内装は音楽要素(リズム、メロディー、ハーモニー)を自然(木立ち、波、風)の形態にたとえ、音響効果とも一致する舞台から客席に向かって音が溢れ出すイメージ表現を行っている。音響的評価も高く、様々なアーティストによる上質な公演から地域の方々の企画コンサートや発表会など、文化の発信地として愛され続けている。竣工30年となる2023年春に天井耐震化等の改修を経てリニューアルオープンとなる。

延床面積：5,161.09㎡(青葉台東急スクエア South-1)
構造：SRC造
階数：青葉台東急スクエア South-1 本館5F



狭山市市民交流センター(狭山スカイテラス(狭山市駅西口地区再開発))



都市再生機構施行の第一種市街地再開発事業により西武新宿線「狭山市駅」前に整備された市の公益施設である。「文化・交流・福祉」の機能を担う6つの施設(中央公民館、総合子育て支援センター、入間川地区センター、生涯学習情報センター、男女共同参画センター、市民センター)からなる複合型公益施設である。駅前広場を挟んで同じ再開発事業で整備された段状テラス形態の商業施設と呼応するように、当建築内にも段状にセットバックする吹抜空間を設け、その吹抜空間と豊富な共用部により複合施設としての一体化を図っている。また、建物出入口を数多く設置し、大小のたまり空間を随所に設けることにより、回遊性を高めた施設としている。駅前広場に面した3層分の吹抜には、入間基地の航空機騒音の防音にも配慮しつつ視線の通るガラスカーテンウォールを採用し、諸室も可動間仕切りやガラスで開放的に設えることで、施設のアクティビティを積極的に外部に表出させ、誰もが引込まれるように気軽に立ち寄られるような施設づくりを意図した。フレキシブルで開放的な空間や多様な共用部の設置により、用途や型にとられない様々な使い方や交流が行われるよう意図している。



延床面積：5,642.49㎡
構造：SRC造
階数：3F
J V 等：ピーエーシー(電気・機械設備)

GDA2014・都市景観大賞優秀賞2014年・土木学会デザイン賞2015年



タカシマヤローズホール(プランズ横浜)



計画地は横浜駅西口からほど近く、横浜市が商住共存・土地の高度利用を促進しているエリア内にある。低層階にイベントホール・カフェ・カルチャースクール・オフィス、4階以上の上層階に210戸の分譲マンションを配した複合施設である。イベントホールは1階、2階ともワンフロア1,200㎡超・天井高さ3.5m、450名(シアター式)での会議や展示会、2階ホールは3分割での利用も可能として多様なニーズに対応できるものとなっている。計画に際して横浜市街地環境設計制度を適用することで、歩行者空間の整備や緑豊かな外観による景観貢献と高い事業性を実現した。

延床面積：32,423.11㎡(プランズ横浜)
構造：RC造、一部HRC造、S造
階数：プランズ横浜B1F~3F
J V 等：NAP建築設計事務所(デザイン監修)、石勝エクステリア(緑化)、西松建設(構造)
第19回屋上壁面緑化技術コンクール「屋上緑化部門：環境大臣賞」





1号館外観



上/1号館、下/7号館



上/6号館、下/10号館

東京都市大学 1号館、6号館、7号館、10号館



当社は2009年から東京都市大学のキャンパス整備に参画し、施設更新ステップなども含めた検討を重ね、1号館、6号館、7号館、10号館（一部竣工）と4つの主要な施設に携わってきた。

1号館は30人教室から120人教室まで大中小49の教室を内包し、研究室、学生サービス部門、大学事務管理部門、ラウンジ等を擁するキャンパスの中核施設として2013年末に完成した。2カ所の吹抜を中心に回廊状の廊下を設け、教室、エレベーター、階段、ラウンジを配したシンプルな構成とし、4層の吹抜により施設全体が立体的につながり、学生がお互いの気配を感じられる交流の場を提供している。大学として省エネルギーを意識した最初の施設であり、西面の自動制御外付ブラインド、吹抜けを介した屋光利用・自然換気をCO₂センサーによる換気量制御、ライトシェルフ、高効率空調機等を備え、完成後の省エネ効果が確認されている。

6号館は一般教養の化学・物理学実験室、エネルギー化学系の実験・研究室、産学連携スペース、大教室の確保を目的として2018年春に隣接地に完成した。将来的なレイアウト変更、機器更新を考慮し、下階を使用したまま実験機器、各種設備を更新できる設えとした。日々進化する研究内容に対応できる大スパンの無柱空間を実現、フレキシビリティに配慮した施設とし、既存施設からの移転を実現させ、7号

館の建設スペースを確保するに至った。

7号館は100周年事業の一つとして等々力キャンパスの2学科の移転先となる施設として2022年春竣工した。特定用途の閉じた部屋は最小限として活動の見える大小様々なガラス張りの部屋を回廊状に配置し、行き止まりのない各所にコミュニケーションの場所を設けた。学部・学科という組織を建物単位に一致させないゆるいゾーニングを許容した計画とし、環境に配慮した施設としてZEB Readyを達成した施設であり、透明感あるファサードをもつ本施設が新たなシンボルとなる事が期待されている。

10号館も同じく100周年事業の一つとして、6つの学科、新たな産学研究のための施設として計画され2022年夏に1期工事が竣工した。設計コンセプトとしてサステナブル、フレキシビリティ、オープンラボを掲げた大型実験機器に対応できる理工学部的主要施設である。各種制限の下、敷地のポテンシャルを最大限に活用できる施設配置・形状を検討した結果、屋外廊下を採用し、基準スパンが連続する大スパンのラーメン構造により空間の均一化を図り、将来的な研究室の変更や更新に対応しやすいフレキシビリティを備えた施設とした。多種多様な研究を行う学生、研究者、教員が吹抜けを介して互いに刺激しあう施設であり、時代に先駆けた教育研究施設を目指している。



共用廊下と吹抜(1号館)



エントランスホール(6号館)



大階段(7号館)



EVホール・ラウンジ(10号館)

所在地：東京都世田谷区
 建築主：学校法人五島育英会
 竣工：1号館 2013年、6号館 2018年、7号館 2022年、10号館 2024年
 延床面積：1号館 14,988㎡、6号館 7,909㎡、7号館 10,105㎡、10号館 13,536㎡
 構造：1号館 RC造・一部S造、6号館 S造、7号館 S造、10号館 S造
 階数：1号館 B1F~4F、6号館 4F、7号館 4F、10号館 5F
 J V 等：シーラカンスK&H(7号館 協働設計者)、東急建設(7号館 構造・設備)



世田谷キャンパス全体配置図



森村学園中高等部新校舎



歴史ある学園の100周年記念整備事業である。耐震性が不足していた中高等部の新校舎改築を中心に、屋内プール・遊戯室棟の新築、本部棟の改修、中高等部体育館の耐震改修、グランド整備を行った。広大な敷地内の約4割を占める緑地を維持しながら、将来の初等部の建て替えも視野に入れ、他学年の学園活動のゾーニングに配慮しながら計画を進めた。横浜市開発調整条例における協議により、高度地区に準拠しながらも既存校舎の高さを既得権として獲得し、配置計画を進められたことが本計画の重要なポイントとなっている。中高等部校舎は地上5階建て、約14,800㎡の規模で、学年毎にグルーピングした中等部ゾーンと高等部ゾーンの普通教室合わせて30室を東西に配置し、自然光が降り注ぐ吹抜(ガレリア)を中央に配した特別教室ゾーン(特別教室19室)が中心となってそれらをつなぐ明快な平面計画とした。ガレリア回りには各教科の特徴が表出するガラスの展示棚を設けて生徒たちの興味を引く工夫をし、普通教室前には憩いの空間となるロッカースペースを設け、休み時間などに友人や他クラスの生徒との交流を促す設えとしている。教室・特別教室エリアの他に図書館、カフェテリア、講堂等を擁する施設である。外装はコンクリート打放しを基本とし、内装は木、コンクリート、ガラスによる構成として施設全体を明るく暖かみのあるものとした。また、

建築的にも環境に配慮し各種の環境技術を採用し、ランニングコストの低減を図った。鉄筋コンクリート造の4.5mのモジュールを採用し柱を細くすることにより圧迫感を低減、教室・共用部において大きな空間をつくり、視線の抜けを最大限に確保した。高さ制限による限られた階高の中、天井高をなるべく大きく確保するために特別教室は140㎡超のポイドスラブを採用して梁を極力小さくする等、構造的にも工夫している。施設全体として環境に配慮し、吹抜(ガレリア)上部に大開口のトップ

ライトを設け、自然採光による明るい共用部として照明ランニングコストの低減を図った。また、トップライト部に自然換気窓を設置することにより各教室の換気スリーブから廊下を経て吹抜上部へ至る重力換気による自然換気を行い、中間期における内部環境の快適性と空調ランニングコスト削減を実現した。普通教室の外部に面した開口部にはブラインド内蔵サッシと樹脂製庇の組み合わせにより、全面カーテンに頼らない外光制御を行うことで自然採光を確保した。プール棟には昇降床付きの屋内プールを設置し、学年に応じた授業

に対応可能としていると共に、地中熱ヒートポンプシステムを採用し、年間を通して利用可能な温水プールのランニングコスト低減を図っている。

所在地：神奈川県横浜市緑区
 建築主：学校法人森村学園
 竣工：2011年
 延床面積：14,822.00㎡
 構造：RC造、一部S造
 階数：5F





ASIA SPORTS CENTER



硬式野球部日の出寮

亜細亜大学日の出キャンパス再開発計画

亜細亜大学日の出キャンパス再開発計画は令和2年度から4年度までの3期(1期:硬式野球部日の出寮・2期:ASIA SPORTS CENTER、ASIA SPORTS FIELD・3期:ランニングコース、テニスコート他)にわたり、老朽化が進むスポーツ施設全体を整備するプロジェクトである。新たな施設を活用し、地域と連携したスポーツ振興活動の推進を目指している。

日の出寮は、建物の「明るさ、動き、透明感」をキーワードとした。1階のガラス張りは外部への発信性を持ち、各階で回遊できる動線は自然や人の気配を認識し、伸びやかな住まいを形成する。繋がりを育むことによってチームが1つの家族のようにいられる「みんなの大きな家」を考えた。

ASIA SPORTS CENTERは、日の出キャンパスのスポーツ拠点となる施設で、約700㎡のトレーニングジムと部室を併設し、ジムのガラス張りのファサードは見る見られるの関係性により学生アスリートの向上心をかきたてる。

ASIA SPORTS FIELDは50m×50mの屋内練習場とブルペンを計画し、目を引く外壁サインは学生とワークショップを行い決定した。“最強の集団”を目指し鍛錬する学生アスリートを鼓舞するサインとなっている。

延床面積：硬式野球部日の出寮 2,752.32㎡、
ASIA SPORTS CENTER 2,065.02㎡、
ASIA SPORTS FIELD 2,804.83㎡

構造：RC造、S造
階数：硬式野球部日の出寮3F、
ASIA SPORTS CENTER 2F、
ASIA SPORTS FIELD 1F



開放感のあるトレーニングジム



野球やフットサルの練習ができる屋内練習場



大田区立池上図書館

「歴史ある門前町の未来が始まる知の拠点」をコンセプトに、地域の文化と交流の拠点として魅力のある図書館を目指した。

延床面積：1,026.00㎡(専有面積)
構造：S造
階数：エトモ池上4F



大和市長中央林間図書館

「日本一の図書館の街」を誇る大和市。駅直結の中央林間東急スクエア内に誕生した利便性の良い地域密着型の図書館である。

延床面積：662.00㎡(専有面積)
構造：RC造
階数：中央林間東急スクエア3F



園田中学校東棟・園田小学校北棟改築

園田中学校は既存校舎との連続性を計りながらも学校の正面性・象徴性を生む中学校を目指した。「融合と飛躍」をコンセプトに、既存部と融合するコンクリート打放し主体の外観としながら飛躍感ある形態とし、新しい学校のイメージ創出を計画。ガラス壁面を採用した中心部の階段は透過性が高く斬新なイメージを実現した。園田小学校は隣接する園田中学校との全体計画を考え整合性を意識した。新校舎は主要道路に面しており学校の顔となるため、積極的に生徒のアクティビティを表出する学校を目指し特徴的外観とした。内部も溜まり空間を各所に設け、PCによる15mスパンの自由度の高い空間とした。

延床面積：園田中 4,718.44㎡(改築面積)、
園田小 3,790.69㎡(改築面積)
構造：RC造、一部S造
階数：4F



複雑な構造により 移動することで変化していく景色を実現

●グランベリーパーク

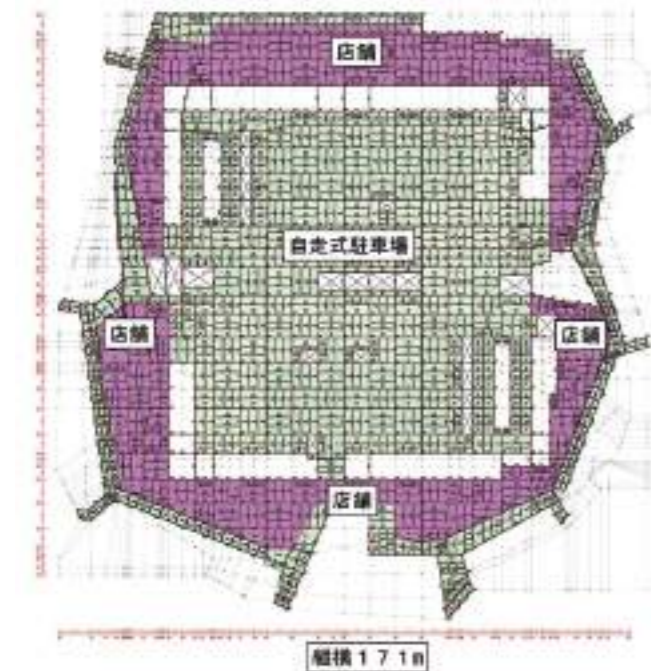
センター棟は施設の中心に自走式駐車場、外周に店舗が配置されており、平面形状は縦横171mである。中心の駐車場と外周の店舗の間には、約8mの空間があるが、構造的に成立させるため、水平ブレースにより全体を一体構造としている。

構造形式はラーメン構造で、鉄骨工場でのロボット溶接が出来る構造を優先した。そのため、駐車場の見通しが良い空間となっている。駐車場の鉄骨柱は全て耐火鋼、鉄骨梁の外周部は溶融亜鉛メッキ仕上げの耐火鋼で耐火被覆なし、内部は一般的な耐火被覆とし、雨がかり部と一般部を分けた最適な材料選定としている。

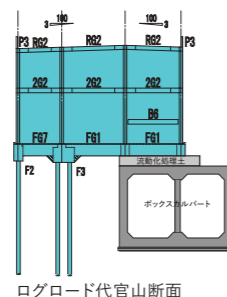
平面形状が縦横171mと大きい上に、通り符号は49通りで、更に外部デッキが任意の角度で構成されており、計算上のモデルは非常に複雑になっている。設計は計算プログラム上では最大節点数となり計画全体の鉄骨重量は約12,400トンとなった。工場での鉄骨製品検査は43回行われた。

施工者は信頼のおける方々が集結し、工事監理は緊張感のある中でも順調に工事が行われた。

計画全体では、棟の構成は13棟で、全ての外壁形状が棟毎に違い、構造設計・施工は難易度が高い計画となっている。その結果、「シークエンス(移動することで変化していく景色)」が実現している。



ログロード代官山



ログロード代官山断面

鉄道トンネル上に建物を実現

●ログロード代官山

東急東横線地下化に伴う敷地の活用計画として、開削工法のトンネル直上に店舗を載せている。敷地に対するトンネルの位置関係から、建物がトンネルを跨ぐ形となっている。トンネル上部は直接基礎、外れる部分は杭基礎として支持されている。

設計中に検討結果を事業主へ説明した。ボックスカルバート上部の直接基礎と杭基礎の沈下量の差は約3mmで、地中梁角度は基準の沈下限界値以下であり、有害な応力等が発生しないと考えられ、安全性に問題ないという結果となった。

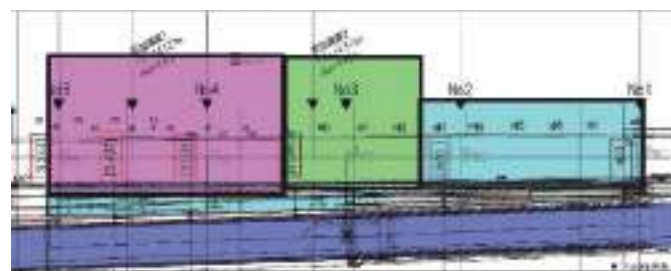
●渋谷ブリッジ

東急東横線地下化に伴う敷地の活用計画として、シールド工法のトンネル直上3.5mにホテルを載せている。敷地は渋谷に向かうアール形状のため、建物形状もそれに合わせている。

長期的・短期的にもトンネルへ悪影響を与えないことが最重要課題であった。トンネルにかけられる荷重に制限があったため、鉄骨造で床は軽量コンクリートを採用し軽量化を図った。地盤が盛土であったため、基礎はトンネルまでの地盤を全面地盤改良として、セメント系固化材スラリーを用いた機械攪拌式深層混合処理工法を採用した。施工に際しては、トンネルへの影響を確認しながらの作業で初日の工事は終電後に行い、施主がトンネル内を確認して進める万全の体制となっていた。各方面との綿密な調整および鉄道トンネルへの配慮により、鉄道トンネル上の建物を実現している。



渋谷ブリッジ 平面



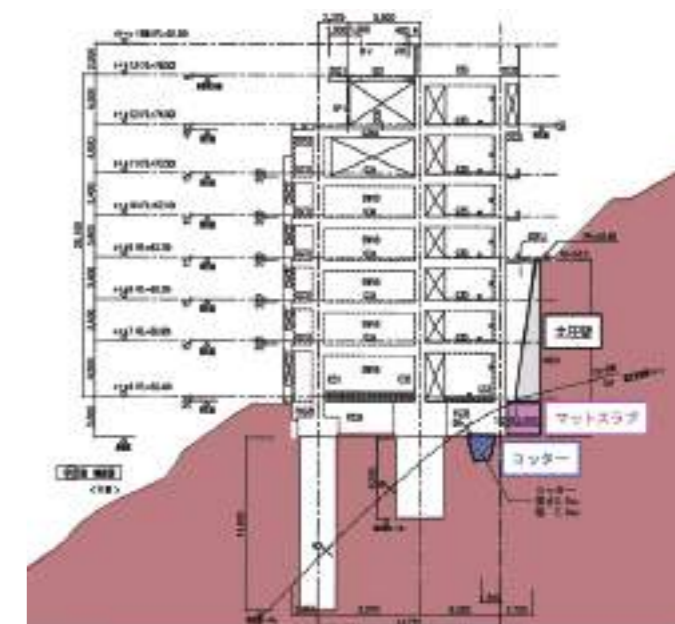
渋谷ブリッジ 断面

斜面地の土圧荷重に対応し、 オーシャンビューを実現

●東急ハーヴェストクラブ 熱海伊豆山&VIALA

構造形式は桁行方向がラーメン架構、梁間方向が耐震壁付ラーメン架構となっている。敷地は断崖絶壁となっており、建物に作用する土圧高さは11.5mにも及んでいる。その土圧荷重に対して、土圧壁の厚さは2,000mm確保している。土圧高さが高いため片持ち形状の土圧壁の下部に生じる応力を処理する必要がある。その力に対して、スラブをマットスラブ化し、厚さを2,800mm程度確保している。

また土圧は安全に地盤に伝達する必要がある。土圧による建物を斜面方向に押し出す力に対して建物を支持する杭径を大きく、杭長を長くして、またコッターという抵抗要素となる突起物を建物の基礎下に設け、土圧荷重への合理的な設計によりオーシャンビューを実現している。



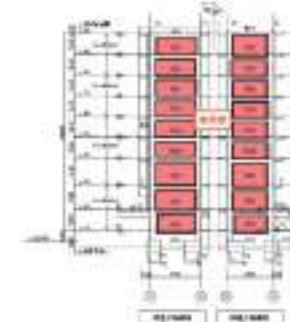
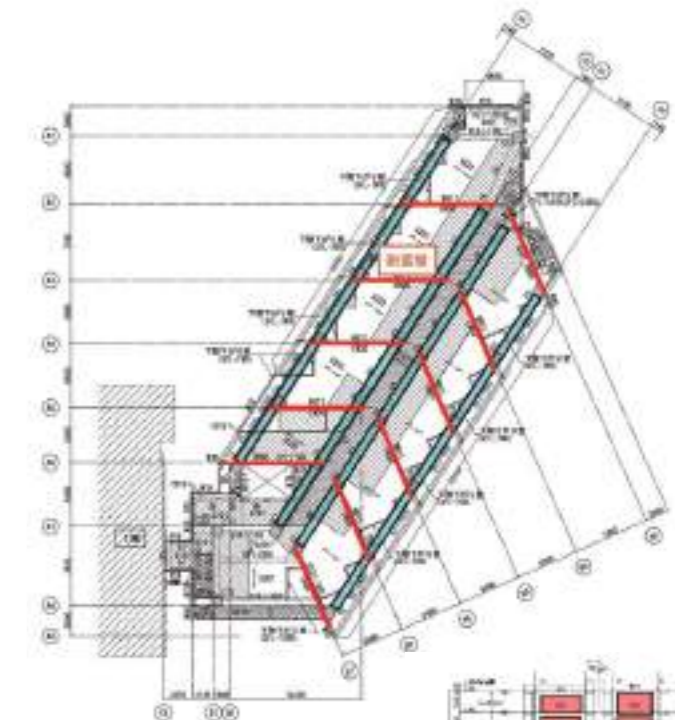
耐震壁の本領発揮により、 合理的な建物躯体を実現

●プラテシアセンター南新館

構造形式は両方向耐震壁付ラーメン架構となっており、住戸間に配置した耐震壁は360度どの方向の地震力に対しても有効に作用する。耐震壁の負担が大きいため耐震壁を厚くして、耐震要素として性能を確保している。また、工事においては以下3つの大きな特徴がある。1つ目として、中廊下の両側柱を繋ぐ大梁を中止した。これにより、天井ふところが十分確保され、設備配管を通すことができるようになった。

2つ目に、バルコニー側大梁断面を縮小化している。耐震壁が耐震要素となっているため大梁は地震力の負担が軽減され、断面の縮小化を実現している。それにより、サッシ高を十分確保でき、バルコニーがすっきりとした形状になっている。

3つ目に、平面計画を合理化した。当初、段々状になっていた平面計画は角に柱を配置し、外壁ラインは最終的な平面計画より長くなっていた。それを耐震壁を斜めに配置した計画とすることで、山留費や仮設費などの建設コスト削減を実現できた。これらの工夫により、建物全体としては重心と剛心のバランスを保ち、一見ねじれやすい平面形状であるが、実際にはねじれにくくなっており、住戸間に配置した耐震壁による構造の合理化を実現している。





東急東横線渋谷駅

当駅は、東京急行電鉄株式会社（現東急電鉄株式会社）の営業活動拠点となる東京都渋谷区に、東横線と副都心線の相互直通運転化事業の一環として計画された。2008年6月に副都心線渋谷駅として営業を開始している。

計画上のポイントに「閉塞感の無い開放的な駅空間」「駅利用者の記憶に残る印象深い駅」「利用者の快適性の向上と環境負荷の低減」を掲げ、計画段階では意匠設計者と環境技術者が一体となって検討し調整を重ね当駅が完成している。

デザインは建築家・安藤忠雄氏によるもので、「地下深くに浮遊する宇宙船」をイメージした「地宙船」と呼ばれる、長さ約80m、幅約24mの長楕円球形状をしたドームが駅の特徴となっている。「地宙船」の存在は、広大な平面計画となる地下ターミナル駅の中でランドマークとして機能している。

もうひとつの特徴は、改札階からホームを見渡すことが可能な3層を貫く楕円形状の吹抜けがあげられる。長さ約20m、幅約12mの開口は、地面下約25mにあるホーム階の旅客に開放感を与え薄暗い地下駅のイメージを一新している。吹抜け空間と隣地に設けたドライエリアにより「風の道」を形成し、地下駅空間に「自然換気」を成り立たせたことにより、環境負荷の低減を図っている。

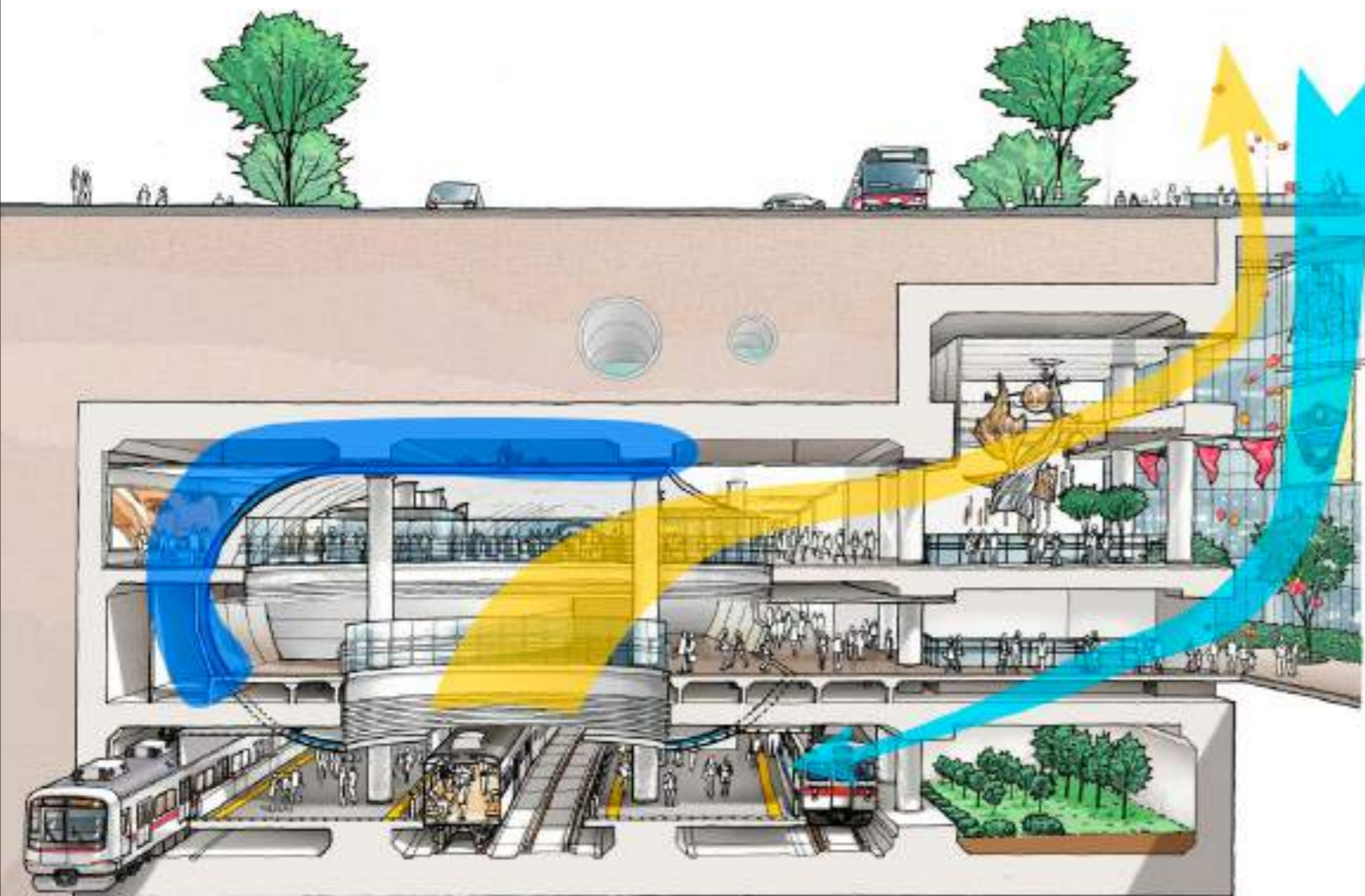
自然換気の対象範囲における冷房方式は、自然換気開口からの外気侵入による外乱が大きく、エリア全域を均一に冷房することは効率的ではない。当該エリアでは旅客の快適性を維持しながら冷房に強弱をつけ、タスク・アンビエント空調方式を採用し省エネルギーを

図った。旅客が滞留する券売機や改札付近、旅客ベンチの周囲をタスク域とし、旅客の移動空間となる通路部分をアンビエント域としている。

タスク域のスポット冷房計画では意匠設計者との調整を行い、券売

機や旅客用ベンチと吹出口を一体化するなど旅客に対する冷房効果を高めるための工夫を施している。アンビエント域では、コンコース天井およびホーム天井と床を冷却する放射冷房方式を採用している。





(出典:旧東京急行電鉄株式会社)

東急東横線渋谷駅 自然換気

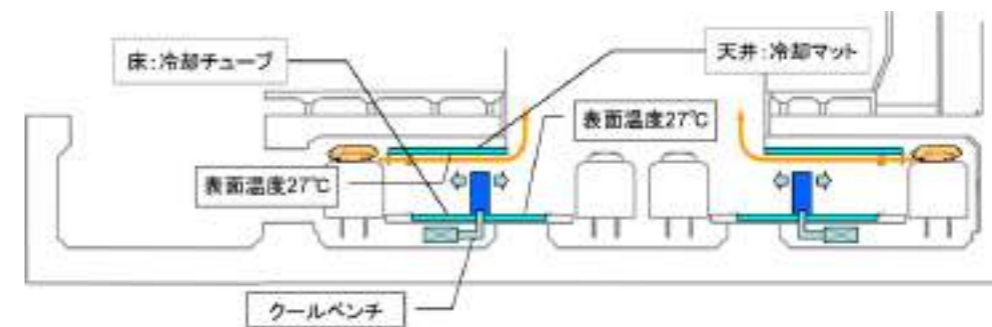
地下駅では、換気・空調設備による消費電力が駅全体の消費電力の約80%を占めており、ここでの取り組みが駅全体の消費エネルギーに影響する。渋谷駅は地下5階の大規模な駅であるが、3層を貫く吹抜け空間と隣地に設けたドライエリアにより駅の中心から代官山方向のホーム・コンコースの自然換気を成り立たせたことで、換気・空調に要する電力を大幅に削減している。



東急東横線渋谷駅 放射冷房

地下駅では、列車の排熱などがトンネルや駅の躯体に蓄熱され、各部温度が経年的に上昇する傾向にある。特に地下ホームにおいては、列車の停車中、車両冷房機の排熱の影響により天井や壁の表面温度が上昇し、ホーム上の熱環境に影響を及ぼしている。そこで、コンコース天井およびホーム天井と床を冷却する放射冷房方式を採用することで周囲部材への蓄熱を抑制し熱環境の悪化防止を図っている。

この機械に頼らない自然換気システムと放射冷房方式などにより、同等の広さの通常冷房装置の建物に比べて、2018年度は年間で約122万kWhの電力量が削減され、CO₂に換算すると約555.1トンの排出量削減効果が得られた。





上田電鉄別所線千曲川橋梁災害復旧工事(詳細設計)

「令和元年東日本台風(台風19号)」にて被災した上田電鉄別所線千曲川橋梁は、両岸を杭基礎の橋台、河川内をケーソン基礎の橋脚で支持され、支間長43.9mの5径間の単純鋼下路開床式プラットトラス桁で構成される橋長約224.2mの橋梁であり、1924年に建設された鉄道橋であった。

令和元年東日本台風は大雨特別警報が13都県に発令され、各地において堤防の決壊をはじめ広域的な被害をもたらし、大規模災害復興法に基づく非常災害に指定された。信濃川水系千曲川の当該橋梁交差付近においては約300mの範囲で左岸側堤防の欠損により河岸が洗掘され、A2橋台が流出したことに伴い、第5径間が落橋に至ったものである。

被災は2019年10月13日の朝に発生したが、同15日に下之郷～別所温泉間の運転を再開、11月16日に城下～下之郷間の運転を再開した。当該橋梁が位置する上田～城下間は代行バスによる輸送となり復旧工事が行われたが、被災から1年5か月の期間を経て、2021年3月28日に赤羽国土交通大臣(当時)ら多数関係者の参列のもと全線開通式典が執り行われ、被災区間が運転を再開し別所線全線が復旧した。

流出したA2橋台は最新の鉄道構造物等設計標準を適用基準とし橋

台の再構築を行った。落橋したG5桁は解体後既存部材の調査を行い再利用の可否を判断し、損傷を受けた約3割の部材について新規製作を行い交換し、約7割の部材について既存部材を再利用した。P4橋脚は被災によりやや傾いたものの既存再利用が可能と判断したが、河川復旧計画によって計画河床高がより深くなったため、橋脚補強設計および洗掘防止対策工を行うこととした。当社はこれらの復旧される構造物の設計業務を担当した。

当該橋梁の上・下部工の工事は河川内での工事であるため、非出水期(11月～5月)の期間において工事をしなくてはならないという制約がある。そのため、2021年3月末の全線復旧を目指すには、2020年11月からの第二濁水期(非出水期)で上部工の架設および河川工事を行い、2020年5月までの第一濁水期において新設A2橋台の再構築およびP4橋脚の仮補強を行う必要があった。事業者による河川管理者等との協議や施工者との調整協議と並行して詳細設計を行い、非常に限られた期間での設計業務であった。また、河川工事と並行して行われる災害復旧という特殊性から、施工者において様々なICT技術の活用が図られており、設計段階においても3Dレーザースキャナーによる傾いたP4橋脚の把握などに活用されていた。

上田電鉄別所線は、2021年3月28日に全線復旧し、被災区間を含む

全線が532日ぶりに運行を再開した。当社としても鉄道構造物の設計業務によって長年培われたノウハウ(技術力)と普段より東急グループの事業で行われてきた三位一体(事業者・設計者・施工者)のチーム力で課題を解決し当該事業に貢献することで、発注者より評価された業務となった。運転再開当日は無料乗車ということもあり、地域住民の方々や開通を待ちわびた非常に多くの方々に賑わい、地元での注目度の高さを実感した。千曲川橋梁が未来にわたり地元から愛される「赤い鉄橋」であり続けてほしいと願うとともにこの復旧事業に当社が関わることができたことを大変光栄に思う。



所在地：長野県上田市
発注者：上田電鉄株式会社
竣工：2021年
業務内容：橋台詳細設計、橋脚補強設計、橋梁補修設計





相鉄・東急直通線の整備工事等に係る調査設計

相鉄・東急直通線はJR東海道貨物線横浜羽沢駅付近から東急東横線・目黒線日吉駅間に連絡線を新設する事業である。これと同時に相鉄・JR直通線(相鉄本線西谷駅からJR東海道貨物線横浜羽沢駅付近の連絡線の新設)も整備され、相鉄線と東急線の相互直通運転が行われる事により、神奈川県中央部や横浜市西部と東京都心部が直結し、広域的な鉄道ネットワークが形成され、所要時間の短縮や乗換回数の減少等、鉄道の利便性向上とともに、新幹線へのアクセス向上等の効果を目指している。

当社は、相鉄・東急直通線区間のうち、東急東横線・目黒線日吉駅付近～日吉第一架道橋付近までの設計を行った。日吉駅は電気室移設のために約40mホームを渋谷方に移設、相鉄・東急直通線は日吉駅以南で地下化するため、日吉駅付近からU型擁壁を構築して地下にもぐる構造にした。また、東横線は営業線なので活線での施工となるため、既存高架橋で電車を営業させながら両脇に部分的に新設高架橋を構築し、その新設高架橋に仮線を敷設して軌道の切り替えを行い既存高架橋を撤去、その後既存高架橋があった箇所に残りの新設高架橋を構築して完成させる計画とした。

開業は2023年3月18日を予定している。

所在地：神奈川県横浜市港北区
 発注者：東急電鉄株式会社
 竣工：2016年
 業務内容：線形検討、擁壁、高架橋設計他



東急東横線 武蔵小杉駅-日吉駅間 複々線工事 詳細設計

東横線本線と車庫線が道路と交差する元住吉1号踏切は、遮断時間が長いことから解消が求められていた。車庫線を除く4線と駅部分を高架化することで、車庫線用の踏切は残るが、遮断時間の大幅短縮が図れる。陸橋で東横線を越えていた尻手黒川道路は地上へ、鉄道は高架にした(逆立体)。また、複々線化に伴う車両数増加に対応するため、元住吉車庫を拡張した。高架化された元住吉駅は2面6線構造で、外側の2線は東横線の特急、急行の通過線となる。その内側2線は東横線、一番内側の2線は目黒線である。改札階は3階となり、コンコースは広く、ちょっとした屋上庭園からのガラス越しの景色(渋谷方面)の眺望が楽しめる。

所在地：神奈川県川崎市中原区
 発注者：東急電鉄株式会社
 竣工：2008年
 業務内容：鉄道高架橋、擁壁、橋梁、駅、鉄道線形



東急大井町線 旗の台駅 改良に伴う旗の台駅付近調査設計

大井町線改良・延伸計画のうち、池上線との乗換え駅の旗の台駅改良工事である。改良前は2面2線相対式ホームで池上線への乗換え動線も悪く、利便性に欠けていた。そこで大井町線急行運転の急行退避・乗換えを行う駅としての計画で、2面4線化へ改良を行った。駅改良工事は現況駅が土構造物であったため、駅付近の土構造物を撤去して高架橋を構築することで、駅コンコース、乗換動線を作ることができた。大井町方は、現況土構造物の横に補強土壁を築造して2面4線化による線路拡幅を可能にした。また改良工事後も、急行7両運転に対応のホーム延伸、ホームドア設置の設計業務も行った。

所在地：東京都品川区
 発注者：東急電鉄株式会社
 竣工：2005年
 業務内容：鉄道高架橋、擁壁、橋梁、駅、鉄道線形





東急大井町線 大井町駅 改良・延伸工事に伴う詳細設計

大井町線の改良・延伸は、田園都市線から都心方面へ向かう経路の選択肢を増やし、田園都市線・新玉川線の混雑緩和を図ることが目的である。大井町駅では、りんかい線建設にあわせ、高架橋の改築、補強を行い、ホームは拡幅・6両対応用に延伸した。さらに、7両編成にも対応できるようにホーム延伸などの改良を行っている。

所在地：東京都品川区
発注者：東急電鉄株式会社
竣工：2009年
業務内容：駅改良、高架橋改良



千葉駅西口再開発B工区立体横断施設 詳細設計(ウエストゲート千葉)

千葉駅西口地区B工区第二種再開発事業における基盤施設(歩行者デッキ)の詳細設計を行った。

業務内容：歩行者用デッキ詳細設計



東武日光線新鹿沼～北鹿沼間 一級河川小藪川河川改修工事に係る詳細設計

小藪川の河川改修工事に伴う交差鉄道橋梁の補強工事および周辺河川構造物の改修設計を行った。

業務内容：橋脚補強設計、ボックスカルバート設計、擁壁設計



グランエミオ所沢 西口オーバーデッキ延伸設計

所沢駅東口駅ビル計画に伴う、西口歩行者デッキ延伸の詳細設計を行った。

業務内容：1柱2径間鋼床版箱桁ラーメン橋設計



東急東横線中目黒駅乗降場 延伸工事に伴う調査設計

車両10両化に伴うホーム延伸および混雑緩和のために上り線ホームの拡幅詳細設計を行った。

業務内容：ホーム延伸、拡幅詳細設計



東急東横線 祐天寺駅 改良工事に伴う調査設計

東横線と東京メトロ副都心線との相互直通運転開始により、横浜～渋谷～新宿～池袋が1つの路線で繋がり、鉄道ネットワークが拡充した。祐天寺駅では優等列車(特急、通勤特急、急行)通過線を整備し、都心方面への所用時間の短縮をめざすことを目的とした通過線の線増を行った(2面2線ホーム⇒2面3線ホーム)。線路線形検討は、既存上下線を運用しながらの仮線・本線を計画した。また、既存高架橋の拡幅は、阪神・淡路大震災規模にも耐えうる新耐震基準による設計とした。駅施設は駅利用者の利便性向上を図るため、横浜方に改札口を新設するとともに、新たにエスカレーターを設置を行った。

所在地：東京都目黒区
発注者：東急電鉄株式会社
竣工：2017年
業務内容：既存駅改良、耐震補強詳細設計



東急東横線 渋谷～代官山間 地下化工事詳細設計

東京メトロ副都心線との相互直通運転計画に伴い、渋谷～代官山地下化区間のBOXカルバート、開削区間のU型擁壁の詳細設計を行った。

業務内容：渋谷～代官山地下化(開削区間)



京急蒲田駅付近連続立体交差事業詳細設計

京急蒲田駅付近連続立体交差橋梁の内、空港線高架橋梁の詳細設計を行った。

業務内容：立体交差橋梁鉄道高架橋の設計

GDA2012



ららぽーと沼津基盤整備



古くから東海道が通る交通の要衝として栄え、静岡県内東部地域の拠点である沼津市に、三井不動産株式会社がリージョナル型ショッピングセンターである「ららぽーと沼津」を建設した計画である。計画地周辺エリアは、住宅や事業所のほか、工場が多く立地しており、商業的な賑わいは薄いエリアであり、沼津市においても近年、急速に人口流出が拡大するなどの問題が発生していた。また、計画地は国道1号線と隣接しているが、その国道1号線が開業前から渋滞ポイントであり、まちづくりを推進する一方で、交通渋滞に関する懸念も生じていた。

こうした背景から沼津市のまちづくりの新たな拠点としての役割と賑わいをもたらすべく、市街化調整区域を市街化区域へと編入する都市計画決定手続きから、開発事業がスタートした。当社はこのプロジェクトにおいて、基盤整備基本設計・実施設計及び開発許可取得手続きを担った。基盤整備の項目としては、宅地造成のほかに周辺道路の拡幅整備や交通広場の整備のほか、市街化編入と同時期に都市計画決定された地区計画に基づき敷地内に3ヵ所の緑地広場の整備を行った。

基盤整備設計の中でも特筆すべき事項として、軟弱地盤対策が挙げられる。計画地現況の多くは水田であり、地質調査を行った結果、

含水比300~900%の腐植土が深さ7mほども堆積している超軟弱地盤であることが判明した。そのため、地盤沈下の対策として、20年で20cmの残留沈下量を許容することを条件とし、軟弱地盤の圧密沈下促進をはかる「真空圧密工法」とセメント系固着材により軟弱地盤を固結させ地盤の沈下を抑える「ALICC工法」の2つを採用した。また、本計画の污水排水は、周辺道路に下水道が整備されていないことから、道路占用許可を取得した上で下水道整備が完了している箇所までポンプで圧送する污水管を整備したが、圧送管を埋設している道路も軟弱地盤であったことから、不同沈下対策として沈下対応型の高密度ポリエチレン管にするなどの設計を実施した。また、開発計画に伴い増加する雨水の流出量を調整するために設置した調整池は、建築物が立地しない範囲も駐車場などとして有効活用するため、地下式でかつ上部に車両が通行・駐車可能な製品で設計を進めた。

地下式調整池以外として、立体駐車場の1階及び広大な平面駐車場には、オンサイト調整池を採用した。オンサイト調整池は、駐車場内に設けることから駐車する車両に影響がないことや雨水が滞りせず、かつ車両が徐行することを前提に急勾配にならないように縦横断方向に設定した。その結果、工事費の削減につながり有効な土地利

用を図る整備が実現した。その他、水道管の切り直し調整や水路の付け替え整備、敷地内の交通広場整備、国道1号線の道路改良整備など多岐に渡る基盤整備の設計を実施し、当社が本事業に携わってから5年後の2019年10月にグランドオープンを迎えた。道路改良及び交通広場整備により、車とバスなどの公共交通期間の両方でアクセスが可能であり、敷地内に整備した緑地広場には多くの人が訪れていた。商業施設の基盤整備と開発行為許可取得という業務から、静岡県東部地域の多様な交流の拡大にふさわしい広域的なまちづくりに寄与することができたプロジェクトである。



所在地：静岡県沼津市
 発注者：三井不動産株式会社
 竣工：2019年
 業務内容：都市計画法開発許可申請





ハイアットリージェンシー 瀬良垣アイランド沖縄基盤整備 (業務支援)



本プロジェクトは、社会情勢の波を何度も乗り越え、長年に渡って計画を進めてきた事業者にとっては、悲願のプロジェクトであった。計画地は、恩納村・西海岸エリアの「沖縄海岸国定公園区域内」に位置し、沖縄本島恩納村の美しい海に囲まれ、瀬良垣島と沖縄本島が満潮時には海の下に沈んでしまうほどの細い1本の村道で繋がっていた場所(約1万2,000坪)であった。ほぼ「未開拓の地」に近いこの土地でホテル開発を行うとしてプロジェクトがスタートした訳である。リゾート開発を行う際には、初期段階において開発予定地の土地特性やインフラ関連の情報収集及び課題整理と解決方法の立案が計画を進める上でとても重要となる。また、都内近郊の開発計画とは違って各種法令手続きが複雑に絡み合い、それにスケジュールONするように設計作業を進めて行くことが、事業スケジュールを組み立てる上でも必須となる。そこで当社の組織設計事務所のメリットでもある「建築と土木の綿密な連携と協働作業が可能」であることを最大限に生かして計画を進め、工事完了まで一貫して行ったプロジェクトである。

所在地：沖縄県国頭郡恩納村瀬良垣
発注者：東急不動産株式会社
竣工：2018年
業務内容：基盤整備設計及び各種許認可設計における業務支援



グレースシア横浜十日市場基盤整備



当計画は横浜市が掲げる環境を軸に、経済や文化・芸術による新たな価値・賑わいを創出し続ける都市「SDGs未来都市・横浜」のモデル地区になっている緑区十日市場町周辺地区のセンター地区として位置づけられている。また、横浜市と協議を重ね、持続可能な開発目標をふまえ、「誰もが住みつけたい街づくり」、「街が子どもを育てる街」をめざした官民連携プロジェクトである。

計画地は敷地外周が道路に接しているが、各道路で高低差がある複雑な地形であった。その中、緑十日市場住宅団地地区地区計画の土地利用方針で掲げられている計画地東側の広場、計画地中央部の通り抜け動線といった外部空間の整備に必要な造成法面を計画した。また、建築計画に必要な地盤レベルを形成するにあたり、擁壁を計画した。中でも計画地南西部は建築、外構計画で限られたスペースしかなく、造成法面だけでは地盤レベル形成が困難であったことから間知ブロック積擁壁(最大高さ3m)、RC擁壁(最大高さ5m)の多段擁壁の計画とした。上部のRC擁壁と建築物ドライエリアとの取合いに大変苦労したが、十日市場地区のランドマーク施設の一助となった。

所在地：神奈川県横浜市緑区
発注者：相鉄不動産株式会社、伊藤忠都市開発株式会社
竣工：2023年(予定)
業務内容：都市計画法開発許認可申請





土気南・東区画整理事業



21世紀の街づくり事業として「生活の豊かさを深める街づくり」を目指し東急不動産株式会社の業務代行による区画整理として開発した「土気南土地区画整理事業」、続いてスタートした「土気東土地区画整理事業」はバブル崩壊後の土地価格下落などの難局を乗り越え平成22年度に完了した。JR外房線土気駅前に広がる「あすみが丘」313haと「あすみが丘東」85haを合わせた民間開発最大級規模の約400haの街づくりを約35年の歳月をかけて完結した。隣接する緑豊かな千葉市都市公園「昭和の森公園」と一体となる約500haの自然環境と調和のとれた良好な住環境となった。

所在地：千葉県千葉市緑区
 発注者：土地区画整理組合(一括代行者：東急不動産株式会社)
 竣工：2010年
 業務内容：基本構想、区画整理設計、組合設立認可図書作成、実施設計(造成設計、道路設計、調整池設計、公共下水道設計)、道路法95条-2協議、下水道認可図書作成協議、林地開発許可申請図書作成協議、事業計画変更認可図書作成協議

ちば街並み景観賞新日本街路樹百景



季美の森複合開発計画



都市近郊通勤圏での「住宅地とゴルフコースの一体型複合開発」であり、住宅地としての差別化・付加価値向上やゴルフ人気の追い風を背景に健康レクリエーション機能を積極的に盛り込んだ複合型住宅地を目指した開発。2行政に跨ることによる行政協議の難易度、複合開発による計画の難易度などの課題を乗り越え、平成2年度に開発許可を取得・着工し、平成6年に初回の住宅販売をスタートし話題を集めた。都心近郊の通勤圏に加えて、千葉・幕張のビジネスゾーンや九十九里浜などのレジャーゾーンにも近く、職・遊・住を巧みに融合した永住にふさわしい全体約200haの住環境が整った。

所在地：千葉県大網白里市、東金市
 発注者：東急不動産株式会社、株式会社エルカクエイ
 竣工：1994年
 業務内容：基本構想、申請設計、住宅開発・ゴルフ場開発それぞれの開発許可申請、農地転用申請、森林法林地開発許可申請



星天qlay(Dゾーン)基盤整備



高架下という平坦地のため、吹き込んだ雨水が溜まらないような整地計画とした。

業務内容：高架下商業施設新築に伴う都市計画法開発許可申請



唐津シーサイドホテル基盤整備(業務支援)



玄界灘と特別名勝・虹の松原に面した地でのホテル開発。開発許可の全てを一括取りまとめた。

業務内容：基盤整備設計及び各種許認可設計における業務支援



グランエミオ所沢基盤整備



所沢の街のさらなる発展をテーマとした施設において雨水調整池・擁壁の基盤整備を行った。

業務内容：都市計画法開発許可申請



東急自動車学校基盤整備



縦長な敷地形状を生かし、四輪コース、二輪コース、校舎を効率よく配置した土地利用を具現化。

業務内容：自動車教習所新築に伴う設計、及び、都市計画法等の開発許認可申請



さくらが丘Issac日吉



他社より設計業務を引継ぎ、変更許可取得、工事監修を実施した戸建敷地造成である。

業務内容：開発行為変更許可、工事監修



大槌町町方地区移転先住宅団地検討業務



2011年3月11日に発生した「東日本大震災」後における復興事業に参画し、住宅団地の造成検討を行った。

業務内容：区画整理、及び、都市計画法に伴う開発行為に必要な基本検討



グランツリー武蔵小杉・シティタワー武蔵小杉



「株式会社東京機械製作所」(TKS、以下「東京機械」)は、日本の近代産業の黎明期である明治7年に創業し、2013年2月で満140周年を迎える非常に長い歴史を持つ企業である。明治39年には国内メーカーとして初の輪転機を完成させ、以来、1世紀以上にわたり、国内最高クラスの生産設備と高い技術により、数々の新聞輪転機や各種印刷機械、周辺機器などを製作し、業界をリードし続けている。当開発は、この東京機械の玉川製造所跡地における開発である。武蔵小杉周辺エリアは、東京機械のほか日本電気やキヤノンといった企業が工場を構える戦前からの多摩川沿いの工業地帯であったが、戦後の経済発展に伴い、ホワイトカラーを中心とする中流上層所得水準層(アッパーミドル)の増加や、JR南武線、東急東横線などによる都心、横浜、川崎へのアクセスの良さを背景に、徐々に都市型住宅や商業施設などの生活利便施設と工場が混在する地域となり、さまざまな問題が発生していた。

このような地域の変化を受けて、川崎市もその都市計画マスタープランにおいて、小杉駅周辺地区を「川崎中部の広域拠点」に位置づけ、商業と業務、文化交流や研究開発の諸機能の集積を図るとともに、優良な都市型住宅の建設を誘導し、計画的な複合的土地利用による都市機能の強化を図り、商業業務エリアの形成を目指すとの全

体構想を作成した。それ以降、武蔵小杉は国内でもまれにみる高度利用開発エリアとして現在も発展を続けている。

東京機械玉川製造所跡地の計画は、この発展する武蔵小杉にふさわしい高度な土地利用が求められたことから、再開発等促進区を定める地区計画を用いた開発を行うこととなった。2012年4月に新丸子3丁目南部地区計画が都市計画決定され、既存工場の解体工事が行われた後、2012年12月より、北側A-1地区では延床面積約10万㎡の大型商業施設であるグランツリー武蔵小杉、南側B-1地区にも同じく延床面積約10万㎡の高層都市型住宅であるシティタワー武蔵小杉が整備された。

当社はこのプロジェクトにおいて、事業全体のプロジェクトマネジメントを行い、設計・工事期間中の統括と全体調整を行ったほか、環境影響評価、基盤設計、開発許可手続き、A-1地区の商業施設の設計監理を行い、多方面から事業をバックアップした。また、当事業に先立ち、一連の工場移転・跡地利用の連続プロジェクトに大きく関わっており、千葉の新工場「TKSかずさテクノセンター」については、土地選定など全体事業スキームの段階から加わり、工場用地のインフラ整備から、新設工場の設計監理まで担当した。

東京機械に関するプロジェクトでは、昭和から平成へ移り変わる時代

の中で、当社は企画・土木・建築部門を持つ総合設計コンサルタントとして、事務所や大型商業施設、工場といったさまざまな用途の設計監理のほか、全体の事業コンサルタントや環境影響評価、土木の面においても、さまざまな形でプロジェクトに携わることができた。東急グループは商業、住宅などのサービス中心の業務展開をしているが、東京機械のようなモノづくりを事業の中心に据えた企業と共創できたことは、当社としても一段階レベルアップをすることができる良い機会となっている。



所在地：神奈川県川崎市中原区
 発注者：株式会社東京機械製作所
 竣工：2016年
 業務内容：プロジェクトマネジメント、環境アセスメント、開発許可、基盤設計、建築設計(グランツリー武蔵小杉)



まちづくり(基盤整備)



南町田グランベリーパーク

本地区では、南町田拠点創出まちづくりプロジェクトとして、『まちのぜんぶが“パーク”となる』をコンセプトに、東急株式会社と町田市が連携・共同し、都市公園と商業施設の一体的再整備・再構築により「新しい暮らしの拠点」の創出を目指したまちづくりが進められていた。当社は、まちづくりの総合コンサルタントとして、当初から本地区に関わる上位計画の作成、土地区画整理事業、各種都市計画(区画整理、都市公園、用途地域、地区計画、他)の決定・変更、社会資本整備総合交付金の申請、設計業務、交通計画、環境アセスメント等に参画した。

所在地：東京都町田市
発注者：東急株式会社
竣工：2019年
業務内容：土地区画整理事業支援、都市計画コンサルタント、基盤設計、環境アセスメント

令和2年度都市景観大賞「都市空間部門」
第40回緑の都市賞
第8回プラチナ大賞「新しい時代のまちづくり賞」
第1回グリーンインフラ大賞「都市空間部門」
土木学会デザイン賞2021
LEED NC(新築部門)ゴールド認証取得
LEED ND(まちづくり部門)ゴールド認証取得

東急歌舞伎町タワー

新宿TOKYU MILANO跡地における、地上48階地下5階建て、高さ約225mの超高層ビルの開発。ホテル・映画館・劇場といったエンターテインメント、レクリエーション施設を中心とした再開発計画である。東側に隣接するシネシティ広場と一体となった空間を形成するため、広場に向けて屋外ビジョンと屋外ステージを設置している。また、地上レベルには空港直結となるリムジンバス乗り場を設け、東京の国際競争力の強化に寄与している。都市計画手法として都市再生特別地区を活用しており、当社はその提案支援業務の他、基盤設計、建築設計等を担当している。

所在地：東京都新宿区
発注者：東急株式会社
竣工：2023年(予定)
業務内容：都市計画コンサルタント、基盤設計、建築設計
J V 等：久米設計(都市コンサル・設計)



ウェストゲート千葉

施行者が千葉市である第二種市街地再開発事業。特建者側の事業支援・設計業務を担当した。

業務内容：PM業務、建築設計、基盤設計
J V 等：新日本建設、清水建設(設計業務)
※PM業務は当社単独



TOKYU BINH DUONG GARDEN CITY

ベトナムの約1,000haの新都市で、東急のまちづくりノウハウを活かし全体構想案を作成。

業務内容：全体構想案作成



渋谷二丁目17地区市街地再開発事業

渋谷ヒカリエに隣接する商業・業務の複合施設整備。都市計画手法として高度利用地区を活用。

業務内容：都市計画コンサルタント、建築設計、基盤設計
J V 等：三菱地所設計(設計・都市計画コンサル)



小田急バス登戸営業所

バス営業所を新設するプロジェクトで、設計業務ほか当社提案による自主環境アセスメントを担当した。

業務内容：建築設計、開発業務、環境アセスメント



ハーモニックレジデンス シラチャ

タイにおいて、日本人学校に隣接した邦人向けの低層サービスアパートメントの基本構想案の作成。

業務内容：基本構想案作成



渋谷ストリーム

東横線渋谷駅地下化に伴う跡地の複合ビルの新築プロジェクト。設計業務のほかPM業務を担当した。

業務内容：PM業務、建築設計、基盤設計



田町スクエア LAB×OFFICE

当社が設計監理した1984年竣工の事務所ビルのリノベーション。従来、大規模で郊外に位置し、ラボという用途上閉ざされがちな施設を、小規模で都心に立地し、街に対して発信していく新たな都市型ラボオフィスとした。

外装は外部環境に敏感で、時間や光等で表情が変化する金属メッシュガラスを採用し、新たな風景の記憶を構築している。内装は外装と調和し人の動き等で表情の変わる素材を採用し、既存建物の記憶を継承した既存躯体の活用等、新旧対比となるデザインとしている。今後需要が高まるであろう、リノベーションやレンタルラボ等の新たなプロジェクトへの先駆け。

延床面積：7,520.11㎡
 構造：SRC造
 階数：B1F～6F
 J V 等：小堀哲夫建築設計事務所(外装デザイン監修)



東急歌舞伎町タワー

新宿TOKYU MILANO跡地における、歌舞伎町の賑わいを創出するホテルおよび映画館、劇場、ライブホールなどのエンターテインメント施設からなる超高層複合施設再開発計画。地域の歴史的な文脈である「水」を外観モチーフ「噴水」として継承した、新しい歌舞伎町のシンボルとなる。都市再生への貢献として、「まちの核となる新たな都市観光拠点の創出」、「まちの回遊性にぎわいを創出する都市観光インフラの整備」「環境負荷低減、安心・安全に配慮したまちづくりの推進」の実現を目指す。

竣工：2023年1月(開業2023年4月14日(ホテルは5月19日))
 建築主：東急株式会社、株式会社東急レクリエーション
 主用途：ホテル、映画館、劇場、商業、駐車場など
 J V 等：久米設計(設計JV)
 永山祐子建築設計(外装デザイン監修)



渋谷地下街「しぶちか」

渋谷スクランブル交差点の真下にある渋谷地下街は、終戦後の駅前露店の移転先として、1957年に竣工した建物である。昨今の渋谷駅周辺の大々的な更新に伴い、設備的な面から渋谷地下街も全面的な改修を余儀なくされ、今回の改修となった。既存建物は、制定後間もない建築基準法での建築であり、現行法規上適法化させるため、法的手法や解釈を駆使し、防災評定による知事認定を受け、安全な地下街として生まれ変わった。デザイン的には「アナザースクランブル」というキーワードを掲げ、直上のスクランブル交差点と呼応しながら交錯する様を、天井ルーバーや照明のラインで表現し、未来的なイメージを創出した。

延床面積：4,978.45㎡
 構造：RC造、一部S造
 階数：B1F～1F
 J V 等：東急エージェンシー(商環境デザイン監修)



道玄坂通dogenzaka-dori ホテルインディゴ東京渋谷 (道玄坂二丁目開発プロジェクト)

道玄坂で複雑な路地裏での区画整理事業と同時に実施したホテル・オフィス・商業の複合施設開発。敷地内に通り抜けられる「通(みち)」を設けて新たな賑わいを創出する。

竣工：2023年3月(2023年9月開業予定)
 建築主：株式会社バン・パシフィック・インターナショナルホールディングス
 主用途：ホテル、オフィス、商業



箕面萱野駅前開発計画

北大阪急行線延伸による新駅、新設されるバスターミナルと一体的に行う商業施設開発。既存みのおキューズモールと連携し、ヒューマンスケールなにぎわいのある空間を目指す。

竣工予定：2024年3月
 建築主：東急不動産株式会社
 主用途：商業





代々木公園Park-PFI事業



東京都が行う初のPark-PFI事業。代々木公園と連続するランドスケープを活用し、自然環境と都市の街並みの調和を図り、新しい価値の提供を目指す。

竣工予定：2024年3月
 建築主：東急不動産株式会社
 東急株式会社
 株式会社石勝エクステリア
 株式会社東急コミュニティー
 主用途：公園、商業



等々力緑地再編整備・運営等事業



等々力緑地の広大な敷地を活用し、公共施設・民間施設を整備。大型スポーツ施設を紡ぐように自由提案施設を設置し、日常的な賑わいを創出する。

事業期間：2025年3月まで(予定)
 建築主：Todoroki Park and Link
 主用途：公共施設、民間施設



THE YOKOHAMA FRONT TOWER (横浜駅きた西口鶴屋地区第一種市街地再開発事業)



特定都市再生緊急整備地区および国家戦略特区の指定を受け、国家戦略住宅整備事業として、横浜において居住・滞在ニーズに積極的に対応する市街地再開発事業。

竣工予定：2024年3月
 建築主：横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合
 主用途：共同住宅(459戸)、ホテル、サービスアパートメント、商業
 J V 等：松田平田設計・UG都市建築(設計JV)



北仲通北地区B-1地区計画



横浜開港初期より市街化された関内エリア北端に位置し、みなとみらい線開業以降、歴史的建造物の保存・復元と地区の機能更新が進む「北仲通北地区」にて計画の中規模複合開発。

竣工予定：2027年度
 建築主：東急不動産株式会社
 京浜急行電鉄株式会社
 第一生命保険株式会社
 主用途：共同住宅、商業、オフィス
 J V 等：熊谷組(設計JV)



STORYLINE瀬長島



地域特性を最大限に生かした個性的なコンドミニアムホテルSTORYLINE。那覇空港から車で10分の利便性の高い立地に建つ、新ブランド第1号物件。

竣工予定：2024年1月(開業2024年春)
 建築主：東急株式会社
 東急不動産株式会社
 主用途：ホテル



東急ハーヴェストクラブVIALA鬼怒川溪翠



58㎡~148㎡の温泉露天風呂付客室やアウトドアテラスなど、室内外で多様なリゾート空間を創出。ワーケーション利用も想定し、リゾートに新しい価値を付加。

竣工：2022年9月
 建築主：東急不動産株式会社
 主用途：ホテル
 J V 等：ADA(インテリア)
 テン・ランドスケープアソシエイツ
 (ランドスケープデザイン)
 トモデザイン・メグロ(照明)



新綱島駅前地区第一種市街地再開発事業



当再開発事業は土地区画整理事業との一体的施行。東急新横浜線・新綱島駅の開業もあり周辺地区との調和を図り、まちづくりを推進。住宅・商業・区民文化センターからなる複合施設開発。

竣工予定：2023年10月
 建築主：新綱島駅前地区市街地再開発組合
 主用途：共同住宅(252戸)、商業、公益施設



プレミスタワー白金高輪 (高輪一丁目マンション建替事業)



70年代竣工の老朽化した2つのマンションを、マンション建替円滑化法・東京都総合設計制度を利用して増容積率を取得し建て替えた、総戸数284戸の超高層住宅。

竣工：2023年1月
 建築主：高輪一丁目共同建替計画マンション建替組合
 (参加組合員)大和ハウス工業株式会社
 主用途：共同住宅(280戸)、店舗(4戸)
 J V 等：西松建設(設計JV)



建築設計部門

※受託件名をもとに記載しておりますので、竣工名称と異なる場合もあります。

1963
1972

東急不動産
設計監理部



羽田東急ホテル
顧客：(株)羽田東急ホテル
所在地：東京都
延床面積：10,358㎡
規模：B2F~8F
竣工：1964年
客室数：60室



新静岡センター
顧客：静岡鉄道(株)
所在地：静岡県
延床面積：20,846㎡
規模：8F
竣工：1966年



東急百貨店本店
顧客：渋谷開発(株)
所在地：東京都
延床面積：41,631㎡
規模：B2F~8F
竣工：1967年



蒲田東急ビル
顧客：東急不動産(株)
所在地：東京都
延床面積：27,169㎡
規模：B1F~7F
竣工：1968年



世田谷区立千歳温水プール
顧客：世田谷区
所在地：東京都
延床面積：2,700㎡
規模：B2F~3F
竣工：1974年



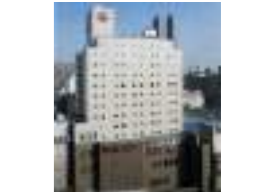
新京成新津田沼駅前再開発
顧客：新京成電鉄(株)
所在地：千葉県
延床面積：65,000㎡
規模：B2F~8F他
竣工：1977~1979年



東急我孫子ビレジ第一期
顧客：東急不動産(株)
所在地：千葉県
延床面積：50,784㎡
規模：B1F~14F
竣工：1977年
住戸数：324戸



白木金属工業大阪工場
顧客：白木金属工業(株)
所在地：大阪府
延床面積：12,401㎡
規模：2F
竣工：1977年



渋谷東急イン
顧客：全線座(株)
所在地：東京都
延床面積：10,584㎡
規模：B2F~13F
竣工：1978年
客室数：224室



毎日福岡会館(博多東急ホテル)
顧客：毎日新聞社(株)、(株)東急ホテルチェーン
所在地：福岡県
延床面積：41,929㎡
規模：B1F~13F
竣工：1969年
客室数：280室



赤坂東急ホテル
顧客：東急不動産(株)
所在地：東京都
延床面積：43,293㎡
規模：B2F~14F
竣工：1969年
客室数：535室



市が尾プラザビル
顧客：東京急行電鉄(株)
所在地：神奈川県
延床面積：20,721㎡
規模：B1F~12F
竣工：1969年
客室数：179室



東急ドエル藤澤フェニックス
顧客：東急不動産(株)
所在地：神奈川県
延床面積：14,451㎡
規模：10F
竣工：1969年
住戸数：200戸



東急鷺沼スカイドエリング
顧客：東京急行電鉄(株)
所在地：神奈川県
延床面積：7,572㎡
規模：10F
竣工：1970年
住戸数：97戸



東急ハンズ渋谷店
顧客：東急不動産(株)
所在地：東京都
延床面積：10,459㎡
規模：B3F~8F
竣工：1978年



東急ドエルアルス蒲田
顧客：東急不動産(株)
所在地：東京都
延床面積：9,000㎡
規模：B1F~5F
竣工：1978年
住戸数：88戸



目黒区立箱根保養所
顧客：目黒区
所在地：神奈川県
延床面積：3,360㎡
規模：B2F~3F
竣工：1978年



慶州東急ホテル
顧客：(株)慶州普門ホテル
所在地：韓国
延床面積：21,953㎡
規模：B1F~8F
竣工：1979年
客室数：300室



蓼科東急ゴルフコースC.H.
顧客：東急不動産(株)
所在地：長野県
延床面積：2,326㎡
規模：1F
竣工：1979年
客室数：300室



東急アパート代官山タワー
顧客：東急不動産(株)
所在地：東京都
延床面積：6,451㎡
規模：B1F~6F
竣工：1971年
住戸数：26戸



中目黒東光ビル
顧客：丸紅不動産(株)
所在地：東京都
延床面積：10,560㎡
規模：B1F~8F
竣工：1971年



世田谷区駅支所
顧客：世田谷区
所在地：東京都
延床面積：7,950㎡
規模：B3F~4F
竣工：1971年



那覇東急ホテル(新館)
顧客：(株)那覇東急ホテル
所在地：沖縄県
延床面積：12,015㎡
規模：11F
竣工：1972年
客室数：227室



層雲閣グランドホテル本館
顧客：荒井建設(株)
所在地：北海道
延床面積：7,482㎡
規模：B1F~10F
竣工：1972年
客室数：40室



東急ドエルアルス弦巻
顧客：東急不動産(株)
所在地：東京都
延床面積：12,040㎡
規模：5F
竣工：1979年
住戸数：126戸



東急ドエル奈良ビレジ
顧客：東急不動産(株)
所在地：奈良県
延床面積：58,000㎡
規模：1F~11F
竣工：I期1979年、II期1980年
住戸数：626戸



ファイブハンドレッドC.H.
顧客：東京急行電鉄(株)
所在地：静岡県
延床面積：1,933㎡
規模：B1F~2F
竣工：1980年



札幌東急インI+II
顧客：東急不動産(株)
所在地：北海道
延床面積：47,000㎡
規模：B2F~12F
竣工：I期1980年、II期1983年
客室数：574室



東急リゾートタウン浜名湖
顧客：東急不動産(株)
所在地：静岡県
延床面積：4,693㎡
規模：1F~4F
竣工：1980年
客室数：66室



新山形センター
顧客：山形交通(株)
所在地：山形県
延床面積：30,452㎡
規模：B2F~8F
竣工：1972年



東急ドエル宮崎台バースビレジ
顧客：東京急行電鉄(株)
所在地：神奈川県
延床面積：18,001㎡
規模：4F・7F
竣工：1972年
住戸数：172戸



**東急設計
コンサルタント**



札幌東急ホテル
顧客：(株)第一生命ビルディング
所在地：北海道
延床面積：19,934㎡
規模：B2F~15F
竣工：1973年
客室数：270室



東急ドエル海老名プラザ
顧客：東急不動産(株)
所在地：神奈川県
延床面積：55,861㎡
規模：7F
竣工：1973年
住戸数：650戸



磯子台パークハイツ
顧客：日本ランドシステム(株)
所在地：神奈川県
延床面積：52,000㎡
規模：5F
竣工：I,II期1980年、III,IV期1981年
住戸数：570戸



品川勤労福祉会館+分庁舎
顧客：品川区
所在地：東京都
延床面積：10,230㎡
規模：B1F~7F
竣工：1980年



高雄アンバサダーホテル
顧客：国賓大飯店股份有限公司
所在地：台湾
延床面積：44,523㎡
規模：B3F~21F
竣工：1981年
客室数：503室



ショナルガオンホテル
顧客：(株)東急ホテルズ
所在地：神奈川県
延床面積：27,312㎡
規模：8F
竣工：1981年
客室数：342室



鹿児島東急ホテル
顧客：東京急行電鉄(株)
所在地：鹿児島県
延床面積：7,990㎡
規模：B1F~10F
竣工：1981年
客室数：206室



いちじょう団地高層住宅
顧客：神奈川県
所在地：神奈川県
延床面積：16,224㎡
規模：13F
竣工：1973年
住戸数：202戸



江ノ電百貨店
顧客：江ノ島鎌倉観光(株)
所在地：神奈川県
延床面積：31,225㎡
規模：B2F~7F
竣工：1974年



東急百貨店吉祥寺店
顧客：(株)オリンピックビル
所在地：東京都
延床面積：61,366㎡
規模：B3F~9F
竣工：1974年



たちばな台パークビレジ
顧客：東京急行電鉄(株)
所在地：神奈川県
延床面積：3,478㎡
規模：2F
竣工：1974年
住戸数：36戸



新南平台東急ビル
顧客：東急不動産(株)
所在地：東京都
延床面積：17,180㎡
規模：B2F~9F
竣工：1974年



多摩川ラケットクラブ
顧客：東急不動産(株)
所在地：東京都
延床面積：7,990㎡
規模：3F
竣工：1981年



**神奈川中央交通本社ビル
(グランドホテル神奈川中平塚)**
顧客：神奈川中央交通(株)
所在地：神奈川県
延床面積：9,198㎡
規模：9F
竣工：1981年
客室数：98室



渋谷東口ビル
顧客：東京急行電鉄(株)、大栄不動産(株)
所在地：東京都
延床面積：14,566㎡
規模：B3F~11F
竣工：1981年



藤沢東急プラザ
顧客：東急不動産(株)
所在地：神奈川県
延床面積：10,581㎡
規模：B1F~6F
竣工：1982年



たまプラザ東急S.C.
顧客：東京急行電鉄(株)
所在地：神奈川県
延床面積：61,860㎡
規模：B3F~5F
竣工：1982年

主要プロジェクト一覧



北見東急ビル(東急イン)
 顧客: 北見駅前再開発組合
 所在地: 北海道
 延床面積: 34,015㎡
 規模: B2F~12F
 竣工: 1982年
 客室数: 127室



パークハイツ多摩川
 顧客: 日本ランディック(株)
 所在地: 東京都
 延床面積: 22,280㎡
 規模: 12F
 竣工: 1982年
 住戸数: 256戸



クレイモアヒルズコンドミニアム
 顧客: 東急不動産(株)
 所在地: シンガポール
 延床面積: 52,605㎡
 規模: B1F~26F
 竣工: 1982年
 住戸数: 146戸



東急ドエル神戸ポートビレッジ
 顧客: 東急不動産(株)
 所在地: 兵庫県
 延床面積: 56,000㎡
 規模: 14F
 竣工: 1982年
 住戸数: 456戸



五島美術館
 顧客: (財)五島美術館
 所在地: 東京都
 延床面積: 815㎡
 規模: 2F
 竣工: 1982年



成田東急インII
 顧客: 東急不動産(株)
 所在地: 千葉県
 延床面積: 37,000㎡
 規模: B2F~11F、12F
 竣工: I期1985年、II期1993年
 客室数: 712室



サロマ湖東急リゾート
 顧客: 東京急行電鉄(株)
 所在地: 北海道
 延床面積: 5,580㎡
 規模: 4F
 竣工: 1985年
 客室数: 77室



**金沢香林坊再開発ビル
(金沢東急ホテル)**
 顧客: 香林坊再開発組合
 所在地: 石川県
 延床面積: 32,219㎡
 規模: B3F~17F
 竣工: 1985年
 客室数: 236室



東急ストア中央林間店
 顧客: 東京急行電鉄(株)
 所在地: 神奈川県
 延床面積: 23,118㎡
 規模: B1F~3F
 竣工: 1985年



109-②
 顧客: 東京急行電鉄(株)
 所在地: 東京都
 延床面積: 10,776㎡
 規模: B3F~9F
 竣工: I期1985年、II期1987年



**東急グループ
コンピューターセンター**
 顧客: 東京急行電鉄(株)
 所在地: 神奈川県
 延床面積: 4,280㎡
 規模: B1F~2F
 竣工: 1982年



葛飾区伊豆高原保養所
 顧客: 葛飾区
 所在地: 静岡県
 延床面積: 4,280㎡
 規模: B1F~2F
 竣工: 1982年



松江東急イン
 顧客: 豊島産業(株)
 所在地: 島根県
 延床面積: 8,342㎡
 規模: 9F
 竣工: 1983年
 客室数: 180室



役員研修センター兼保養所
 顧客: (株)東急エージェンシー
 所在地: 静岡県
 延床面積: 918㎡
 規模: 2F
 竣工: 1983年



越谷パークハイツ
 顧客: 日本ランディック(株)
 所在地: 埼玉県
 延床面積: 30,315㎡
 規模: 8F
 竣工: 1985年
 住戸数: 339戸



東扇島流通センター
 顧客: (株)東急ストア
 所在地: 神奈川県
 延床面積: 30,000㎡
 規模: 2F
 竣工: I期1985年、II期1988年



東京機械製作所本社ビル
 顧客: (株)東京機械製作所
 所在地: 東京都
 延床面積: 7,365㎡
 規模: B1F~6F
 竣工: 1985年



三富ビル
 顧客: 三富燃料(株)
 所在地: 東京都
 延床面積: 15,000㎡
 規模: B1F~7F、B2F~11F
 竣工: I期1985年、II期1992年



横浜国際女学院翠陵高等学校
 顧客: (学)堀井学園
 所在地: 神奈川県
 延床面積: 13,000㎡
 規模: 3F
 竣工: 1986年



イトーヨーカドー武蔵小杉店
 顧客: 東急不動産(株)
 所在地: 神奈川県
 延床面積: 19,580㎡
 規模: B1F~6F
 竣工: 1983年



江坂東急ビル(東急イン・ハンズ)
 顧客: 東急不動産(株)
 所在地: 大阪府
 延床面積: 42,581㎡
 規模: B1F~14F
 竣工: 1983年
 客室数: 361室



**町田ターミナルプラザ
(東急ハンズ)**
 顧客: 東京急行電鉄(株)
 所在地: 東京都
 延床面積: 20,310㎡
 規模: B2F~8F
 竣工: 1983年



パークハイツ鶴見
 顧客: 日本ランディック(株)
 所在地: 神奈川県
 延床面積: 37,120㎡
 規模: 7F
 竣工: 1983年
 住戸数: 377戸



東急ドエル名谷ビレッジ
 顧客: 東急不動産(株)
 所在地: 兵庫県
 延床面積: 18,078㎡
 規模: 14F
 竣工: 1983年
 住戸数: 152戸



多摩中央警察署+多摩署
 顧客: 警視庁
 所在地: 東京都
 延床面積: 8,400㎡
 規模: 7F
 竣工: 1986年



筑波東急ゴルフクラブC.H
 顧客: 東急不動産(株)
 所在地: 茨城県
 延床面積: 3,086㎡
 規模: 2F
 竣工: 1987年



三宮東急ハンズ
 顧客: 漢興業(株)
 所在地: 兵庫県
 延床面積: 10,730㎡
 規模: B2F~7F
 竣工: 1987年



東急ドエルアルス多摩川
 顧客: 東急不動産(株)
 所在地: 東京都
 延床面積: 41,150㎡
 規模: 14F
 竣工: 1987年
 住戸数: 461戸



芦花公園プレステージ
 顧客: 東急不動産(株)、三井物産(株)
 所在地: 東京都
 延床面積: 21,760㎡
 規模: B1F~10F
 竣工: 1987年
 住戸数: 158戸



宮古島東急リゾートI+II
 顧客: 東京急行電鉄(株)
 所在地: 沖縄県
 延床面積: 25,000㎡
 規模: B1F~6F、9F
 竣工: I期1984年、II期1993年
 客室数: 248室



パラオバシフィックリゾート
 顧客: パシフィックアイランズ
 デベロップメント
 所在地: ペラウ共和国
 延床面積: 10,480㎡
 規模: 2F
 竣工: 1984年
 客室数: 150室



東急ドエルエクシード
 顧客: 東京急行電鉄(株)
 所在地: 神奈川県
 延床面積: 11,477㎡
 規模: 14F
 竣工: 1984年
 住戸数: 105戸



上野毛コートハウス
 顧客: 日本ランディック(株)
 所在地: 東京都
 延床面積: 9,200㎡
 規模: 3F
 竣工: 1984年
 住戸数: 96戸



東急ドエルアルスあざみ野
 顧客: 東急不動産(株)
 所在地: 神奈川県
 延床面積: 25,000㎡
 規模: 11F
 竣工: 1984年
 住戸数: 257戸



東急桜丘ビル
 顧客: 東京急行電鉄(株)
 所在地: 東京都
 延床面積: 6,760㎡
 規模: 9F
 竣工: 1987年



芝蔭ビル
 顧客: 三菱信託銀行(株)
 所在地: 東京都
 延床面積: 10,500㎡
 規模: B1F~8F
 竣工: 1987年



**東急ケーブルテレビ
放送センター**
 顧客: 東京急行電鉄(株)
 所在地: 神奈川県
 延床面積: 3,065㎡
 規模: 4F
 竣工: 1987年



今井浜東急リゾート
 顧客: 東京急行電鉄(株)、東急観光(株)
 所在地: 静岡県
 延床面積: 15,660㎡
 規模: B3F~6F
 竣工: 1988年
 客室数: 139室



東急ハーヴェストクラブ
 顧客: 東急不動産(株)
 所在地: 長野県
 延床面積: 6,938㎡
 規模: 4F
 竣工: 1988年
 客室数: 90室



東横学園女子短期大学本館
 顧客: (学)五島育英会
 所在地: 東京都
 延床面積: 7,262㎡
 規模: B1F~3F
 竣工: 1984年



ウノサワ東急ビル
 顧客: (株)宇野沢組鉄工所、東急不動産(株)
 所在地: 東京都
 延床面積: 17,039㎡
 規模: B1F~7F
 竣工: 1984年



京セラ東京中央研究所
 顧客: 京セラ(株)
 所在地: 東京都
 延床面積: 9,769㎡
 規模: B1F~6F
 竣工: 1984年



台東区霧ヶ峰少年自然の家
 顧客: (株)台東区
 所在地: 長野県
 延床面積: 6,159㎡
 規模: 2F
 竣工: 1984年



野田市総合公園体育館
 顧客: 住宅・都市整備公団
 所在地: 千葉県
 延床面積: 5,400㎡
 規模: 2F
 竣工: 1984年



流山東急ドエルステージ21
 顧客: 東急不動産(株)
 所在地: 千葉県
 延床面積: 16,900㎡
 規模: 12F
 竣工: 1988年
 住戸数: 288戸



月島本社ビル
 顧客: 中外貿易(株)
 所在地: 東京都
 延床面積: 7,160㎡
 規模: B1F~7F
 竣工: 1988年



**東急不動前ビル
(イメージスタジオ109)**
 顧客: 東京急行電鉄(株)
 所在地: 東京都
 延床面積: 9,465㎡
 規模: B2F~7F
 竣工: 1988年



創価学会城西会館
 顧客: 大京観光(株)
 所在地: 東京都
 延床面積: 7,470㎡
 規模: B1F~4F
 竣工: 1988年



ハイビスカスゴルフクラブC.H
 顧客: 東京急行電鉄(株)
 所在地: 宮崎県
 延床面積: 4,293㎡
 規模: 2F
 竣工: 1989年

主要プロジェクト一覧



東急ハーヴェストクラブ勝浦
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：千葉県
 延床面積：8,480㎡
 規模：B1F~13F
 竣工：1989年
 客室数：98室



東急セブンハンドレッドクラブ C.H
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：千葉県
 延床面積：9,110㎡
 規模：2F
 竣工：1989年



勝浦リゾートマンション (パッセージ勝浦)
 顧客：川鉄不動産(株)
 所在地：千葉県
 延床面積：10,767㎡
 規模：14F
 竣工：1989年
 住戸数：164戸



東急蓼科リゾートビラ
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：長野県
 延床面積：13,000㎡
 規模：2F
 竣工：1989年
 客室数：164室



エフ・ティハ王子ビル
 顧客：個人
 所在地：東京都
 延床面積：3,427㎡
 規模：8F
 竣工：1989年



裏磐梯デコ平ホテル・スキーセンター
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：福島県
 延床面積：ホテル13,000㎡、
 スキーセンター11,000㎡
 規模：ホテルB1F~4F、
 スキーセンターB1F~2F
 竣工：1990年
 客室数：102室



ハーヴェストクラブ天城高原
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：静岡県
 延床面積：12,645㎡
 規模：B1F~8F
 竣工：1991年
 客室数：120室



中山駅前再開発
 顧客：(株)東急ストア、
 永和不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：19,000㎡
 規模：B1F~6F、B1F~5F
 竣工：1991年



香川東急ビル
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：大阪府
 延床面積：7,037㎡
 規模：7F
 竣工：1991年



コスモスロズ返子
 顧客：(株)リクルートコスモス
 所在地：神奈川県
 延床面積：17,320㎡
 規模：B2F~3F
 竣工：1991年
 住戸数：100戸



南平台ビル
 顧客：(株)日交総本社
 所在地：東京都
 延床面積：4,514㎡
 規模：8F
 竣工：1989年



千葉TNビル
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：千葉県
 延床面積：20,590㎡
 規模：12F
 竣工：1989年



東急観光大橋ビル
 顧客：東急観光(株)
 所在地：東京都
 延床面積：7,730㎡
 規模：7F
 竣工：1989年



東急リパブル南町田研修所
 顧客：東京急行電鉄(株)、
 東急リパブル(株)
 所在地：東京都
 延床面積：5,766㎡
 規模：8F
 竣工：1989年



土気あすみが丘パズモール
 顧客：(株)東急ストア
 所在地：千葉県
 延床面積：2,285㎡
 規模：3F
 竣工：1989年



ステージ21磯子
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：33,000㎡
 規模：B1F~4F
 竣工：1991年
 住戸数：232戸



ライフ東京総合センター
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：16,980㎡
 規模：B1F~5F
 竣工：1991年



亜細亜大学7号館
 顧客：(学)亜細亜学園
 所在地：東京都
 延床面積：6,400㎡
 規模：B1F~5F
 竣工：1991年



東京工業大学体育館
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：4,814㎡
 規模：B1F~3F
 竣工：1991年



ニセコ東急ゴルフコースC.H
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：北海道
 延床面積：2,500㎡
 規模：2F
 竣工：1992年



湯布院健康温泉館
 顧客：三井信託銀行(株)
 所在地：大分県
 延床面積：2,533㎡
 規模：1F
 竣工：1990年



西播磨ゴルフ場C.H
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：兵庫県
 延床面積：4,052㎡
 規模：2F
 竣工：1990年



稲取ゴルフ場C.H
 顧客：伊豆急行(株)
 所在地：静岡県
 延床面積：4,100㎡
 規模：2F
 竣工：1990年



ハーヴェストクラブ浜名湖
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：静岡県
 延床面積：10,335㎡
 規模：4F
 竣工：1990年
 客室数：120室



グランドホテル神奈中秦野
 顧客：神奈川中央交通(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：15,240㎡
 規模：B2F~9F
 竣工：1990年
 客室数：102室



東条ゴルフ場C.H
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：兵庫県
 延床面積：7,021㎡
 規模：2F
 竣工：1992年



青葉台駅ビル
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：18,300㎡
 規模：B1F~8F
 竣工：1992年



宇田川町共同ビル (beam 洗谷)
 顧客：東急不動産(株) 他
 所在地：東京都
 延床面積：11,330㎡
 規模：B3F~7F
 竣工：1992年



リゾート129伊豆高原V
 顧客：伊豆急行(株)
 所在地：静岡県
 延床面積：5,040㎡
 規模：B1F~2F
 竣工：1992年
 客室数：52室



リゾート129碓氷石V
 顧客：伊豆急行(株)
 所在地：静岡県
 延床面積：4,800㎡
 規模：B1F~5F
 竣工：1992年
 客室数：36室



ヴィヴィンクコースト伊弉島
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：静岡県
 延床面積：4,670㎡
 規模：4F
 竣工：1990年



二俣川共同ビル (相鉄ライフ)
 顧客：相模鉄道(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：15,660㎡
 規模：B1F~6F
 竣工：1990年



プレステージ山梨田山
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：5,920㎡
 規模：B1F~3F
 竣工：1990年
 住戸数：35戸



東急ドエルアルス大倉山
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：16,000㎡
 規模：B1F~7F
 竣工：1990年
 住戸数：200戸



イトーピア網島コンドミニアム
 顧客：伊藤忠不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：19,260㎡
 規模：B1F~14F
 竣工：1990年
 住戸数：168戸



東急南平台ビル
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：7,150㎡
 規模：B2F~5F
 竣工：1992年



日本カトリック中央会館
 顧客：(宗)カトリック中央
 協議会
 所在地：東京都
 延床面積：9,300㎡
 規模：B1F~8F
 竣工：1992年



三井海上伊豆高原研修センター
 顧客：伊豆急行(株)
 所在地：静岡県
 延床面積：6,250㎡
 規模：2F
 竣工：1993年
 客室数：34室



500フォレスト迎賓館
 顧客：高砂熱学工業(株)
 所在地：静岡県
 延床面積：1,448㎡
 規模：3F
 竣工：1993年



東急天城リゾートビラ
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：静岡県
 延床面積：11,000㎡
 規模：B1F~8F
 竣工：1990年
 客室数：109室



かしわ台集合住宅
 顧客：相模鉄道(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：26,000㎡
 規模：11F
 竣工：1990年
 住戸数：260戸



栄ガスビル
 顧客：三井信託銀行(株)
 所在地：愛知県
 延床面積：19,913㎡
 規模：B4F~13F
 竣工：1990年



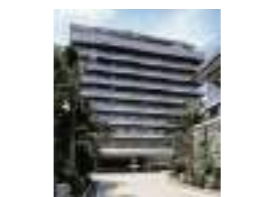
堀東急ビル西棟・東棟
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：大阪府
 延床面積：8,000㎡
 規模：7F、5F
 竣工：西棟1990年、
 東棟1991年



中目黒スクエア
 顧客：目黒区
 所在地：東京都
 延床面積：4,910㎡
 規模：9F
 竣工：1990年



季美の森ゴルフクラブC.H
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：千葉県
 延床面積：3,940㎡
 規模：2F
 竣工：1993年



ハーヴェストクラブ伊東
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：静岡県
 延床面積：18,180㎡
 規模：B1F~10F
 竣工：1993年
 客室数：170室



ハーヴェストクラブ箱根明神平
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：3,982㎡
 規模：B1F~2F
 竣工：1993年
 客室数：39室



美しが丘とうきゅうS.C
 顧客：(株)九州開発、
 (株)筑紫野エステート
 所在地：福岡県
 延床面積：50,220㎡
 規模：5F
 竣工：1993年



青葉駅前再開発 (東急百貨店)
 顧客：東京急行電鉄(株) 他
 所在地：神奈川県
 延床面積：東急青葉台ビル43,000㎡、
 青葉台YSビル8,000㎡
 規模：東急青葉台ビルB3F~7F、
 青葉台YSビルB1F~5F
 竣工：1993年

主要プロジェクト一覧



藤和ライブタウン下永谷
 顧客：藤和不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：24,710㎡
 規模：3F
 竣工：1993年
 住戸数：205戸



あすみが丘ガーデンコートI・II
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：千葉県
 延床面積：39,000㎡
 規模：B1F~8F
 竣工：1993年



シティ能見台ふれあいの街
 顧客：熊谷組(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：68,190㎡
 規模：B1F~10F
 竣工：1993年
 住戸数：624戸



ガーデンコート筑波
 顧客：東洋不動産(株)
 所在地：茨城県
 延床面積：15,071㎡
 規模：13F
 竣工：1993年
 住戸数：130戸



大橋東急ビル
 顧客：東急バス(株)
 所在地：東京都
 延床面積：4,500㎡
 規模：B1F~7F
 竣工：1993年



青葉台東急フォーラム
 顧客：(株)東急コミュニティー
 所在地：神奈川県
 延床面積：3,570㎡
 規模：B1F~6F
 竣工：1997年
 客室数：42室



白馬東急ホテル
 顧客：東急ホテルチェーン(株)
 所在地：長野県
 延床面積：10,386㎡
 規模：B1F~5F
 竣工：1997年
 客室数：100室



東急ドエルアルズ逗子
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：6,000㎡
 規模：7F
 竣工：1997年
 住戸数：66戸



グランツォーベル小石川
 顧客：有楽土地(株)
 所在地：東京都
 延床面積：3,878㎡
 規模：B1F~6F
 竣工：1997年
 住戸数：37戸



マークス亀戸
 顧客：レールシティ東開発(株)
 所在地：東京都
 延床面積：19,171㎡
 規模：B1F~14F
 竣工：1997年
 住戸数：208戸



恵比寿東急ビル
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：11,380㎡
 規模：B1F~10F
 竣工：1993年



世田谷ビジネススクエア
 顧客：東急急行電鉄(株)、東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：96,602㎡
 規模：B2F~29F+低層3棟
 竣工：1993年



土気あすみが丘プラザ
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：千葉県
 延床面積：4,590㎡
 規模：B1F~4F
 竣工：1993年



有田東急ゴルフ場C.H.
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：和歌山県
 延床面積：3,433㎡
 規模：2F
 竣工：1994年



サンウェルS.C.東習志野
 顧客：三井信託銀行(株)
 所在地：千葉県
 延床面積：51,123㎡
 規模：B1F~5F
 竣工：1994年



東急ドエルアルズ横浜台町
 顧客：伊藤忠商事(株)、東急不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：4,865㎡
 規模：B1F~11F
 竣工：1997年
 住戸数：53戸



アーベイン志木キッズガーデン
 顧客：(株)リブラン
 所在地：埼玉県
 延床面積：5,709㎡
 規模：B1F~7F
 竣工：1997年
 住戸数：72戸



土気あすみが丘ガーデンコート
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：千葉県
 延床面積：12,617㎡
 規模：B1F~14F
 竣工：1997年
 住戸数：140戸



プレステージ浜田山ガーデンズ
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：4,392㎡
 規模：B1F~3F
 竣工：1997年
 住戸数：50戸



東急ドエルアルズ堺フェニックス
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：大阪府
 延床面積：15,610㎡
 規模：14F
 竣工：1997年
 住戸数：194戸



聖路加レジデンス棟(内装設備)
 顧客：三井不動産(株)、東急不動産(株)他
 所在地：東京都
 延床面積：42,000㎡
 規模：B4F~38F
 竣工：1994年
 客室数：ケアレジデンス225室、新阪急ホテル100室



東急ドエルアルズカイクタワー川口
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：埼玉県
 延床面積：12,022㎡
 規模：25F
 竣工：1994年
 住戸数：129戸



グリーンcommons川越I
 顧客：日鉄ライフ(株)、日本ランディック(株)他
 所在地：埼玉県
 延床面積：34,500㎡
 規模：8F
 竣工：1994年
 住戸数：360戸



太田耕造記念館
 顧客：(学)亜細亜学園
 所在地：東京都
 延床面積：8,857㎡
 規模：8F
 竣工：1994年



日石薬科保養所
 顧客：日本石油(株)
 所在地：長野県
 延床面積：36,000㎡
 規模：B1F~2F
 竣工：1995年
 客室数：21室



リーフガーデン和泉中央
 顧客：日鉄ライフ(株)、藤和不動産(株)
 所在地：大阪府
 延床面積：24,628㎡
 規模：B1F~9F
 竣工：1997年
 住戸数：240戸



蓼科リゾートヴィラ第20期
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：長野県
 延床面積：1,900㎡
 規模：2F
 竣工：1997年
 客室数：30室



東京都市大学横浜キャンパス
 顧客：(学)五島育英会
 所在地：神奈川県
 延床面積：2,059㎡/2,075㎡
 規模：B1F~6F
 竣工：1997年



東急ドエルフォンテーヌブロー青葉台
 顧客：東急急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：13,327㎡
 規模：B1F~5F 1棟/5F 1棟
 竣工：1998年
 住戸数：137戸



プレステージ池田山クレアメント
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：3,787㎡
 規模：B2F~3F
 竣工：1998年
 住戸数：21戸



ニューサテライトホテル芝浦
 顧客：(株)サテライト不動産、(株)日交サテライト
 所在地：東京都
 延床面積：15,450㎡
 規模：B2F~14F
 竣工：1995年
 客室数：160室



日吉駅ビル(東急百貨店)
 顧客：東急急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：38,458㎡
 規模：B2F~5F
 竣工：1995年



プレステージ目黒東山
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：5,000㎡
 規模：B1F~4F
 竣工：1995年
 住戸数：58戸



ライフヒルズ飯能美杉台
 顧客：日鉄ライフ(株)
 所在地：埼玉県
 延床面積：9,000㎡
 規模：3F~7F 3棟
 竣工：1995年
 住戸数：100戸



平塚スポーツセンター
 顧客：神奈川中央交通(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：10,431㎡
 規模：6F
 竣工：1995年



千葉ニュータウンライフスクエア滝野公園
 顧客：日鉄ライフ(株)
 所在地：千葉県
 延床面積：23,874㎡
 規模：14F 1棟、1F 1棟、8F 2棟、4F 8棟、共用棟1F 1棟
 竣工：1998年
 住戸数：239戸



オーベル戸田公園楽舎番館
 顧客：有楽土地(株)
 所在地：埼玉県
 延床面積：8,397㎡
 規模：13F
 竣工：1998年
 住戸数：85戸



馬込沢ランドショッピングセンター
 顧客：レランドミヤザキ(株)
 所在地：千葉県
 延床面積：17,157㎡
 規模：B2F~5F
 竣工：1998年



イトヨーカ堂白井店
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：千葉県
 延床面積：40,507㎡
 規模：5F
 竣工：1998年



富士急トーマスランド
 顧客：富士急行(株)
 所在地：山梨県
 延床面積：777㎡
 規模：1F 6棟
 竣工：1998年



湘南ライブタウンS.C
 顧客：(株)東急ストア 他
 所在地：神奈川県
 延床面積：57,111㎡
 規模：6F
 竣工：1996年



上大岡駅前再開発ビル(構造)
 顧客：京浜急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：99,000㎡
 規模：B3F~11F
 竣工：1996年



フェアロージュ淵野辺
 顧客：新日本製鐵(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：12,197㎡
 規模：3F
 竣工：1996年
 住戸数：138戸



ガーデンシティ八千代
 顧客：東洋不動産(株)
 所在地：千葉県
 延床面積：15,288㎡
 規模：14F
 竣工：1996年
 住戸数：167戸



大井町K-1ビル
 顧客：かんべ土地建物(株)
 所在地：東京都
 延床面積：37,947㎡
 規模：B4F~7F
 竣工：1997年



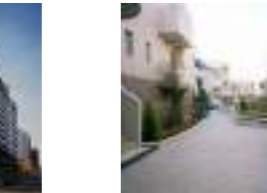
東急目黒線目黒(地下)駅
 顧客：東急急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：3,073㎡
 規模：B4F~1F
 竣工：1998年



警視庁戸塚警察署
 顧客：警視庁
 所在地：東京都
 延床面積：6,410㎡
 規模：B2F~5F
 竣工：1998年



アスタくづか番館北棟
 顧客：神戸市
 所在地：兵庫県
 延床面積：18,552㎡
 規模：B1F~13F
 竣工：1999年
 住戸数：108戸



東急ドエルウィンディコートたまプラーザ
 顧客：東急急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：4,500㎡
 規模：3F
 竣工：1999年
 住戸数：37戸



東急ドエルローブルたまプラーザ
 顧客：東急急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：16,788㎡
 規模：B1F~7F
 竣工：1999年
 住戸数：154戸

主要プロジェクト一覧



サウスフロントタワー町田
 顧客：原町田再開発組合
 所在地：東京都
 延床面積：42,584㎡
 規模：B3F~30F
 竣工：1999年
 住戸数：279戸



東急ドエルアルス鷺沼ネクステージ
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：7,850㎡
 規模：14F
 竣工：1999年
 住戸数：78戸



プレステージ赤坂氷川町
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：6,919㎡
 規模：B2F~6F
 竣工：1999年
 住戸数：34戸



辰巳ベルタワー
 顧客：東邦港運(株)
 所在地：東京都
 延床面積：22,783㎡
 規模：B1F~32F
 竣工：1999年
 住戸数：209戸



南大沢パークヒルズ
 顧客：日鉄ライフ(株)
 所在地：東京都
 延床面積：18,861㎡
 規模：14F
 竣工：1999年
 住戸数：176戸



相鉄線南万騎が原駅改良
 顧客：相模鉄道(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：868㎡
 規模：2F
 竣工：2000年



セルリアンタワー
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：105,956㎡
 規模：B6F~41F
 竣工：2001年



クリオレジダンス津田沼
 顧客：明和地所(株)
 所在地：千葉県
 延床面積：19,672㎡
 規模：B1F~10F
 竣工：2001年
 住戸数：159戸



東急ドエルイディオスあざみ野
 顧客：東京急行電鉄(株)、東急不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：35,581㎡
 規模：B1F~3F
 竣工：2001年
 住戸数：321戸



ガーデンズパッパ武蔵野の杜
 顧客：有楽土地(株)、日鉄ライフ(株)
 所在地：東京都
 延床面積：24,563㎡
 規模：B2F~8F
 竣工：2001年
 住戸数：259戸



オーベルグランディオ上大岡
 顧客：有楽土地(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：38,524㎡
 規模：B1F~7F
 竣工：1999年
 住戸数：346戸



第2明和ビル
 顧客：明和地所(株)
 所在地：東京都
 延床面積：2,747㎡
 規模：9F
 竣工：1999年



グランベリーモール
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：25,528㎡
 規模：1F
 竣工：1999年



東急ハンズ心斎橋店
 顧客：(株)東急ハンズ
 所在地：大阪府
 延床面積：15,449㎡
 規模：B2F~10F
 竣工：1999年



イトーヨーカ堂成田店 成田ユアエルム
 顧客：京成不動産(株)
 所在地：千葉県
 延床面積：84,354㎡
 規模：B2F~7F
 竣工：1999年



三番町東急ビル
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：13,737㎡
 規模：B1F~11F
 竣工：2001年



イトーヨーカ堂 やまとオークシティ
 顧客：(株)イトーヨーカ堂
 所在地：神奈川県
 延床面積：85,395㎡
 規模：B1F~6F
 竣工：2001年



ビッグウィーク伊豆高原
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：静岡県
 延床面積：2,814㎡
 規模：B1F~2F
 竣工：2001年
 客室数：26室



東急ハーヴェスクラブ旧軽井沢
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：長野県
 延床面積：16,023㎡
 規模：3F
 竣工：2001年
 客室数：156室



慶応大学看護医療学部
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：7,772㎡
 規模：3F
 竣工：2001年



ビッグウィーク京都
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：京都府
 延床面積：2,497㎡
 規模：5F
 竣工：1999年
 客室数：21室



ビッグウィーク軽井沢
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：長野県
 延床面積：2,823㎡
 規模：2F
 竣工：1999年
 客室数：30室



東急ハーヴェスクラブ山中湖
 顧客：富士急行(株)
 所在地：山梨県
 延床面積：17,594㎡
 規模：B1F~6F
 竣工：1999年
 客室数：100室



警視庁高井戸警察署
 顧客：警視庁
 所在地：東京都
 延床面積：9,297㎡
 規模：B1F~8F
 竣工：1999年



東扇島流通センター精米施設
 顧客：(株)東急ストア
 所在地：神奈川県
 延床面積：2,600㎡
 規模：2F
 竣工：1999年



昭島市保健福祉センター「あいぼっく」
 顧客：昭島市
 所在地：東京都
 延床面積：6,170㎡
 規模：B1F~4F
 竣工：2001年



アスタくづかー番館南棟
 顧客：(株)環境再開発研究所
 所在地：兵庫県
 延床面積：6,930㎡
 規模：B1F~5F
 竣工：2002年



JR東急目黒ビル
 顧客：東京急行電鉄(株)、東日本旅客鉄道(株)
 所在地：東京都
 延床面積：52,221㎡
 規模：B4F~17F
 竣工：2002年



メイフェアパークス溝の口
 顧客：大和土地建物(株)、東洋不動産(株)他
 所在地：神奈川県
 延床面積：52,672㎡
 規模：B1F~14F
 竣工：2002年
 住戸数：547戸



上北沢コートテラス
 顧客：(株)新日鉄都市開発、三菱商事(株)
 所在地：東京都
 延床面積：9,574㎡
 規模：B1F~3F
 竣工：2002年
 住戸数：82戸



渋谷マークシティ
 顧客：東京急行電鉄(株)、東京地下鉄(株)、京王電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：138,620㎡
 規模：B2F~25F
 竣工：2000年



フェスタ立花
 顧客：(株)環境再開発研究所
 所在地：兵庫県
 延床面積：81,360㎡
 規模：B1F~27F
 竣工：2000年
 住戸数：359戸



大磯プレイス
 顧客：東急不動産(株)、オリックス(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：18,769㎡
 規模：B1F~5F
 竣工：2000年
 住戸数：137戸



フェアロージュ南平台
 顧客：新日本製鐵(株)
 所在地：東京都
 延床面積：B1F~4F
 竣工：2000年
 住戸数：32戸



キャナルワフタワーズ
 顧客：東急不動産(株)、新日本製鐵(株)
 所在地：東京都
 延床面積：72,791㎡
 規模：B1F~36F
 竣工：2000年
 住戸数：498戸



グランフォーレ戸塚ヒルブリーズ
 顧客：東急不動産(株)、中央商事(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：21,032㎡
 規模：B1F~10F
 竣工：2002年
 住戸数：206戸



グランチェルト大倉山
 顧客：有楽土地(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：12,135㎡
 規模：B1F~8F~14F
 竣工：2002年
 住戸数：323戸



川崎ダイヤビル
 顧客：(株)三菱銀行
 所在地：神奈川県
 延床面積：7,881㎡
 規模：9F
 竣工：2002年



ビッグウィーク箱根強羅
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：4,590㎡
 規模：B1F~5F
 竣工：2002年
 客室数：30室



警視庁大森警察署
 顧客：警視庁
 所在地：東京都
 延床面積：7,568㎡
 規模：B1F~8F
 竣工：2002年



仲町台パークヒルズ
 顧客：日鉄ライフ(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：17,400㎡
 規模：10F
 竣工：2000年
 住戸数：184戸



渋谷新南口ビル
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：9,013㎡
 規模：B1F~9F
 竣工：2000年



土気あすみが丘 プランニューモール
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：千葉県
 延床面積：34,579㎡
 規模：3F
 竣工：2000年



イエローハット目黒青葉台ビル
 顧客：(株)イエローハット
 所在地：東京都
 延床面積：18,962㎡
 規模：B2F~7F
 竣工：2000年



渋谷エクセルホテル東急
 顧客：京王電鉄(株)、帝都高速度交通営団
 所在地：東京都
 延床面積：45,926㎡
 規模：B2F~25F
 竣工：2000年
 客室数：408室



足立区島根小学校
 顧客：足立区
 所在地：東京都
 延床面積：7,800㎡
 規模：4F
 竣工：2002年



東急設計
 コンサルタント



リビオシティウイングフィールド
 顧客：(株)新日鉄都市開発
 所在地：神奈川県
 延床面積：30,428㎡
 規模：14F
 竣工：2003年
 住戸数：190戸



プレステージ浜田山ジヴェルニー
 顧客：東急不動産(株)、(株)新日鉄都市開発
 所在地：東京都
 延床面積：11,721㎡
 規模：B1F~4F
 竣工：2003年
 住戸数：105戸



幕張ベイタウンマリンフォート
 顧客：三菱地所(株)、東急不動産(株)他
 所在地：千葉県
 延床面積：54,964㎡
 規模：B1F~19F
 竣工：2003年
 住戸数：390戸

主要プロジェクト一覧



住吉山手コモンズ
 顧客：三菱電機ライフサービス(株)
 所在地：兵庫県
 延床面積：20,942㎡
 規模：B1F～5F
 竣工：2003年
 住戸数：229戸



ルネグランディル 千里の森
 顧客：総合地所(株)
 所在地：大阪府
 延床面積：46,667㎡
 規模：B1F～4F
 竣工：2003年
 住戸数：359戸



目黒東急ビル
 顧客：(株)モリモト、東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：9,713㎡
 規模：7F
 竣工：2003年



八柱駅第2ビル
 顧客：新京成電鉄(株)
 所在地：千葉県
 延床面積：8,339㎡
 規模：6F
 竣工：2003年



恵比寿ビジネスタワー
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：28,260㎡
 規模：18F
 竣工：2003年



戸塚プライズビル
 顧客：中央商事(株)、東急不動産(株)他
 所在地：神奈川県
 延床面積：54,512㎡
 規模：B2F～12F
 竣工：2006年
 住戸数：408戸



田園ステーションテラス
 顧客：オリックス不動産(株)、東急不動産(株)他
 所在地：神奈川県
 延床面積：29,972㎡
 規模：B1F～6F
 竣工：2006年
 住戸数：308戸



イトーヨーカ堂アリオ亀有
 顧客：(株)イトーヨーカ堂
 所在地：東京都
 延床面積：137,829㎡
 規模：B1F～PH2F、5F
 竣工：2006年



東急ハーヴェストクラブ那須
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：栃木県
 延床面積：16,366㎡
 規模：B2F～3F
 竣工：2006年
 客室数：144室



リフレッシュプラザ柏
 顧客：(独)都市再生機構
 所在地：千葉県
 延床面積：7,896㎡
 規模：B1F～3F
 竣工：2006年



イトーヨーカ堂立場店
 顧客：神奈川中央交通(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：58,350㎡
 規模：4F
 竣工：2003年



東急ハーヴェスクラブ箱根甲子園
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：18,015㎡
 規模：5F
 竣工：2003年
 客室数：151室



大井町線大井町駅改良
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：2,400㎡
 規模：B1F～2F
 竣工：2003年



アスタくづか三番館
 顧客：神戸市
 所在地：兵庫県
 延床面積：57,343㎡
 規模：B1F～29F
 竣工：2004年



コレド日本橋(構造・設備設計)
 顧客：三井不動産(株)、東京急行電鉄(株)、東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：98,213㎡
 規模：B4F～20F
 竣工：2004年



アスタプラザイスト
 顧客：神戸市
 所在地：兵庫県
 延床面積：30,045㎡
 規模：B1F～16F
 竣工：2007年
 住戸数：76戸



京王高幡不動駅ビル
 顧客：京王電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：28,546㎡
 規模：B1F～6F
 竣工：2007年



みなとみらい ミッドスクエア ザ・タワーレジデンス
 顧客：オリックス不動産(株)、(株)ランド他
 所在地：神奈川県
 延床面積：82,092㎡
 規模：B1F～31F
 竣工：2007年
 住戸数：650戸



ドレッセ美しい森フロラージュ(イーストビル・ウエストビル)
 顧客：東京急行電鉄(株)他
 所在地：神奈川県
 延床面積：29,067㎡
 規模：B1F～5F
 竣工：2007年
 住戸数：257戸



三田伊皿子坂COMFORIA
 顧客：NTT都市開発(株)
 所在地：東京都
 延床面積：10,726㎡
 規模：B2F～11F
 竣工：2007年
 住戸数：104戸



グランクレールあざみ野
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：8,387㎡
 規模：B1F～3F
 竣工：2004年
 住戸数：78戸



ドレッセ目黒インプレスタワー
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：13,122㎡
 規模：B1F～23F
 竣工：2004年
 住戸数：129戸



ドレッセ田園調布プレザンス
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：7,504㎡
 規模：B2F～3F
 竣工：2004年
 住戸数：34戸



浜松町スクエア
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：23,947㎡
 規模：B1F～20F
 竣工：2004年



日本橋本町東急ビル
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：11,739㎡
 規模：B1F～8F
 竣工：2004年



和歌山マリナーシティ・シエルヴィータ
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：和歌山県
 延床面積：10,614㎡
 規模：28F
 竣工：2007年
 住戸数：104戸



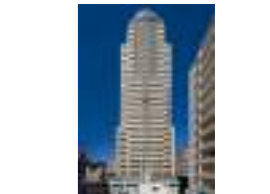
アリオ西新井
 顧客：(株)イトーヨーカ堂
 所在地：東京都
 延床面積：107,982㎡
 規模：B1F～6F
 竣工：2007年



都立大学高架下店舗
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：4,248㎡
 規模：2F
 竣工：2007年



品川区立第二延山小学校
 顧客：品川区
 所在地：東京都
 延床面積：9,204㎡
 規模：4F
 竣工：2007年



トア山手 ザ神戸タワー&プラッツ
 顧客：中山手地区市街地再開発組合
 所在地：兵庫県
 延床面積：44,404㎡
 規模：B1F～35F
 竣工：2008年
 住戸数：407戸



東急ストア東扇島流通センターDC棟
 顧客：(株)東急ストア
 所在地：神奈川県
 延床面積：23,723㎡
 規模：3F
 竣工：2004年



羽田エクスセルホテル東急
 顧客：(株)東急ホテルチェーン
 所在地：東京都
 延床面積：16,311㎡
 規模：8F
 竣工：2004年
 客室数：387室



東横線横浜(地下)駅
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：2,532㎡
 規模：B4F～1F
 竣工：2004年



セラアス美しが丘パティオ
 顧客：東京急行電鉄(株)、三菱地所(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：6,178㎡
 規模：5F
 竣工：2005年
 住戸数：54戸



ドレッセあざみ野エスタフレンテ
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：16,611㎡
 規模：B2F～12F
 竣工：2005年
 住戸数：134戸



ドレッセ美しい森セントヴェール
 顧客：東京急行電鉄(株)、三菱地所(株)他
 所在地：神奈川県
 延床面積：38,922㎡
 規模：B1F～5F
 竣工：2008年
 住戸数：341戸



ディアナコート成城翠邸
 顧客：(株)モリモト
 所在地：東京都
 延床面積：7,339㎡
 規模：B1F～3F
 竣工：2008年
 住戸数：55戸



エクスマンド有馬
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：兵庫県
 延床面積：13,075㎡
 規模：B1F～8F
 竣工：2008年
 住戸数：99戸



尼崎市営明倫住宅
 顧客：尼崎市
 所在地：兵庫県
 延床面積：12,700㎡
 規模：8F
 竣工：2008年
 住戸数：186戸



アスタプラザファースト
 顧客：(株)環境再開発研究所
 所在地：兵庫県
 延床面積：13,835㎡
 規模：B1F～6F
 竣工：2008年



モデラ・ビークス戸塚
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：39,457㎡
 規模：B2F～10F
 竣工：2005年
 住戸数：290戸



エティア目黒ウエストタワー
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：5,510㎡
 規模：B1F～18F
 竣工：2005年
 住戸数：60戸



大森プロストシティレジデンス
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：67,460㎡
 規模：B2F～25F
 竣工：2005年
 住戸数：565戸



アスタプラザウェスト
 顧客：(株)環境再開発研究所
 所在地：兵庫県
 延床面積：37,435㎡
 規模：B1F～26F
 竣工：2005年
 住戸数：126戸



ライオンズプラザ多摩センター
 顧客：(株)大京
 所在地：東京都
 延床面積：34,484㎡
 規模：B1F～15F
 竣工：2006年
 住戸数：157戸



東急ハーヴェストクラブ VIALA箱根翡翠
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：13,703㎡
 規模：B1F～4F
 竣工：2008年
 客室数：70室



東横線・副都心線渋谷駅
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：27,725㎡
 規模：B5F～1F
 竣工：2008年



杉並区立方南小学校
 顧客：杉並区
 所在地：東京都
 延床面積：8,614㎡
 規模：4F
 竣工：2008年



プランズ茨木
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：大阪府
 延床面積：10,859㎡
 規模：B1F～14F
 竣工：2009年
 住戸数：92戸



グランクレールセンター南
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：16,796㎡
 規模：B2F～8F
 竣工：2009年
 住戸数：124戸

主要プロジェクト一覧



グランクレール青葉台ヒルズ
 顧客：東京急行電鉄(株)、東急不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：7,779㎡
 規模：B2F~4F
 竣工：2009年
 住戸数：79戸



シテイインデックス三田伊皿子
 顧客：(同)マホガニー・デベロップメント
 所在地：東京都
 延床面積：6,913㎡
 規模：B3F~5F
 竣工：2009年
 住戸数：101戸



ドレッセ鷺沼
オーセンティックテラス
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：17,577㎡
 規模：B1F~6F
 竣工：2009年
 住戸数：144戸



BELISTA喜連瓜破
 顧客：藤和不動産(株)
 所在地：大阪府
 延床面積：8,374㎡
 規模：15F
 竣工：2009年
 住戸数：93戸



イトーヨーカ堂武蔵小金井店
 顧客：(株)イトーヨーカ堂
 所在地：東京都
 延床面積：54,970㎡
 規模：B1F~7F
 竣工：2009年



ブランズ千里桃山台
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：8,046㎡
 規模：B1F~8F
 竣工：2011年
 住戸数：83戸



ブランズ青葉台二丁目
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：6,859㎡
 規模：B1F~5F
 竣工：2011年
 住戸数：63戸



ドレッセ青葉台プレエスタ
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：11,540㎡
 規模：B1F~6F
 竣工：2011年
 住戸数：119戸



新静岡B棟静鉄鷹匠ビル、C棟鷹匠駐輪場
 顧客：静岡鉄道(株)
 所在地：静岡県
 延床面積：7,477㎡
 規模：B1F~6F
 竣工：2011年



RASA日本橋ビルディング
 顧客：ラサ商事(株)
 所在地：東京都
 延床面積：4,041㎡
 規模：B1F~8F
 竣工：2011年



ホテルヴィアイン東京大井町
 顧客：かんべ土地建物(株)
 所在地：東京都
 延床面積：15,039㎡
 規模：B2F~20F
 竣工：2009年
 客室数：509室



東急ハーヴェストクラブ有馬六彩&VIALA
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：兵庫県
 延床面積：23,652㎡
 規模：B4F~6F
 竣工：2009年
 客室数：134室



横浜市高速鉄道日吉駅改修
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：38,316㎡
 規模：B1F~6F
 竣工：2009年



武蔵小山駅改良
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：1,273㎡
 規模：B2F~1F
 竣工：2009年



東急ドライビングスクール
 顧客：(学)五島育英会
 所在地：東京都
 延床面積：4,856㎡
 規模：B1F~3F
 竣工：2009年



東急番町ビル
 顧客：東京急行電鉄(株)、内外エステート(株)
 所在地：東京都
 延床面積：16,756㎡
 規模：11F
 竣工：2011年



あべのキューズモール
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：大阪府
 延床面積：183,730㎡
 規模：B2F~6F
 竣工：2011年



ビバモール寝屋川
 顧客：(株)LIXILビバ
 所在地：大阪府
 延床面積：61,767㎡
 規模：B1F~2F
 竣工：2011年



新静岡セノバ
 顧客：静岡鉄道(株)
 所在地：静岡県
 延床面積：85,674㎡
 規模：B1F~11F
 竣工：2011年



東急リゾートヴィラ熱海青翠
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：静岡県
 延床面積：19,393㎡
 規模：9F
 竣工：2011年
 客室数：183室



たまプラーザ駅改良
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：22,200㎡
 規模：B2F~3F
 竣工：2009年



たまプラーザテラスゲートプラザ
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：87,872㎡
 規模：B2F~5F
 竣工：2010年



東急キャピトルタワー
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：87,428㎡
 規模：B5F~28F
 竣工：2010年



東急ウェリナ大岡山
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：19,780㎡
 規模：B1F~8F
 竣工：2010年
 住戸数：165戸



ドレッセ美しの森シルフィオ
 顧客：東京急行電鉄(株)、三菱地所(株)他
 所在地：神奈川県
 延床面積：16,062㎡
 規模：B1F~5F
 竣工：2010年
 住戸数：361戸



ホテルヴィアイン新宿
 顧客：(株)小学館
 所在地：東京都
 延床面積：4,644㎡
 規模：14F
 竣工：2011年
 客室数：226室



京王線東府中駅改良
 顧客：京王建設(株)
 所在地：東京都
 延床面積：4,000㎡
 規模：2F
 竣工：2011年



TKSがざさテクノセンター
 顧客：(株)東京機械製作所
 所在地：千葉県
 延床面積：20,867㎡
 規模：2F
 竣工：2011年



狭山市市民交流センター(スカイテラス)
 顧客：(独)都市再生機構
 所在地：埼玉県
 延床面積：5,642㎡
 規模：3F
 竣工：2012年



渋谷ヒカリエ
 顧客：東京急行電鉄(株)他
 所在地：東京都
 延床面積：144,545㎡
 規模：B4F~34F
 竣工：2012年



グランクレール成城
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：9,986㎡
 規模：B1F~5F
 竣工：2010年
 住戸数：112戸



ブランズ幕張
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：千葉県
 延床面積：5,014㎡
 規模：8F
 竣工：2010年
 住戸数：48戸



シャリエパークナード南草津
 顧客：東レ建設(株)
 所在地：滋賀県
 延床面積：37,654㎡
 規模：15F
 竣工：2010年
 住戸数：318戸



東急虎ノ門ビル
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：12,557㎡
 規模：10F
 竣工：2010年



イトーヨーカ堂曳舟店
 顧客：(株)イトーヨーカ堂
 所在地：東京都
 延床面積：50,253㎡
 規模：B1F~7F
 竣工：2010年



ブランズ阿倍野松崎町
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：大阪府
 延床面積：3,428㎡
 規模：11F
 竣工：2012年
 住戸数：40戸



ブランズ桜ノ宮
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：大阪府
 延床面積：5,714㎡
 規模：15F
 竣工：2012年
 住戸数：74戸



ブランズ田園調布
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：6,359㎡
 規模：B2F~5F
 竣工：2012年
 住戸数：52戸



スプライン青山東急ビル
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：7,501㎡
 規模：B2F~8F
 竣工：2012年



五島育英会ビル改修
 顧客：(学)五島育英会
 所在地：東京都
 延床面積：8,828㎡
 規模：B3F~8F
 竣工：2012年



武蔵小山駅ビル
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：7,214㎡
 規模：B1F~4F
 竣工：2010年



河津駅改修
 顧客：伊豆急行(株)
 所在地：静岡県
 延床面積：530㎡
 規模：1F
 竣工：2010年



森村学園中等学部新校舎
 顧客：(学)森村学園
 所在地：神奈川県
 延床面積：14,822㎡
 規模：5F
 竣工：2011年



二子玉川ライズ ショッピングセンター&オフィス
 顧客：二子玉川東地区市街地再開発組合
 所在地：東京都
 延床面積：106,700㎡
 規模：B2F~16F
 竣工：2011年



二子玉川ライズ タワー&レジデンス
 顧客：二子玉川東地区市街地再開発組合
 所在地：東京都
 延床面積：133,353㎡
 規模：B1F~42F
 竣工：2011年
 住戸数：1,033戸



アリオ鷺宮
 顧客：(株)イトーヨーカ堂
 所在地：埼玉県
 延床面積：61,019㎡
 規模：3F
 竣工：2012年



2013



東急設計
 コンサルタント



たまプラーザ駅周辺開発
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：118,464㎡
 規模：B3F~5F
 竣工：2013年(全体完成)



ドレッセ たまプラーザ テラス
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：11,428㎡
 規模：7F
 竣工：2013年
 住戸数：92戸



たまプラーザ テラス リンクプラザ
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：5,937㎡
 規模：B1F~4F
 竣工：2013年

主要プロジェクト一覧



シティータワー神戸三宮
 顧客：旭通4丁目地区市街地再開発組合
 所在地：兵庫県
 延床面積：92,963㎡
 規模：B1F～54F
 竣工：2013年
 住戸数：640戸



プランズタワー文京小日向
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：12,015㎡
 規模：B3F～22F
 竣工：2013年
 住戸数：81戸



サンクタスシティ長津田みなみ台レジデンス
 顧客：オリックス不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：20,984㎡
 規模：5F
 竣工：2013年
 住戸数：205戸



スタイリオ品川中延
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：11,087㎡
 規模：13F
 竣工：2013年
 住戸数：158戸



Brilia WELLITH 月島
 顧客：東京建物(株)、NTT都市開発(株)
 所在地：東京都
 延床面積：20,793㎡
 規模：B2F～14F
 竣工：2013年
 住戸数：180戸



ホテルオリオンモトリゾート&スパ
 顧客：オリオンビール(株)
 所在地：千葉県
 延床面積：34,439㎡
 規模：13F
 竣工：2014年
 客室数：238室



東急ハーヴェストクラブ京都鷹峯&VIALA
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：京都府
 延床面積：18,353㎡
 規模：B1F～4F
 竣工：2014年
 客室数：133室



渋谷ちかみちラウンジ
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：47,282㎡
 規模：B5F～1F
 竣工：2014年



ekimo梅田
 顧客：大阪市交通局、南海商事(株)、東急不動産(株)
 所在地：大阪府
 延床面積：1,022㎡
 規模：B1F
 竣工：2014年



アドヴァン岩井倉庫
 顧客：アドヴァン管理サービス(株)
 所在地：茨城県
 延床面積：7,600㎡
 規模：1F
 竣工：2014年



ドレッセ鷺沼の杜プライムフォレスト
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：46,519㎡
 規模：B2F～6F
 竣工：2013年
 住戸数：389戸



ドレッセ世田谷桜レジデンス
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：13,866㎡
 規模：9F
 竣工：2013年
 住戸数：122戸



小田急バス登戸営業所
 顧客：小田急バス(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：4,092㎡
 規模：4F
 竣工：2013年



TKS武蔵小杉ビル
 顧客：(株)東京機械製作所
 所在地：神奈川県
 延床面積：17,768㎡
 規模：B1F～11F
 竣工：2013年



エディオン名古屋本店
 顧客：(株)エディオン
 所在地：愛知県
 延床面積：25,436㎡
 規模：5F
 竣工：2013年



二子玉川ライズ・ショッピングセンター・テラスマーケット
 顧客：二子玉川東地区市街地再開発組合
 所在地：東京都
 延床面積：157,000㎡
 規模：B2F～30F
 竣工：2015年



二子玉川エクセルホテル東急
 顧客：二子玉川東地区市街地再開発組合
 所在地：東京都
 延床面積：157,000㎡
 規模：B2F～30F
 竣工：2015年
 客室数：109室



二子玉川東地区第一種市街地再開発事業
 顧客：二子玉川東地区再開発組合
 所在地：東京都
 延床面積：397,000㎡
 規模：B1F～43F
 竣工：2015年(全体完成)



グッドタイムリビングセンター南
 顧客：オリックス不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：12,947㎡
 規模：10F
 竣工：2015年
 住戸数：189戸



ドレッセ美しが丘ヒルズ
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：13,184㎡
 規模：B1F～6F
 竣工：2015年
 住戸数：109戸



アリオ市原
 顧客：(株)イトーヨーカ堂
 所在地：千葉県
 延床面積：44,907㎡
 規模：2F
 竣工：2013年



あざみ野ガーデンズ
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：2,275㎡
 規模：1F
 竣工：2013年



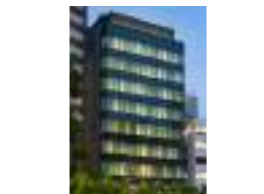
東急ハーヴェストクラブ熱海伊豆山&VIALA
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：静岡県
 延床面積：32,991㎡
 規模：9F
 竣工：2013年
 客室数：172室



ヴィラフォンテーヌ神戸三宮
 顧客：旭通4丁目地区市街地再開発組合
 所在地：兵庫県
 延床面積：92,963㎡(全体)
 規模：B1F～54F(全体)
 竣工：2013年
 客室数：184室



東横線渋谷駅地下広場コンコース
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：4,535㎡
 規模：11F
 竣工：2015年



渋谷363清水ビル
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：4,535㎡
 規模：11F
 竣工：2015年



ウィングキッチン京急蒲田
 顧客：京浜急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：5,896㎡
 規模：1F/2F
 竣工：2015年



ログロード代官山
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：1,875㎡
 規模：B1F～2F
 竣工：2015年



セントラルスクエア森ノ宮
 顧客：(株)ライフコーポレーション
 所在地：大阪府
 延床面積：10,677㎡
 規模：2F
 竣工：2015年



キューバラ原宿
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：13,300㎡
 規模：B2F～11F
 竣工：2015年



ekimoなんば
 顧客：大阪市交通局、南海商事(株)、東急不動産(株)
 所在地：大阪府
 延床面積：2,817㎡
 規模：B1F
 竣工：2013年



東京都市大学1号館
 顧客：(学)五島育英会
 所在地：東京都
 延床面積：14,988㎡
 規模：B1F～4F
 竣工：2013年



ブルヴァール戸塚
 顧客：(株)日立建設設計
 所在地：神奈川県
 延床面積：11,587㎡
 規模：5F
 竣工：2014年
 住戸数：258戸



プランズタワー南堀江
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：大阪府
 延床面積：17,413㎡
 規模：B1F～25F
 竣工：2014年
 住戸数：230戸



プランズ新大塚
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：4,838㎡
 規模：B1F～14F
 竣工：2014年
 住戸数：64戸



京急糀谷駅コンコース
 顧客：京浜急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：1,110㎡
 規模：2F
 竣工：2015年



セブンイレブン岩手工場北上センター
 顧客：(株)セブン-イレブン・ジャパン
 所在地：岩手県
 延床面積：30,660㎡
 規模：2F
 竣工：2015年



ドレッセ鷺沼の杜アリーナフォレスト
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：8,449㎡
 規模：B2F～5F
 竣工：2016年
 住戸数：84戸



プランズ横浜
 顧客：東急不動産(株)、東神開発(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：32,423㎡
 規模：B1F～17F
 竣工：2016年
 住戸数：210戸



マーケットスクエア川崎イースト
 顧客：(株)よみうりランド
 所在地：神奈川県
 延床面積：30,264㎡
 規模：5F
 竣工：2016年



コンフォリア目黒青葉台
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：5,735㎡
 規模：B1F～3F
 竣工：2014年
 住戸数：101戸



こまへ正吉苑二番館
 顧客：(福)正吉福祉会
 所在地：東京都
 延床面積：5,948㎡
 規模：3F
 竣工：2014年
 病床数：特養100床/ショート10床



ドレッセ市が尾ザ・フロント
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：4,650㎡
 規模：B1F～6F
 竣工：2014年
 住戸数：43戸



神奈中相模原営業所峡の原操車所
 顧客：神奈川中央交通(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：4,208㎡
 規模：2F
 竣工：2014年



グランツリー武蔵小杉
 顧客：(株)イトーヨーカ堂
 所在地：神奈川県
 延床面積：108,499㎡
 規模：B2F～4F
 竣工：2014年



三井アウトレットパーク北陸小矢部
 顧客：三井不動産(株)
 所在地：富山県
 延床面積：42,526㎡
 規模：2F
 竣工：2016年



中目黒高架下
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：3,765㎡
 規模：1F
 竣工：2016年



セブンパークアリオ柏
 顧客：(株)イトーヨーカ堂
 所在地：千葉県
 延床面積：137,149㎡
 規模：3F
 竣工：2016年



難波の梅小学校
 顧客：尼崎市
 所在地：兵庫県
 延床面積：12,113㎡
 規模：4F
 竣工：2016年



園田小学校北棟改築
 顧客：尼崎市
 所在地：兵庫県
 延床面積：3,791㎡
 規模：4F
 竣工：2016年

主要プロジェクト一覧



東急祐天寺駅ビル
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：2,200㎡
 規模：6F
 竣工：2017年



エキア曳舟
 顧客：東武鉄道(株)
 所在地：東京都
 延床面積：550㎡
 規模：1F
 竣工：2017年



プライムツリー赤池
 顧客：芙蓉総合リース(株)
 所在地：愛知県
 延床面積：152,000㎡
 規模：B3F~4F
 竣工：2017年



エミナード石神井公園
 顧客：西武鉄道(株)
 所在地：東京都
 延床面積：5,441㎡
 規模：2F
 竣工：2017年



ONE@Tokyo
 顧客：東日本都市開発(株)
 所在地：東京都
 延床面積：3,850㎡
 規模：10F
 竣工：2017年
 客室数：160室



ブランズ シマトゥパン
 顧客：PT. Tokyu Land Indonesia
 所在地：インドネシア
 延床面積：85,103㎡
 規模：B3F~28F
 竣工：2019年
 住戸数：381戸



クレールレジデンス横浜十日市場
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：11,454㎡
 規模：9F
 竣工：2019年



グランベリーパーク
 顧客：東急(株)
 所在地：東京都
 延床面積：150,747㎡
 規模：B1F~5F
 竣工：2019年



南町田グランベリーパーク駅
 顧客：東急(株)
 所在地：東京都
 延床面積：1,484㎡
 規模：2F
 竣工：2019年



ホテルグレイスリー大阪なんば
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：大阪府
 延床面積：5,277㎡
 規模：12F
 竣工：2019年
 客室数：170室



ハンパホテル&リゾート ベルベドール
 顧客：Gansam Architects & Pa
 所在地：韓国
 延床面積：97,000㎡
 規模：17F
 竣工：2017年
 客室数：565室



大磯プリンスホテル 温浴施設
 顧客：(株)プリンスホテル
 所在地：神奈川県
 延床面積：3,951㎡
 規模：B1F~4F
 竣工：2017年



東横線祐天寺駅改良
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：558㎡
 規模：1F
 竣工：2017年



神奈中平塚営業所
 顧客：神奈川中央交通(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：2,860㎡
 規模：2F
 竣工：2017年



ザ・パークハウス千代田麹町
 顧客：三菱地所レジデンス(株)
 所在地：東京都
 延床面積：10,734㎡
 規模：B1F~14F
 竣工：2018年
 住戸数：77戸



東横線菊名駅(改修)
 顧客：東急電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：1,484㎡
 規模：2F
 竣工：2019年



LIBGRANT西新宿 EAST-WEST
 顧客：東急住宅リース(株)
 所在地：東京都
 延床面積：8,521㎡
 規模：B1F~14F
 竣工：2020年
 住戸数：198戸



ブランズシティ横浜上大岡
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：15,549㎡
 規模：7F
 竣工：2020年
 住戸数：177戸



神中興業本社工場
 顧客：神中興業(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：2,467㎡
 規模：2F
 竣工：2020年



渋谷ソラスタ
 顧客：(一社)道玄坂121
 所在地：東京都
 延床面積：46,954㎡
 規模：B1F~21F
 竣工：2020年



グランクレール世田谷中町
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：17,726㎡
 規模：4F
 竣工：2018年
 住戸数：251戸



ジオ伊丹中央
 顧客：阪急阪神不動産(株)
 所在地：兵庫県
 延床面積：4,030㎡
 規模：12F
 竣工：2018年
 住戸数：43戸



渋谷ストリーム
 顧客：東急(株) 他
 所在地：東京都
 延床面積：118,379㎡
 規模：B4F~36F
 竣工：2018年



渋谷ブリッジ
 顧客：東急(株)
 所在地：東京都
 延床面積：5,642㎡
 規模：6F
 竣工：2018年



相鉄ライフ弥生台
 顧客：(株)相鉄アーバンクリエイツ
 所在地：神奈川県
 延床面積：4,689㎡
 規模：2F
 竣工：2018年



グランエミオ所沢
 顧客：西武鉄道(株)
 所在地：埼玉県
 延床面積：116,000㎡
 規模：B2F~5F
 竣工：2020年



西武所沢駅リニューアル
 顧客：西武鉄道(株)
 所在地：埼玉県
 延床面積：25,790㎡
 規模：B2F~5F
 竣工：2020年



唐津シーサイドホテル
 顧客：五洋建設(株)
 所在地：佐賀県
 延床面積：27,856㎡
 規模：B1F~9F
 竣工：2020年
 客室数：139室



エキアプレミアム和光
 顧客：東武鉄道(株)
 所在地：埼玉県
 延床面積：12,555㎡
 規模：B1F~7F
 竣工：2020年
 客室数：158室



東急ステイ飛騨高山 結の湯
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：岐阜県
 延床面積：9,394㎡
 規模：9F
 竣工：2020年
 客室数：210室



相鉄弥生台駅リニューアル
 顧客：相模鉄道(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：4,689㎡
 規模：2F
 竣工：2018年



ハイアットリージェンシー 瀬良垣アイランド沖縄
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：沖縄県
 延床面積：31,633㎡
 規模：7F
 竣工：2018年
 客室数：340室



ヴィアイン梅田
 顧客：大和企業(株)
 所在地：大阪府
 延床面積：4,898㎡
 規模：13F
 竣工：2018年
 客室数：220室



東急ハーヴェストクラブ 軽井沢&VIALA
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：長野県
 延床面積：22,818㎡
 規模：B2F~2F
 竣工：2018年
 客室数：176室



ホテルグレイスリー京都 by GRANVIA
 顧客：(株)松原興産
 所在地：京都府
 延床面積：17,348㎡
 規模：9F
 竣工：2018年
 客室数：538室



The Hotel Seiryu Kyoto Kiyomizu
 顧客：NTT都市開発(株)
 所在地：京都府
 延床面積：6,824㎡
 規模：4F
 竣工：2020年



銀座線渋谷駅
 顧客：東京地下鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：5,213㎡
 規模：B2F~3F
 竣工：2020年



選手村メインダイニング
 顧客：(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
 所在地：東京都
 延床面積：148,143㎡
 規模：2F
 竣工：2020年



マープ北綾瀬リエッタ
 顧客：東京地下鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：1,280㎡
 規模：1F
 竣工：2021年



ブランズシティあざみ野
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：25,842㎡
 規模：B1F~5F
 竣工：2021年
 住戸数：286戸



ヴィアイン京都駅八条口
 顧客：(株)松原興産
 所在地：京都府
 延床面積：13,598㎡
 規模：10F
 竣工：2018年
 客室数：468室



京王よみうりランド駅リニューアル
 顧客：京王電鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：296㎡
 規模：2F
 竣工：2018年



大和中央林間図書館
 顧客：大和市
 所在地：神奈川県
 延床面積：602㎡
 規模：3F
 竣工：2018年



東京都市大学新6号館
 顧客：(学)五島育英会
 所在地：東京都
 延床面積：7,909㎡
 規模：4F
 竣工：2018年



渋谷スクランブルスクエア
 顧客：東急(株)、東日本旅客鉄道(株)、東京地下鉄(株)
 所在地：東京都
 延床面積：276,618㎡
 規模：B7F~47F
 竣工：2019年
 提供/渋谷スクランブルスクエア



光が丘パークヴィラ
 顧客：(株)光が丘ヘルスケア
 所在地：東京都
 延床面積：2,369㎡
 規模：B1F~3F
 竣工：2021年
 住戸数：18戸



田町スクエア LAB×OFFICE
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：東京都
 延床面積：7,520㎡
 規模：B1F~6F
 竣工：2021年



こすぎコアパーク
 顧客：東急(株)
 所在地：神奈川県
 延床面積：277㎡
 規模：2F
 竣工：2021年

土木設計部門



長銀土浦住宅団地
顧客：(株)日本ランドシステム
所在地：茨城県
開発面積：22ha
竣工：1974年



勝浦東急リゾート
顧客：東急不動産(株)
所在地：千葉県
開発面積：150ha
竣工：1975年



日吉台パードタウン
顧客：富士建興業
所在地：千葉県
開発面積：115ha
竣工：1976年



千福ニュータウン
顧客：東急電鉄(株)
所在地：静岡県
開発面積：83ha
竣工：1977年



名谷つつじヶ丘ニュータウン
顧客：東急不動産(株)
所在地：兵庫県
開発面積：54ha
竣工：1980年



東急江戸川台あさぎが丘
顧客：東急不動産(株)
所在地：千葉県
開発面積：3ha
竣工：1996年



藤沢市辻堂砂場地区
顧客：東急不動産(株)
所在地：神奈川県
開発面積：2ha
竣工：1998年



東京ドイツ村
顧客：東急不動産(株)
所在地：千葉県
開発面積：90ha
竣工：2001年



あざみ野悠粋知三規庭敷地造成
顧客：東京急行電鉄(株)
所在地：神奈川県
開発面積：0.7ha
竣工：2002年



千葉県千葉市若葉区千城台地区宅地造成
顧客：東京急行電鉄(株)
所在地：千葉県
開発面積：3.4ha
竣工：2006年



美原さつき野ニュータウン
顧客：東急不動産(株)
所在地：大阪府
開発面積：76ha
竣工：1981年



京急ニュータウン金沢見台
顧客：京浜急行電鉄(株)
所在地：神奈川県
開発面積：180ha
竣工：1982年



蓼科東急リゾート
顧客：東急不動産(株)
所在地：長野県
開発面積：660ha
竣工：1982年



猪名川パークタウン
顧客：三菱地所(株)
所在地：兵庫県
開発面積：200ha
竣工：1983年



土気南地区あすみヶ丘
顧客：東急不動産(株)
所在地：千葉県
開発面積：313ha
竣工：1986年



千葉県柏市東柏一丁目地区宅地造成
顧客：東京急行電鉄(株)
所在地：千葉県
開発面積：3.2ha
竣工：2008年



リゾートピラ富津計画
顧客：(株)リゾートピラ富津
所在地：千葉県
開発面積：141.9ha
竣工：2009年



山口県光市沖田地区宅地造成
顧客：(株)リゾートピラ富津
所在地：山口県
開発面積：0.8ha
竣工：2011年



北九州市八幡東区高見宅地造成
顧客：(株)新日鉄都市開発
所在地：福岡県
開発面積：0.9ha
竣工：2012年



石神井台二丁目宅地造成
顧客：大林新星と不動産(株)
所在地：東京都
開発面積：0.5ha
竣工：2012年



東急ハイビスカスゴルフコース
顧客：東急電鉄(株)
所在地：宮崎県
開発面積：93ha
竣工：1989年



望月東急ゴルフコース
顧客：東急不動産(株)
所在地：長野県
開発面積：50ha
竣工：1989年



東急セブンハンドレッドクラブ
顧客：東急電鉄(株)
所在地：千葉県
開発面積：165ha
竣工：1989年



慶応大学藤沢キャンパス
顧客：慶応大学
所在地：神奈川県
開発面積：33ha
竣工：1990年



グランドオークゴルフコース
顧客：東急電鉄(株)
所在地：兵庫県
開発面積：234ha
竣工：1991年



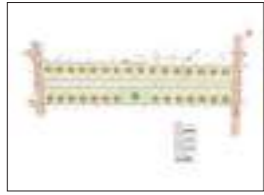
山口県光市浅江地区宅地造成
顧客：大林新星と不動産(株)
所在地：山口県
開発面積：1.3ha
竣工：2013年



千葉県千葉市中央区宮崎一丁目宅地造成
顧客：東急不動産(株)
所在地：千葉県
開発面積：1.7ha
竣工：2013年



小田急バス登戸営業所敷地造成
顧客：小田急バス(株)
所在地：神奈川県
開発面積：1.0ha
竣工：2013年



三鷹市井口二丁目宅地造成
顧客：大林新星と不動産(株)
所在地：東京都
開発面積：0.5ha
竣工：2015年



神中興業本社新築工事敷地造成
顧客：(株)神中興業
所在地：神奈川県
開発面積：1.2ha
竣工：2016年



佐倉染井野東急みづが丘
顧客：東急不動産(株)、(株)大林組
所在地：千葉県
開発面積：110ha
竣工：1991年



グランデコホテル&スキーリゾート
顧客：東急電鉄(株)
所在地：福島県
開発面積：1,200ha
竣工：1992年



ニセコ東急リゾート開発
顧客：東急不動産(株)
所在地：北海道
開発面積：490ha
竣工：1992年



勝山法恩寺東急リゾート
顧客：東急不動産(株)
所在地：福井県
開発面積：350ha
竣工：1993年



軽井沢矢ヶ崎別荘地
顧客：東急電鉄(株)
所在地：長野県
開発面積：10ha
竣工：1993年



神奈川中央交通平塚田村営業所建替計画敷地造成
顧客：(株)神奈川中央交通
所在地：神奈川県
開発面積：2.7ha
竣工：2017年



リーブルテック本社敷地造成
顧客：(株)リーブルテック
所在地：東京都
開発面積：2.1ha
竣工：2017年



TLC八戸市是川メガソーラー(工事監修)
顧客：東急不動産(株)
所在地：青森県
開発面積：36.3ha
竣工：2019年



富士急行本栖湖創造の森計画敷地造成
顧客：富士急行(株)
所在地：山梨県
開発面積：69.8ha
竣工：2019年



神奈川中央交通秦野営業所建替計画敷地造成
顧客：(株)神奈川中央交通
所在地：神奈川県
開発面積：2.6ha
竣工：2020年



東急季美の森ゴルフ&住宅
顧客：東急不動産(株)
所在地：千葉県
開発面積：197ha
竣工：1993年



横須賀リサーチパーク
顧客：京浜急行電鉄(株)
所在地：神奈川県
開発面積：59ha
竣工：1994年



京急ニュータウン野比海岸
顧客：京浜急行電鉄(株)
所在地：神奈川県
開発面積：15ha
竣工：1995年



誉田南地区
顧客：誉田南区画整理組合
所在地：千葉県
開発面積：9ha
竣工：1995年



東酒々井土地区画整理
顧客：東酒々井区画整理組合
所在地：千葉県
開発面積：26ha
竣工：1996年



TLC宮城県気仙沼市泉沢地区メガソーラー(工事監修)
顧客：東急不動産(株)
所在地：宮城県
開発面積：38.4ha
竣工：2020年



TLC福島西白河メガソーラー(工事監修)
顧客：東急不動産(株)
所在地：福島県
開発面積：49.1ha
竣工：2021年



神奈川中央交通茅ヶ崎営業所建替計画敷地造成
顧客：(株)神奈川中央交通
所在地：神奈川県
開発面積：1.4ha
竣工：2022年



補助72号線道路表層改良設計(ミラノ座)
顧客：東急(株)
所在地：東京都
開発面積：1.2ha
竣工：2023年竣工予定



千葉西総合病院敷地造成
顧客：(医)徳洲会
所在地：千葉県
開発面積：4.6ha
竣工：2023年竣工予定

主要プロジェクト一覧



田園都市線青葉台駅改良
 顧客：東急電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 業務内容：高架橋実施設計
 竣工：1990年



千葉北部地区100M道路
 顧客：住都公団
 所在地：千葉県
 業務内容：横断橋梁実施設計
 竣工：1990年



ニセコ高原リゾート取付道路
 顧客：東急不動産(株)
 所在地：北海道
 業務内容：道路橋梁実施設計
 竣工：1990年



東急複々線化
 顧客：東急電鉄(株)
 所在地：東京都
 業務内容：奥沢～田園調布
 地下化設計
 竣工：1992年



東急大井町線瀬田架道橋
 顧客：東急電鉄(株)
 所在地：東京都
 業務内容：実施設計
 竣工：1992年



渋谷ストリーム 広場
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 業務内容：河川上空広場橋梁設計
 竣工：2018年



渋谷ストリーム 国道246デッキ
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 業務内容：鉄道橋を再利用した
 歩行者デッキ設計
 竣工：2018年



渋谷ストリーム 地下接続通路
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 業務内容：地下通路設計
 竣工：2018年



渋谷ストリーム 駐輪場
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 業務内容：地下駐輪場設計
 竣工：2018年



渋谷ストリーム 壁泉
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 業務内容：清流復活水河川放流
 施設設計
 竣工：2018年



上大岡駅改良
 顧客：京浜急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 業務内容：駅、周辺道路、及び
 立体交差実施設計
 竣工：1993年



港北ニュータウン歩道橋
 顧客：住都公団
 所在地：神奈川県
 業務内容：実施設計
 竣工：1994年



上野毛橋跨線人道橋
 顧客：東急電鉄(株)
 所在地：東京都
 業務内容：実施設計
 竣工：1994年



目蒲線千束～目黒連続立体交差
 顧客：東急電鉄(株)
 所在地：東京都
 業務内容：実施設計
 竣工：1995年



**上大岡駅急百貨店駐車場
 ランプ橋**
 顧客：京浜急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 業務内容：実施設計
 竣工：1997年



大井町線銚台第4架道橋
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 業務内容：鉄道橋梁設計
 竣工：2018年



横浜駅西口鶴屋町デッキ
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 業務内容：歩道橋設計
 竣工：2018年



南町田 街区間デッキ
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 業務内容：歩道橋設計
 竣工：2019年



南町田 南北自由通路
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 業務内容：跨線歩道橋設計
 竣工：2019年



新高島駅ESC設置
 顧客：横浜高速鉄道(株)
 所在地：神奈川県
 業務内容：エスカレーター設置
 設計
 竣工：2020年



京浜急行六浦高架橋
 顧客：京浜急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 業務内容：実施設計
 竣工：1998年



茅場町駅EV
 顧客：東京メトロ(株)
 所在地：東京都
 業務内容：駅エレベーター
 新設躯体設計
 竣工：2004年(設計)



上野駅EV
 顧客：東京メトロ(株)
 所在地：東京都
 業務内容：駅エレベーター
 新設躯体設計
 竣工：2006年(設計)



中野新橋EV
 顧客：メトロ開発(株)
 所在地：東京都
 業務内容：駅エレベーター
 新設躯体設計
 竣工：2009年(設計)



上野毛駅改良
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 業務内容：駅改良設計
 竣工：2011年



相鉄線ホームドア
 顧客：相模鉄道(株)
 所在地：神奈川県
 業務内容：ホームドア補強設計
 竣工：2021年



石川台駅駐輪場
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 業務内容：駐輪場設計
 竣工：2011年(設計)



京急蒲田駅付近連続立体交差
 顧客：京浜急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 業務内容：鉄道高架橋設計
 竣工：2012年



下神明駅改良
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 業務内容：駅エレベーター
 改良設計
 竣工：2014年



大崎広小路駅改良
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 業務内容：駅改良設計、
 鉄道橋梁設計
 竣工：2014年



長津田北口歩道橋
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 業務内容：歩道橋設計
 竣工：2015年



MOP小矢部地下道
 顧客：三井不動産(株)
 所在地：富山県
 業務内容：歩行者専用地下BOX
 設計
 竣工：2015年(設計)



京急線横浜～南太田間耐震補強
 顧客：京浜急行電鉄(株)
 所在地：神奈川県
 業務内容：鉄道高架橋耐震補強
 設計
 竣工：2017年(設計)



遠州鉄道浜北駅
 顧客：遠州鉄道(株)
 所在地：静岡県
 業務内容：ホームバリアフリー
 改修設計
 竣工：2018年



渋谷ストリーム 緩傾斜護岸
 顧客：東京急行電鉄(株)
 所在地：東京都
 業務内容：河川拡幅改修設計
 竣工：2018年



渋谷ストリーム 金王橋
 顧客：渋谷駅南街区土地区画
 整理組合
 所在地：東京都
 業務内容：道路橋梁設計
 竣工：2018年

編集後記



多くの写真や各プロジェクトに関わった方々の想いに触れ、50年の歴史を次の世代に繋げる事の大切さを改めて感じました。その意味では、特に未来の「まちつむぎ」を担う若い方々に、じっくりと読んで頂ければ幸いです。

記念誌制作委員会
齊藤 誠



「はたしてまとまるだろうか」と思いつつスタートした初めての記念誌制作でしたが、全社員が参加する記念誌を目指し、皆様の協力を得て形にできたことにほっとしました。記念誌を楽しんでいただければ嬉しいです。

記念誌制作委員会
今井 久美子



委員会への参加は途中からでしたが、編集作業を通じて当社の歴史や強みを再認識し、様々な物件の特徴や設計に関わった方の苦労や工夫などを知ることができ、大変貴重な機会になりました。

記念誌制作委員会
久保田 剛史



この記念誌がこれまで当社を支えていただいた皆様に「感謝の気持ちが伝わるもの」であり、これから当社を支えていく皆様が「誇りを感じるもの」になれば幸いです。制作に関わっていただいたすべての方々に感謝します。

記念誌制作委員会
榮谷 成一郎



短いようで長い50年、数々のプロジェクトがありましたが、携わったたくさんの方々の情熱や熱意を改めて感じる事ができました。微力ながら、更なる飛躍に向けてチャレンジを続けていく一助になりたいと思います。

記念誌制作委員会
平岡 好宏



あるまちづくりPJの舞台裏の物語に驚き、ワークショップで若手社員の“Cool Head & Warm Heart”に感心し、コンセプトページで会社の「らしさ」を考えた。50年に一度の貴重な業務でした。

記念誌制作委員会
柿沼 裕之



掲載予定の古い物件は写真を撮りに行き、今の状況を把握できたのは大変感慨深かった。この検討委員会を通じて、過去を振り返る機会を持てたことは収穫でしたし情報提供にご協力いただいた皆様にも感謝申し上げます。

記念誌制作委員会
原島 和行



この50年間に携わってきたPJの大きさを肌で感じると共に培ってきたまちづくりのDNAの重みを感じた。そのDNAを受け継ぎ、10年100年先のまちつむぎに引き続き貢献していきたいと思う。

記念誌制作委員会
山本 雄太



50年の歴史を1冊に編集して、人、まち、時をつなぐ「まちつむぎ」が散見され当社の凄さを実感でき、未来に繋がる資料作成に貢献できたことを誇りに思います。50年先も変わらぬTAEの強みを継承することを望みます。

記念誌制作委員会
副委員長 篠田 幸昌



施主の思いに自らの矜持を載せ最適解を追い求め提案・実現してきた先人達の「ひとを想い、暮らしを描く、まちつむぎ」の50年を振り返ることで、「かかわった全ての人々への感謝」「自らの立ち位置確認」「未来への希望と自負の醸成」をサブテーマとして記念誌を制作しました。デベロッパー設計監理部門の出自故に「土地から敷地を造り、工作物や建築を創造する」ことを自社単独のワンパッケージで提案する能力を有する稀有な会社です。施主の望む「売れる商品」を第一義に、独りでよがることなく各分野の力を結集して「やりたいことよりもできることの最適解」を愚直に模索し続ける職人集団でもあります。先人たちの轍にちりばめられた一品生産の商品が、今をそしてこれからを生きる世代に、時として“逸品”として心の琴線に触れることあれかしと、これらが学び(まねび)の礎になることを、“まちつむぎ”への想いを形にして次なるステップに勇躍することを切に願ってやみません。こんなこと、あんなこと、えっ? 東急設計って結構すごい!! 頑張るぞ!! と思ってもらえたら幸いです。

記念誌制作委員会
委員長 村田 豊

ひとを想い、暮らしを描く
まちつむぎ

東急設計コンサルタント 創立50周年

2023年●月●日発行

編集・発行 株式会社東急設計コンサルタント
〒153-0061 東京都目黒区中目黒3-1-33
TEL:03-3715-1561
<https://www.tokyu-sekkei.co.jp/>

印刷 トッパン・フォームズ株式会社